

61

139

6 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10<sup>16</sup>m 1 2 3 4 5

始



衛生叢書

第八輯

61-139



衛生叢書

第八輯

目次

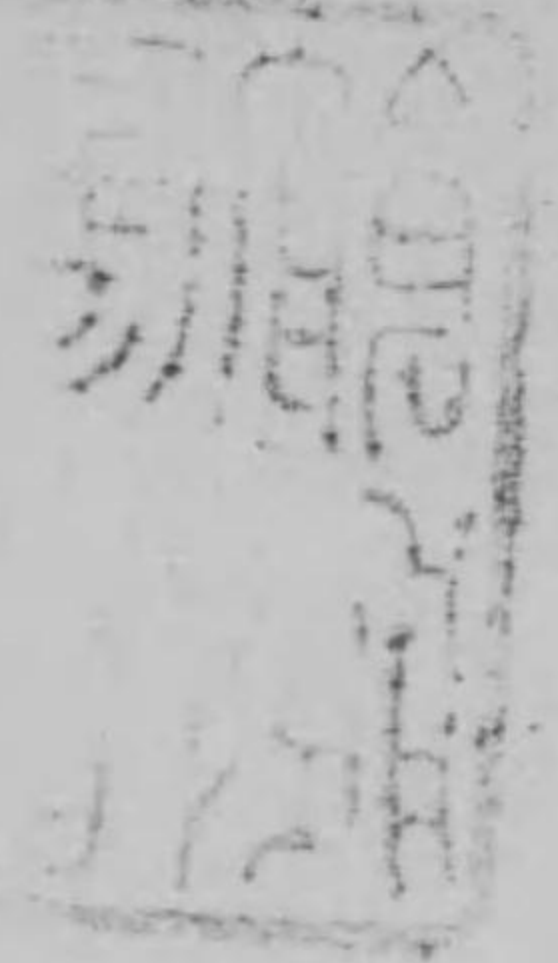
- 一 桑港衛生條例
- 一 合衆國海港檢疫法
- 一 各州共通檢疫規則
- 附錄 消毒法
  - 一 物理的消毒法
  - 二 瓦斯的消毒法
  - 三 化學的溶液消毒法
- 一 淫賣婦ト道德トノ關係
- 一 停滯水(マラリヤ病傳染ニ及ホス影響ニ就テ)
- 一 ニュージャーシー州ニ於ケル結核ニ關スル問題

至自 至自 至自  
 三三 三二 二二  
 四三 三九 九一  
 七七 六八 七九

至自 至自 至自  
 二一 一一 一  
 一六 六五 五  
 八六 七六 五一



寄贈本





衛生  
條例

一九一五年十二月一日發行

公眾衛生保持、病院規則  
病疫豫防、食料品製造、食  
料品販賣所ニ關スル條例

桑港(衛生)監理局



(内容見出)

(譯文中國ト記シタルハ原文 countryヲ意味ス)

條例 二五

桑港市及國內ニ於テ死體ノ埋葬ヲ禁ス

命令 二七〇九

刑事關係ノ死體ノ處置ニ關スル規定

検屍官ノ許可ナクシテ突然死亡シタル者ノ死體ヲ解剖スヘカラス

検屍官ノ許可ナクシテ突然死亡シタル者ノ死體ヲ移轉スヘカラス

検屍官又ハ衛生官ノ許可ナクシテ如何ナル形式ニヨルモ死體ノ處置ヲナスヘカラス

死體ノ埋葬又ハ移轉ノ許可、並ニ許可願

罰則

命令 二四五七

總ヘテ死體ハ死後五日以内又ハ埋葬ノ目的ヲ以テ當市及國ニ到着後同様日數内ニ埋葬或ハ

密中ニ入ル可キモノトス

死體埋葬

罰則

命令 二七四八

火葬場ニ關スル規定

命令 二四一

死體火葬ニ關スル規定

條例 一三八二

桑港市及國內ニ於テ死體ノ火葬ヲ禁ス

條例 九〇七

醫師及病院監理者ハ刑事上ノ關係アル出來事、傷害等ヲ警察長官ニ報告スルヲ要ス

三

命令 二二二六

死體防腐法施行ニ關スル規定

死體證明書又ハ檢屍官ノ許可ナクシテ死體防腐方法ヲ施行スヘカラス

總ヘテ死體防腐液ノ使用ニ關シテハ記錄ヲ保存スヘシ

死體解剖ヲ行ヒタル場合ノ外死亡證明書ハ請求後二時間以内ニ臨床醫ニ於テ發スヘシ

罰則

四  
九 九  
一〇 〇  
一〇 〇

條例 八七

傳染病蔓延防止上必要アリト認メタル場合ニ於テ衛生局ハ人、家屋、場所及地方、ニ對シ

檢疫(交通遮斷)ヲ行フコトヲ得

一一

條例 一〇三四

疾病蔓延防止規定

一一

條例 五一五

水痘發生シタル場合ニ於テハ之レヲ衛生官ニ報告スヘシ

一六

條例 七二三

傳染性病蔓延防止法

一七

條例 一八九六

所定ノ場所ニ於テ普通たをる、「Roller<sup>ローラー</sup> ovel<sup>オベル</sup>」ト稱スルモノ、其他如何ナルたをるモ之レヲ  
共用スルコトヲ禁ス

一九

條例 二二四六

當市及國內ノ總テ公共ノ場所、公園又ハすくえやー(市街交叉點ニアル方形廣場)、總テ公  
共ノ建造物、旅館、劇場、工場、商品陳列館及其他商店、公衆會館又ハ學校、總テ鐵道停  
車場ニ於テ吸水用ノ共同容器又ハ共同水吸こつぶヲ使用シ、或ハ上記ノ如キ場所ニ於テ使  
用スルノ目的ヲ以テ共用吸水こつぶ又ハ共用容器ヲ設備スルコトヲ禁ス、而シテ之ヲ犯ス  
者ヲ處罰ス

二〇



後二十四時間以内ニ其ノ旨檢疫官ニ報告スルコト  
如何ナル者モ癩病其他患者ノ上陸ヲ助クヘカラス 三三  
入港船舶ノ船長又ハ士官ニシテ豫知シテ癩患者ノ乗船ヲ許可シタル者ハ有罪トス 三三  
如何ナル者モ癩患者ヲ寄宿セシムヘカラス 三三  
罰則 三四

病院建設及保持ニ關スル規定 八二三 三四

產科病院、產婦庇護所建設及保持ニ關スル規定 一〇四五 三五

兒童收容所建設、保持ト検査規定 一〇四六 三六

醫科大學建設及保持ニ關スル規定 八二四 三八

犬病院、狗舍並ニ獸病院建設及保持ニ關スル規定 九五八 三九

建造物ノ全部或ハ一部不衛生的ナルモノヲ障害物ト認ム、並ニ之レカ除却規定 五〇一 三九

傳染性病罹病獸類ニ關スル規定、之レカ賣却ヲ禁ス 一九八 四二

命令 一八八〇 四四  
獸醫及其他ノ者ハ其監督セル馬匹中ニ馬鼻疽、皮疽又ハ其他傳染性病ノ發生シタル際ハ之  
ヲ衛生局ニ報告スルヲ要ス



馬鼻疽ノ發生ハ衛生局ニ報告スヘシ  
罰則

四四  
四五

條例 六六〇

牛乳、乳場乳牛ノ検査、桑港市及國內ニ於ケル牛乳販賣規定、有害、不純、惡混牛乳ノ賣却ヲ禁シ、之ヲ爲ス者ヲ處罰ス

衛生局ハ牛乳、乳場、乳牛其ノ他検査ヲ規定スルノ權能ヲ有ス  
牛乳賣却人ハ許可ヲ要ス

四五  
四五  
四六  
四六

許可下附願ハ衛生局ニ於テ定ムル用紙ニ認メテ該局ニ提出スヘキコト  
衛生局ハ願ノ旨意可ナリト認メタル時ハ無料ニテ許可書ヲ下附スヘキモノトス、下附願旨意書ハ之ヲ全部記録スヘシ

四七  
四八

衛生局ニ對スル許可書所有者ノ陳述  
牛乳ノ認證

検査濟牛乳

四九  
四九

乳用牧獸

五一

牧獸ノ食料

五二

牧獸ノ世話

五二

搾乳者

五二

器具

五三

厩舎

五三

家畜園、又ハ收納小屋ノ周圍ノ庭地

五四

給水

五四

牛乳賣却人ハ荷車或ハ其他ノ上ニ顯著ニ許可ノ番號ヲ表示スヘシ

五五

何人モ不純、惡混、有害牛乳ノ販賣ヲ爲スヘカラス

五五

何人モ不純、惡混、有害牛乳ヲ市中ニ播入スルヲ得ス

五六

惡混、不純、非衛生的有害ノ字義

五六

牛乳運搬車ヲ以テ廢水、排物、塵芥其ノ他ヲ輸送スルコトヲ禁ス

五七

衛生局役員、代理人、雇員——牛乳賣却人ノ構造物ノ検査ニ對スル權能

五八

牛場検査ハ衛生局ノ義務

五八

牛乳検査ノ目的ヲ以テ構造物ニ入ル衛生局々員ノ權利ト義務

五八

衛生局及局員ハ牛乳ノ見本ヲ取ル事ヲ得——其ノ處置  
衛生局ニ對シ牛乳ノ不純ニ關スル乳場主ノ智識ノ報告  
衛生局役員ノ義務履行ニ對シ阻害ヲ爲スヘカラス  
衛生上害ナシト認メタルこんでんすみるく、ばたーみるく、酸酵牛乳ハ之レヲ販賣スル  
コトヲ得

一一二

五八  
五九  
五九

當市及國ノ外ヨリ來ル牛乳ハ検査ヲ受クヘシ  
牛乳ノ容器ハ蓋ヲ完全ナラシムヘシ  
此條例ノ規定違反者ニ對スル罰則

六〇  
六〇  
六一

條例 二二九

乳場建設及保持ノ規定、並ニ規定違反者ニ對スル罰則

六一

條例 一二七三

乳場、牛乳貯藏所、牛乳配達規則

六五

條例 二〇九八

牛乳殺菌規定、殺菌ノ定義及殺菌ノ方法

七二

條例 二〇九九

一くをーと(六合餘)又ハ夫レ以下ノ牛乳、乳酪ノ販賣ニ關スル規定

七四

條例 一二六五

桑港市及國內ニテ販賣セラル、牛肉、又ハ調肉食料品ノ検査規定、衛生局ハ右検査規定ヲ  
制定スルノ權能ヲ有ス、而シテ此條例ヲ犯ス者ヲ處罰スルコトヲ得

七五

條例 六五五

牛肉又ハ調肉食料品中ニ染料、藥劑、防腐劑ヲ使用スルコトヲ禁ス

七八

條例 七二一

蟹、ざりがに、其ノ他貝類ノ輸送調製販賣ニ關スル規定

七九

一三

命令 四六

桑港市及國內ニ於ケル卷煙草工場建設及保持ニ關スル規定

序言

卷煙草工場經營者ハ建造物ノ衛生状態ニ關シ衛生官ノ證明書ヲ有スヘシ  
衛生官ノ證明書——調製無料

傳染性病患者ハ如何ナル者ト雖モ總テ卷煙草工場内ニ從業、宿泊、寄宿、又滞留スルコ  
トヲ得ス

卷煙草ノ製作セラル、場所ニ於テ阿片ヲ喫スルコトヲ禁ス

卷煙草ヲ製作セル室内ニ於テ宿泊又ハ調理ヲ爲スコトヲ禁ス

卷煙草ヲ咬ミ或ハ濕スタメ口中ニ入レ又ハ唇ヲツケルコトヲ禁ス

口ヨリ水ヲ發出シ又ハ人ノ息ニテ水ヲ發スル器具ヲ用ヒテ煙草ニ水烟ヲカケルコトヲ禁  
ス

卷煙草ヲ製作セル室ノ床上ニ咯痰スルコトヲ禁ス

床上ニ於テ煙草ヲ乾燥セシムルコトヲ禁シ、架臺ノ使用ヲ規定ス

罰則

衛生官ノ證明書ハ顯著ナル場所ニ表示スヘシ

衛生官ノ命令實施

條例 一〇二七

粗雜石腦油ヲ材料トスル瓦斯製作事業ノ保持ニ關スル規定

條例 一〇二八

瓦斯作業施行ニ關スル規定

條例 八六九

こゝるたゝる又ハ之ト類似ノ排泄物ヲ公共下水渠或ハ港灣内ニ排出スルコトヲ禁ス

條例 七三一

家畜飼養ニ關スル規定

條例 一四一〇  
豚飼養ニ關スル規定

條例 八二一  
家畜屠殺及屠殺場保持ニ關スル規定

條例 一二三二  
食用犢屠殺及販賣ニ關スル規定

條例 八二二  
動植物質溶解又ハ變形ヲ爲ス設置ニ關スル規定

條例 一〇二九  
下肥運搬車使用規定

條例 六五  
塵芥汚物、廣義解ノ排物又ハ灰、廢水、輸送用車ニ對スル規定

條例 一八五八  
廣義解ノ灰又ハ排物、塵芥汚物、輸送用車ニ對スル規定

條例 三五七  
塵芥汚物蒐集規定、金屬製容器ヲ使用シ蓋ヲ嚴重ニスルコト、迅速ニ變形セシムルコト、並掃除人荷車許可廢止ノ規定

條例 五〇  
魚市場ヨリ塵芥汚物、排物ヲ轉送スヘキ時間

命令 一二  
桑港市及國內如何ナル土地ニモ、又ハ同上隔壁或ハ波止場ヨリ水中ニ塵芥汚物、屠所ノ廢

肉、腐敗物等其他ヲ投棄スヘカラス、右ハ燒クコト、變形セシムルコト、關係官員ノ義務  
罰則——警察長官ノ義務 一八  
衛生局ト命令ノ實施 一九

條例 一八七四

碎屑及塵芥汚物ヲ除去スル空地清潔方法ニ關スル規定 一〇二

條例 三三〇〇

桑港市及國內ニ公共洗濯所ノ建設及保持ニ關スル規定、此條例ニ抵觸スル總テノ條例ヲ廢止ス 一〇三

條例 一三八

「地下室」ノ定義。建築物ノ下層部、又ハ健康ニ有害ナル瓦斯、蒸氣、臭氣ノ滲透シ又ハ濕潤ナル床ヲ有スル室、又ハ地下室又ハ浴室、又ハ便所ヲ有スル室、其他排水、換氣ノ不充分又ハ有害物ノ存在或ハ然ラサルモ、居住、宿泊ノ場所トシテ生命健康ニ危險ナル場所ノ

貸借ヲ禁ス 一〇七

條例 一六二

下水渠、水溜或ハ下水汚物、腐水其他健康ニ危險ヲ致ス物質ヲ有スル場所ヨリ千呎以内ニ生シタル又ハ生スル草類又ハ食用ニ供セラルヘキ植物ヲ蒐集、贈與、分配、販賣又ハ販賣ノ目的ヲ以テ保存スヘカラス 一〇八

條例 三五四

當市及國所定ノ區域内ニ於テ絨氈打製場、製革場、廢布毛工場ノ建設ヲ爲スヘカラス、區域ノ説明 一〇九

條例 五七四

製作材料トナル廢毛及原料ノ消毒規定 一一〇

條例 三八四

野兔、家兔、モルモット、雞、七面鳥、鴉鳥、家鴨、鳩、其他禽類飼養ニ關スル規定

一一二

條例 八五七

桑港市及國內ニ於テ土棲栗鼠ノ飼養、贈與、販賣、輸入ヲナスコトヲ禁ス

一一四

條例 五七八

桑港市及國內ニ於テ有害物混和食料品製造、販賣、贈與、分配ヲナスコトヲ禁ス

一一五

條例 五七九

飲食料品保藏ノ爲メニ使用セラル、合劑其他ノ物質ノ見本ハ衛生局ノ要求ニ應ジテ之ヲ提  
示スヘシ

一一六

條例 一四二六

飲食料品製造、販賣、贈與、保存ノ規定、惡混及不適度混和ヲ禁ス

一一七

條例 六三七

外用内用ヲ問ハス藥物、防腐劑、消毒劑、化粧品ヲ配達シテ他人ノ家屋又ハ入口ニ置クコ  
トヲ禁ス

一一二

條例 六四二

旅館、下宿屋、私宅其他寢所ヲ有スル建築物ニ對スル瓦斯支給規定、一八九八年二月二十  
五日決裁命令五七(第二編集)ヲ廢止ス

一一三

條例 七九七

食用ニ供スヘキ屠獸ノ屍ヲ蓋ナクシテ公共通路ヲ輸送スヘカラス

一一四

條例 一〇二〇

販賣スル米ノ調製ニ油、ばらひん、其ノ他類似ノ物質ヲ使用スヘカラス

一一五

條例 一〇三一

飲料用器具ニ關スル規定

條例 一〇一一

公共水ノ汚染ヲ禁ス

條例 一〇三六

井戸使用規定

條例 一三七六

市街軌道客車清潔並ニ消毒ニ關スル規定

命令 三〇六五

洗濯所ニ於テ口中ヨリ水ヲ發出シテ衣類ニ水烟ヲカケルコトヲ禁ス

條例 一〇三一

食用植物ノ灌溉又ハ散水ニ汚水、下水ヲ使用スヘカラス、食用植物ノ産出、販賣ヲ爲ス者ハ衛生局ノ免許ヲ要ス

命令 三〇六三

當市及國內公共建築物床上或ハ道路上ニ咯痰スルコトヲ禁ス、禁ヲ犯ス者ヲ處罰ス

命令 三〇六四

桑港市及國軌道客車内ニ於テ咯痰スルコトヲ禁ス

條例 一三七七

公共道路ヲ通シ開放セル容器ヲ以テ食麵菓子類ノ輸送ヲナスコトヲ禁ス

條例 一三

桑港市及國內ニ於テ飲食所、料理所、肉販賣所、果物商、青物商、家禽商、珍珠商、麵麩屋、露店等ノ建設經營ニ關スル規定

條例 一五五〇

大小諸店ニ於テ麵麩其他麵麩屋ニテ製造セラレタル品物ノ受領或ハ配達ニ用フル適當ノ容器ヲ設備セル場合ノ外、閉店中同上ノ受領又ハ配達ヲ爲スコトヲ得ス、右容器ノ説明、此條例違反者ニ對スル罰則

二四

一三五

條例 二一

障害物ノ定義、桑港市及國衛生官ハ上ニ云フ障害物ノ除去、破毀ヲ爲スコトヲ得

一三七

條例 七六

惡混藥劑ノ販賣ヲ禁ス、「惡混」及「藥劑」ノ定義、藥劑中ニめちるあるこゝろヲ入レテ販賣スルコトヲ禁ス、條例實施、違反者ニ對スル罰則

一三八

條例 二六三九

桑港市及國內ニ於ケル厩舎建設及保持ニ對シ監理局ニテ取消シ得ヘキ許可書ヲ發行スルコトニ關スル規定

一四〇

條例 三三四

今後桑港市及國內ニテ教會、學校、其他居住所ヨリ五十呎以内ノ地ニ四頭以上ノ馬匹ヲ收容スヘキ厩舎ノ建設及保持ヲナスヘカラス

一四二

條例 二九一七

桑港市及國內ニ於ケル食料品製造、取扱、販賣ニ關スル規定

一四三

條例 一六八一

汚レタル、不用ノ、放棄サレタル、下衣、上衣、夜具、雜布ヲ以テ製作シタル拭巾ノ洗滌、消毒、使用、販賣ニ關スル規定

一四八

條例 二五〇三

閉テ籠メタル地下空所ニ於テ有毒瓦斯ノ爲メニ窒息セラル、コトヲ豫防スヘキ必要方法ノ取得、維持、使用ニ關スル規定、條例違反者ニ對スル罰則

一五二



條例 三二四八

青物卸賣市場ヨリ塵芥汚物、排物ヲ轉送スヘキ時間、青物取扱、販賣、交換並ニ人道或ハ停止セル車上ニ青物ノ推積ヲ爲スコトニ對スル規定

一五三

條例 三四七二

公衆衛生局ニ於テハ出産、死亡ニ關スル證明書ノ寫ヲ保管スルコトヲ要ス

一五四

(終リ)

# 衛生條例

公衆衛生保持、病院規則、病疫豫防、食料品製造、食料品販賣所ニ關スル條例

條例 二十五號

一千九百年三月三十日ノ承認ニ係ル

桑、港、市、及、郡、部、内、ニ、死、體、ヲ、埋、葬、ス、ル、コ、ト、ヲ、禁、ス、

桑港市及郡部内ニ死體ヲ埋葬スルコトハ公衆衛生上危害アルカ故ニ桑港市及郡部ノ人民ハ左記ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 紀元一千九百一年八月一日及夫レヨリ以降左ノ如キ行爲アルモノハ何人ト雖モ如何ナル協會、如何ナル團體ト雖モ、皆ナ是レ法律違犯者トシテ處罰セラルヘキモノトス、曰ク桑港市及郡部内ノ或ル墓地若クハ其他ノケ所へ或ル人ノ死體ヲ埋葬シ若クハ埋葬セシメタルモノ是レナリ、但合衆國ニ屬スルケ所若クハ同シク裁判管轄區域内ニ屬スル部分ハ此限ニアラス

第二條 苟クモ本條例ニ規定サレタル條項中ノ何レニカ違犯シタル者アランカ、何人ト雖モ如何ナル協會、如何ナル團體ト雖モ違法者ト思惟セラレ其證據判然タランニハ、壹百弗以上五百弗以内ノ罰金ニ處シ、若クハ六ヶ月以内ノ禁錮ニ處シ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セ課スルコトアルヘシ

第三條 一千九百六十一號ノ命令及本條例ノ規定スル條項ニ抵觸スル所ノ命令及條規ハ皆ナ自然消滅スヘキモノトス

命令 二千七百九號

一千八百九十三年十一月一日ノ承認ニ係ル刑事ニ關係セル死體處分ノ規定

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規定ヲ制定セリ

檢屍官ノ許可アルニアラスンハ頓死シタル者ノ死體ヲ解剖スルコトヲ得ス

第一條 檢屍官ヨリ發シタル死體解剖許可證ナクシテ左記ノ如キ者ノ死體ヲ解剖シ若クハ斯ル解剖ヲ幫助シタルモノハ何人ト雖モ法律違犯者トシテ處罰セラルヘキモノトス、曰ク頓死シタル者、死因ガ犯罪事件ニ關係アリトノ疑ヒアル者若クハ自殺者ノ死體ヲ解剖スルカ如キ是レナリ

檢屍官若クハ衛生官ノ許可アルニアラスンハ頓死シタル者ノ死體ヲ他ニ移轉スルコトヲ得ス

第二條 何人ニ限ラス左ノ如キ手續ヲ爲スニアラスンハ、頓死シタル者ノ死體ヲ其死シタル所ヨリ他ニ移轉シ若クハ移轉セシムルコトヲ禁ス、曰ク檢屍官若クハ衛生官ヨリ斯ル死體移轉ノ許可ヲ受クル事、若クハ斯ル死者ノ死スル前二十四時間以上看護シタル醫師ヨリ此者ノ死因ハ直接ト間接トヲ問ハス刑事上ニ關スルモノニアラストノ證明書ヲ受クルコト是レナリ

檢屍官若クハ衛生官ノ許可アルニアラスンハ如何ナル方法ニ依ルモ死體ヲ處分スルコトヲ得ス

第三條 犯罪ノ結果死刑ニ處セラレタル者ノ死體ヲ埋葬シ、之ヲ解剖シ若クハ其死體ノ一部分ヲ解剖セントスル場合ニハ、必ラス檢屍官若クハ衛生官ノ許可ヲ得サルヘカラス、否ラスンハ法律違犯者トシテ處分セララルヘキモノトス

死體ノ埋葬若クハ移轉ニ就テノ許可ヲ得ヘキ手續

第四條 死體ヲ埋葬シ、他ニ移轉シ若クハ其他ノ處分ヲ爲サントスル場合ニハ、衛生官ノ許ヘ死者ノ姓名、年齢及死亡シタルケ所等詳細ニ認メタル死亡證ヲ差シ出シテ許可ヲ受ケサルヘカラス、若シ其死因カ犯罪事件ニ關シタランニハ其顛末ヲ精密ニ認メテ差シ出サ、ルヘカラス、若シ斯ル手續ヲ爲サスシテ之ヲ埋葬シ、他ニ移轉シ若クハ其他ノ處分ヲ爲シタランモノハ、何人ニテモ違法者トシテ處分セララルヘキモノトス

罰則

第五條 本條例ニ規定セラレタル條項ノ何レニ違犯シタル者アランカ、斯ル者ハ何人タルヲ問ハス犯罪者タルヘキ者ト思惟セラレ其證憑充分ナランニハ、五百弗以内ノ罰金ニ處セラル、カ、六ヶ月ヲ踰ヘサル期間、郡監獄ヘ禁錮セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セ課セラル、コトアルヘシ

命令 二千四百五十七號

一千八百九十一年十月六日ノ承認ニ係ル

凡ソ死體ハ死後五日以内ニ埋葬シ若クハ或ル窖中ニ納ムヘク、又タ當市及郡部内ニ埋葬スルノ目的ヲ以テ到着シタル死體ハ右同一ノ期間内ニ埋葬スヘキモノトス

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

死體ノ埋葬

第一條 桑港市及郡部内ニ於テ死亡シタル者ノ死體ハ皆ナ是レ其死亡當日ヨリ五日以内ニ或ル墓地ニ埋葬スヘク、又タ當市及郡部ニ埋葬スヘキ目的ヲ以テ他ヨリ到着シタル死體ハ、其到着當日ヨリ同期間内ニ埋葬センコトヲ要ス

罰則

第二條 桑港市及郡部内ニ於テ死亡シタル者ノ死體ニ就テ責任ヲ有スル者、若クハ當市及郡部内ニ埋葬スルノ目的ヲ以テ到着シタル死體ニ關シテ責任ヲ有スル者カ、此命令ニ規定セラレタル條項ノ何レニカ違犯シタル者アランカ、斯ル者ハ其何人タルヲ問ハス犯罪者ト思惟セラレ其證憑充分ナランニハ五十弗以上一百弗以内ノ罰金ニ處セラル、モノトス

命令 二千七百四十八號

一千八百九十四年三月廿一日ノ承認ニ係ル

火葬場ニ關スル規定

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規定ヲ制定セリ

第一條 何人ト雖モ桑港市ノ市街地、道路若クハ公園等ヨリ三百呎以内ノケ所ヘハ人類ノ死體ヲ燒却シテ燃滓トナスヘキ竈ヲ築造シ、維持シ若クハ用フルコトヲ得ス、好シ市街地、公園等ヨリ斯ル距離外ニ設ケラル、トスルモ、公衆衛生上ニ危害ヲ與ヘス其方面ノ雅致ヲモ損セサルモノニアラスンハ之ヲ維持シ之ヲ用フルコトヲ許サス、而シテ此命令ニ違犯シタル者アランカ、斯ル者ハ其何人タルヲ問ハス犯罪者ト思惟セラレ其證憑充分ナランニハ、五百弗以内ノ罰金ニ處セラル、カ、六ヶ月ヲ踰ヘサル期間ヲ以テ郡監獄ニ禁錮セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處分セラル、コトアルヘシ

命令 二百四十一號

一千八百九十九年十二月八日ノ承認ニ係ル

死體火葬ニ關スル規定

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規定ヲ制定セリ

第一條 桑港市及郡部内ニ於テ死亡シタル者アリ、此死者ノ死體ヲ處分スヘキ責任ヲ有スル者カ其死體ヲ火葬ニセントスルノ意見ナランカ、斯ル場合ニ於テハ其責任者ヨリ衛生局ヘ願ヒ出テ、之カ許可ヲ受ケサルヘカラス、但シ其願書ニハ責任者自カラ調印センコトヲ要ス

第二條 火葬ニ關スル願書ニハ醫師、檢屍官若クハ二名ノ名譽アル良民ノ證明書ヲ添付センコトヲ要ス、而シテ其證明書ニ記載スヘキ重モナル事柄ハ死者ノ姓名、年齢、人種、出生ケ所、職業、死亡年月日及死因等はレナリ

第三條 右ノ如キ願書及證明書カ提出サレタラン場合ニハ墓所發掘視察官（若クハ衛生局又ハ衛生官ヨリ特ニ任命サレタル者）ハ直チニ右死亡ニ關スル事實ヲ調査センコトヲ要ス、而シテ斯ル視察官ハ右火葬出願書提出ヨリ十二時間内ニ其調査シタル結果ヲ衛生局ヘ復命スヘキモノトス、即チ其復命書ハ死者ハ天然ノ死ヲ遂ケタルモノトカ、或ハ斯克／＼ノ理由アリテ火葬ニ附スヘカラス等ノ意見ヲ述フルモノ是レナリ

第四條 斯クテ衛生局カ斯ル復命書ヲ得テ火葬ニ附スヘカラサル理由ノ充分之レナキモノト認メタランニハ、火葬願許可書ヲ交付センコトヲ要ス

第五條 茲ニ一ノ死者アリテ其死因如何ヲ確カメル爲メニ檢屍官ノ臨檢ヲ必要トスル場合アラシカ、斯ル死者ノ死體火葬ハ許可スヘキ限リニアラス、但シ火葬ニ附スヘキ死體中ノ或ル部分若クハ内臓ノ何レカカ他日ノ證據物トシテ取り去ラレタル場合ハ火葬ヲ許可スルモ妨ケナキモノトス

第六條 桑港市及郡部内ニ於テ死亡シタル者ノ死體ヲ火葬ニセンカ爲メニ他ニ移サントスル場合ニハ、必ラス衛生局若クハ衛生官ヨリ之カ許可ヲ受ケサルヘカラス、斯ル許可ヲ得スシテ之ヲ他ニ移シタルモノ

ハ違法者トシテ處罰セララルヘキモノトス、又タ傳染病ニ罹リテ死亡シタル者ノ死體ヲ他ニ移シテ火葬ニ附セントスル場合ニハ、衛生局若クハ衛生官ヨリ特別ノ許可證ヲ受ケサルヘカラス

第七條 衛生局ノ規定若クハ法律上所謂ル傳染病ニ罹リテ死亡シタル者ノ死體ハ、公然暴露セシメス之ヲ納メタル箱ノ儘火葬ニ附センコトヲ要ス、而シテ衛生局ハ斯ル死體ヲ火葬ニセントスル場合ニハ本條ノ規定ニ從ハンコトヲ要ス

第八條 此命令ニ規定サレタル條項中ノ何レニカ違犯シタル者ハ、犯罪者トシテ五百弗以内ノ罰金ニ處スルカ、六ヶ月以内ノ禁錮ニ處シ若クハ罰金ト禁錮トヲ併セ處セラル、コトアルヘシ

條 例 一千三百八十二號

一千九百十年十一月二十二日ノ承認ニ係ル

桑港市及郡部内ニ死體ヲ火葬ニ附スルコトヲ禁止ス

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 一千九百十一年七月一日及其レヨリ以降何人ヲ問ハス何タル協會若クハ何タル團體ヲ論セス、桑港市及郡部内ニ於ケル人ノ死體ヲ火葬トナシ若クハナサシムルコトヲ得ス、若シ斯ル所業アリタル者ハ法律違犯者トシテ處罰セララルヘキモノトス、但同市及郡部ト雖モ合衆國ノ管轄ニ屬スル部分ハ此限ニアラス

第二條 本條例ニ規定サレタル條項中ノ何レニカ違犯シタル者ハ、何人ニテモ何タル會社、何タル協會、何タル團體ニテモ犯罪者ト思惟セラレ其證憑充分ナランニハ、五百弗以内ノ罰金ニ處セラル、カ、六ヶ月ヲ踰ヘサル期間内、郡監獄ニ禁錮セラレ、若クハ罰金ト禁錮トニ併セ處セラル、コトアルヘシ

第三條 本條例ノ規定スル條項ト抵觸スル所ノ他ノ條例ハ皆ナ是レ自然消滅ニ歸スヘキモノトス

條 例 九百七號

一千九百九年十月廿五日ヨリ實行

醫師及病院監理者、タラン者ハ、刑事上ニ關係セル事變若クハ其他ノ損害ニ就テ警察長官ニ報告センコトヲ要ス

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規定ヲ制定セリ

第一條 桑港市及郡部内ニ於ル公立若クハ私立ノ病院及療養所ノ醫師、所有者若クハ監理者タランモノハ皆ナ是レ左ノ如キ職責ヲ有スルモノトス、曰ク斯ル病院ノ入院患者ニシテ自分ノ所業若クハ他ノ者ノ爲メニ負傷シ或ハ傷害ヲ受ケタルモノアラン場合ニハ、其患者ノ姓名及其患者ニ關シテ知り得タル事實ヲ併セテ、直チニ桑港市及郡部所轄ノ警察長官ニ報告スヘキ職責ヲ有スルコト是レナリ

第二條 苟クモ桑港市及郡部ニ於テ開業セル醫師タランモノハ、好シ右ノ如キ病院若クハ療養所ニ關係之レナシトスルモ、右ノ如キ患者ニ就テハ同一ノ手續ヲ爲サ、ルヘカラス

第三條 桑港市及郡部所轄ノ警察署ノ或ル署員ヨリ負傷シタル者若クハ傷害サレタル者ヲ病院、療養所若クハ醫師ノ許ヘ差シ向ケ來リタル場合アランカ、本條例ノ規定ハ斯ル場合ニ適用スヘキモノニアラス

第四條 本條例ノ規定セル條項中ノ何レニカ違犯シタルモノアランカ、其何人タルヲ問ハス犯罪者ト認定セラレ其證憑充分ナランニハ、五百弗以内ノ罰金ニ處セラル、カ、六ヶ月ヲ踰ヘサル期間、郡監獄ニ禁錮セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處分セラル、コトアルヘシ

第五條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セラル、ヘキモノトス

命 令 二千二百二十六號

一千八百八十九年十月卅一日ノ承認ニ係ル

死體防腐法ニ關スル規定

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

其筋ノ許可證若クハ檢屍官ノ許可アルニアラスンハ死體ニ就テ防腐法ヲ行フコトヲ得ス

第一條 死體ニ就テ防腐法ヲ行ハント欲スル時ハ如何ナル方法ニ依ルモ必ラス先ツ其死者ヲ診斷セル醫師ヨリ死亡診斷書ヲ申シ受ケサルヘカラス、斯ル死亡診斷書ナクンハ何人ト雖モ死體ニ就テ防腐法ヲ行フコトヲ得ス、若シ死亡診斷書ヲ得ヘキ醫師之レナキ場合ニハ檢屍官ヨリ之カ許可證ヲ受ケンコトヲ要ス、然レトモ死體防腐ノ一法トシテ氷塊ヲ用フル場合ニハ此規定ヲ適用スヘキモノニアラス

死體防腐液ヲ用ヒタラン場合ニハ之ニ關スル書類ヲ保存シ置カサルヘカラス

第二條 何人ニ限ラス死亡診斷書等ヲ得タル後第一條ニ記載シタル防腐法ヲ行フタラン場合ニハ、必ラス之ニ關スル書類ヲ保存シ置カサルヘカラス、即チ其書類トハ防腐ノ方法防腐ノ材料、之ヲ行フ時日ト場所トヲ一々記載シタルモノ是ナリ、而シテ検屍官等ヨリ書類ヲ一覽センコトヲ要求サレタル場合ニハ何時ニテモ猶豫スルコトナク直チニ之ニ應セサルヘカラス

臨床醫師タラン者ハ死亡診斷書作成要求ヲ受ケテヨリ二時間内ニ作成シテ交付センコトヲ要ス、但シ死因調査ノ爲メ死體ヲ解剖シ居ル場合ハ此限ニアラス

第三條 死亡診斷書作成要求ヲ受ケテヨリ二時間内ニ作成シテ交付スルハ法律上臨床醫ノ職責ナリトス、但シ死因調査ノ必要上死體ヲ解剖シ居ル場合ハ此限ニアラス

罰則

第四條 何人ニ限ラス本命令ニ規定サレタル條項ノ何レニカ違犯シタランカ、是レ犯罪者ト認定セラルヘキモノニシテ其證憑充分ナランニハ、一百弗以上五百弗以内ノ罰金ニ處スルカ、六ヶ月以内ノ禁錮ニ處セラレ、若クル罰金ト禁錮ト併セテ處分セラル、コトアルヘシ

條例 八十七號

一千九百年六月六日ノ承認ニ係ル

衛生局ハ傳染病蔓延豫防上必要ナリト認定シタル場合ニハ、人、家屋、場所及地方ニ對シテ檢疫規則ヲ實行スヘキ權能ヲ有ス

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 當市及郡部ノ衛生局ハ傳染病蔓延豫防上必要ト認定シタル場合ニハ、人、家屋、場所及地方ニ對シテ檢疫規則ヲ實行スヘキ權能ヲ有ス

第二條 從來ノ命令及條例ニシテ本條例ノ規定ト抵觸スルモノハ皆ナ是レ自然消滅ニ歸スヘキモノトス

第三條 本條例ハ議定後直チニ實行セラルヘキモノトス

條例 一千三十四號

一千九百三年十月廿七日ノ承認ニ係ル

疾病蔓延防止規定

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 『傳染病』トハ概ネ左ノ如キ疾病ノ謂ナリ、曰ク他ニ傳染スヘキ疾病、疫病ノ性質ヲ有スルモノ、例之ヘハ虎列拉、黃熱、痘瘡、假痘、肺結核、實布埤利亞、猩紅熱、窒扶斯熱、癩疹、肺病、其他衛生局ヨリ公衆衛生上ニ危害ヲ與フヘキ疾病ト公告シタルモノ、類是レナリ、但シ此規定ハ一千九百六年三月廿六日發布一千七百八十六號ノ條例ヲ以テ改正セラレタリ

第二條 前述シタル傳染病患者ヲ診察シタル各醫師タランモノハ、該患者ノ住所、姓名及病名等ヲ二十四時間内ニ衛生局ヘ報告セサルヘカラス、又タ斯ル患者ノ死亡シタル場合ニモ同シク二十四時間内ニ衛生局ヘ報告セサルヘカラス、但此規定ハ一千九百六年三月廿六日發布一千七百八十六號ノ條例ニ依リテ改正セラレタリ

第三條 肺結核患者ニシテ醫師ノ許ヘ來リテ診察ヲ乞ハントスルカ、若クハ公立又ハ私立ノ病院等ヘ入院スル者アリタラン場合ニハ、斯ル醫師若クハ病院等ノ監理者ヨリ其患者ノ氏名、住所、年齢、男女別、職業等ヲ書面ニ認メテ衛生局ヘ報告センコトヲ要ス

第四條 肺結核ニ罹リタル各患者、斯ル患者ヲ介抱スル各人及公立若クハ私立ノ病院、施療所等ノ監理者タランモノハ、皆ナ是レ衛生局ヨリ發セラレタル肺結核蔓延豫防規則ヲ遵守セサルヘカラス

第五條 衛生官若クハ衛生事務視察官タル者カ、傳染病患者ノ在居セル屋舎等ヲ臨檢セントスル場合ニ於テ、之ヲ防拒シ或ハ妨碍スル者アランカ、是レ法律違反者トシテ處罰セラルヘキモノトス

第六條 衛生局ハ或ル屋舎内若クハ或ル構内ニ傳染病若クハ疫病ニ罹レル患者アリト認定シタラン場合ニハ、斯ル箇所ヘ爾カノ傳染病患者アリト特記シタル目標ヲ貼付スヘキ權能ヲ有スルモノトス、若シ衛生局ヨリ斯ル目標ヲ貼付セントスルヲ妨碍スルカ、若クハ既ニ貼付シタル目標ヲ剝キ取ルカ或ハ之ヲ抹殺スルモノアランカ、皆ナ是レ違法者トシテ處分セラルヘキモノトス

第七條 船舶カ當市及郡部内ノ或ル波戶場、船渠若クハ或ル家屋等ヨリ一哩ノ四分一以内ノ距離ニアリテ、其船中ニ傳染病患者若クハ疫病ニ罹レル者アリトセンカ、斯ル場合ニ於テハ其船長若クハ船中ノ重モナル役員ヨリ日々書面ヲ以テ衛生局ヘ報告センコトヲ要ス、此書面ニハ患者ノ氏名及病狀等ヲ詳細ニ記載スヘキモノトス

第八條 當港ニ來着シタル或ル船舶ノ長、重モナル役員若クハ船中ニ於ル醫師タラン者ハ皆ナ是レ來着後直チニ左記ノ如キ事實ヲ衛生局ヘ報告センコトヲ要ス、曰ク當港ニ向ツテ航行スル途中船中ニ於テ或ル傳染病若クハ疫病ニ罹リタルモノアル場合ニハ其患者ニ關スル事實ヲ洩レナク報告スル事、及其航海中船中ニ於テ發生シタル事柄ガ當市及郡部ノ公衆衛生上ニ危害アルヘントノ意見ヲ抱キタランニハ、其等ノ事柄ヲ報告スルカ如キ事是レナリ

第九條 衛生局カ或ル家屋内若クハ或ル屋敷内ニ傳染病若クハ疫病ニ罹レル者アリト疑フヘキ理由アリト見定メテ、之カ臨檢ノ爲メ役員ヲ派遣シタル場合ニ於テ、臨床醫師若クハ其家長タル者カ其臨檢ヲ拒絶シタリトセンカ、斯ル場合ニ於テハ衛生局ハ此等ノ家屋若クハ屋敷ニ對シテ檢疫規則ヲ適用シテ交通遮斷ヲ行フテ妨ケナカルヘシ、但臨檢ヲ許シ消毒法等ヲ實行シタラン場合ニハ交通遮斷ヲ解クヘキモノトス

第十條 旅館、寄宿所、下宿屋若クハ賃借家ニ在居スル者ニシテ傳染病若クハ疫病ニ罹リタル者アラン場

合ニハ、其持主若クハ斯ル箇所ノ管理人ヨリ直チニ其由ヲ衛生局ヘ報告センコトヲ要ス、而シテ衛生局カスル報告ニ接シタランニハ、直チニ役員ヲ派遣シテ其患者ノ容體如何ヲ視察セシメンコトヲ要ス、且ツ衛生局カ自カラ必要ナリト認メタランニハ、斯ル旅館、寄宿所、下宿屋等ニ就キテ有效ナル方法ニテ清潔法及消毒法ヲ行ハンコトヲ要ス、其他衛生局ハ斯ル箇所ノ壁ヲ洗ハシメ若クハ壁紙ヲ剥キ去ラシムヘク、又タ患者ノ使用シタル寢具等ハ之ヲ洗濯スルカ薰蒸法ヲ施コスカ、必要ト認メタランニハ焼却スヘシ

第十一條 葬儀屋ニシテ傳染病患者ノ死體ヲ埋葬シタル場合ニハ直チニ衛生局ニ届ケ出テサルヘカラス、又タ傳染病患者ノ死體ハ充分ニ消毒シタル後五百倍ノ昇汞水ヲ飽和セシメタル「シート」ヲ纏フテ納棺セシムヘク、其棺ハ金屬製ニシテ死體ヲ納メタル後嚴重ニ密封セサルヘカラス、若シ葬儀屋ニシテ斯ル手續ヲ爲サス死體ヲ其儘ニ曝シ置キ、若クハ曝シ置クヘク幫助シタランニハ違法者トシテ處分セラルヘキモノトス

第十二條 傳染病若クハ疫病ニ罹リテ死亡シタル者ノ死體ヲ其死シタル室内ヨリ他ニ移スモノハ、何人ニ限ラス違法者トシテ處分セラルヘキモノトス、但埋葬若クハ火葬ニ附センカ爲メニ之ヲ他ニ移スハ此限ニアラス、又タ右ノ如キ死體ハ其死亡時間ヨリ二十四時間以内ニ埋葬シ若クハ火葬ニ附セサルヘカラス、但衛生局カ相當ノ理由アリト認メテ特ニ許可シタル場合ハ幾許カ此時間ヲ延長スルコトヲ得ヘシ、

然レトモ如何ナル場合ニテモ死亡時間ヨリ起算シテ三十六時間以上ニ亘ルヲ許サズ

第十三條 傳染病若クハ疫病ニ罹リテ死亡シタル者ノ死體ニ關シテ責任ヲ有スル者ハ、何人タルヲ問ハス其死體ヲシテ何人ニモ見セシムヘカラス、若シ見セシメタランニハ違法者トシテ處分セラルヘキモノトス、但臨床醫師、衛生局ノ役員、葬儀屋及其助手及死者ノ家族親戚等ハ此限ニアラス

第十四條 傳染病若クハ疫病ニ罹リテ死亡シタル者ノ死體ヲシテ公然教會堂ニテ葬儀ヲ行ハシムル葬儀屋ハ違法者トシテ處分セラルヘキモノトス

第十五條(一) 何人ヲ問ハス傳染病若クハ疫病ニ罹リテ死亡シタル者ノ死體ヲ或ル家屋ヨリ他ノ家屋ヘ移シ、或ル船舶ヨリ他ノ船舶若クハ海岸等ヘ移シタランニハ、違法者トシテ處分セラルヘキモノトス、但衛生局ヨリ許可證ヲ得タル者ハ此限ニアラス

第十五條(二) 傳染病患者若クハ疫病患者ハ或ル家屋ヨリ他ノ家屋若クハ病院ニ移シ若クハ移サシムルコトヲ得ス、若シ然カ爲シタランニハ違法者トシテ處分セラルヘキモノトス、但斯ル患者ノ身ニ殺菌法ヲ行フタル「シート」ヲ纏ハシメタル場合ハ此限ニアラス、又タ斯ル患者ノ使用シタル寢具等ハ其移轉後薰蒸法ヲ以テ消毒センコトヲ要ス、其他斯ル患者ノ移轉用ニ供シタル馬車等ハ其使用後直チニ消毒液ヲ以テ消毒センコトヲ要ス

第十六條 傳染病患者若クハ疫病患者ニ對シテ責任ヲ有スル者、或ハ斯ル患者ノ死體ニ就テ責任ヲ有スル



者ニシテ、其患者ノ看護ヲ怠リ若クハ其死體ニ就テ注意ヲ缺キタルカ爲メ其病毒ヲ蔓延セシメタランカ、  
斯ル者ハ其何人タルヲ問ハス、違法者トシテ處分セララルヘキモノトス

第十七條 公立若クハ私立ノ學校ノ長若クハ監督、幼童ノ父兄、後見人若クハ保管人ニシテ左ノ如キ行爲  
アル者ハ違法者トシテ處分セララルヘキモノトス、曰ク傳染病若クハ疫病ニ罹リタル幼童ヲシテ登校セシ  
ムルカ如キ行爲是レナリ、但シ衛生局ヨリ許可證ヲ與ヘタルモノハ此限ニアラス

第十八條 何人ニ限ラス本條例ノ規定セル條項ノ何レニカ違犯シタルモノニシテ其證憑充分ナランニハ、  
五百弗以内ノ罰金ニ處セララル、カ、六ヶ月以内ノ期間郡監獄ニ禁錮セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併テ  
處分セララル、コトアルヘシ

第十九條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セララルヘキモノトス  
條例 五百十五號

一千九百二年六月三十日ノ承認ニ係ル  
假痘患者ニ就テハ衛生官ニ報告センコトヲ要ス

變痘ノ假痘ト誤認セララル、コト往々ニシテ之レアリ、從ツテ生命ヲ危フスルモノ少ナカラス故ニ  
桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 桑港市及郡部ニ於テ開業スル所ノ醫師タラン者ハ、皆ナ是レ其診察シタル患者中假痘若クハ雞痘

ニ罹レルモノアリト充分ニ見据ヘ付キタラン場合ニハ、其都度書面ヲ以テ衛生官ニ報告センコトヲ要ス  
第二條 何人ニ限ラス以上掲ケタル規定ニ違犯シタル證憑充分ナランニハ、五百弗以内ノ罰金ニ處セララル  
、カ、六ヶ月ヲ踰ヘサル期間、郡監獄ニ禁錮セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處分セララル、コトアル  
ルヘシ

條例 七百十三號  
一千九百九年三月三十日ノ承認ニ係ル  
傳染病蔓延豫防法

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 衛生局ハ少ナクモ各學年ニ一回公立若クハ私立ノ學校ノ長、監督及教師ニ左ノ如キ書面ヲ送付セ  
ンコトヲ要ス、曰ク幼童ノ傳染病ニ罹レル徴候、寄生蟲的皮膚病（生虱症、疥癬等ヲモ包含ス）ノ徴候  
ヲ記載シタル書面是レナリ

第二條 衛生局ハ他ヨリ結核患者若クハ肺病患者ノアルコトノ報告ニ接シタランニハ、適當ノ醫師、看護  
婦等ヲ派遣シテ夫々手當ヲ爲サシメ、之ト同時ニ斯ル患者若クハ其家族中責任アル者ヘ交付スヘキ印刷  
物ヲ持參セシメンコトヲ要ス、此印刷物ハ平易簡單ナル文章ニテ斯ル疾病ノ傳染スヘキ事、危險ナル事  
ヨリ豫防法等ニ至ルマテ丁寧親切ニ記載シタルモノナリ



一千九百十三年四月十八日ヨリ實行セラル

當市及郡部ニ於ル公開所、公園、廣小路、公共團體、旅館、劇場、工場、商館、公會堂、公立學校及鐵道停車場等へ衆人共用ノ水呑「コツブ」ヲ備へ付ケルコトヲ禁止ス、之ヲ犯ス者ハ處罰セラル、モノトス

衆人共用ノ水呑「コツブ」ハ社會住民ノ健康上ニ害アリ、疾病殊ニ實布埤利亞、「コインフルエンザ」及其他ノ傳染病發生ノ原因トナルヘキモノナリ故ニ

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 當市及郡部ニ於ル公開所、公園、廣小路、公共團體、旅館、劇場、工場、商館、公會堂、公立學校及鐵道停車場等へ衆人共用ノ水呑「コツブ」ヲ備へ付ケルコトヲ禁止ス

第二條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハズ本條例ノ規定スル所ノ條項ノ何レニカ違犯シ其證憑充分ナランニハ、五十弗以内ノ罰金ニ處セラル、カ、三十日ヲ踰ヘサル期間、郡監獄ニ禁錮セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處分セラル、コトアルヘシ

第三條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セラル、モノトス

條 例 九百七十五號

一千九百九年十二月十八日ヨリ實行セラル

結核病蔓延豫防法ニ關スル規定

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

醫師及其他ノ者ヨリノ報告

第一條 結核病ハ傳染性ニシテ公衆衛生上ニ危害アルモノト謂ツヘシ

桑港市及郡部ニ於テ開業スル所ノ各醫師、或ル病院、公立若クハ私立ノ療養所等ノ管理者タランモノハ、結核患者ノ治療ヲ受ケン爲メ來リタル場合ニハ其都度報告書ヲ衛生局へ差シ出サンコトヲ要ス、其報告書ニ記載スヘキ事項ハ其患者ノ姓名、年齢、男女別、人種別、住所及最近職業ニ從事シタルケ所等是レナリ、且ツ此報告書規定ノ様式ニ從ツテ之ヲ認メ患者ノ來リシヨリ二十四時間内ニ差シ出サン事ヲ要ス

唾液ノ試験

第二條 衛生官タル者ハ其ノ職責上他ヨリノ要求ニ應ジテ唾液ニ就テ顯微鏡的試験ヲ爲サンコトヲ要ス、即チ或ル醫師、病院若クハ療養所等ノ管理者ヨリ結核ノ症候ヲ有スル者ノ姓名、年齢、男女別、人種別、職業、最近職業ニ從事シタルケ所及住所ノ報告ニ併セテ其唾液ヲ送り越シタル場合ニハ、成ルヘク手早ク試験シテ其結果ヲ依頼者ニ報告センコトヲ要ス、但其試験ニ對シテハ無報酬タルヘキモノトス

記録ノ保護

第三條 衛生官タルモノハ其職責上總テノ報告書及本條例第一條及第二條ノ規定スル所ニ從ツテ爲シタル

試験ノ結果、即チ結核菌ノ有無等ヲ記載シタル書類ヲ夫々保存シ若クハ保守セシメテ事ヲ要ス、而シテ自カラ此等ノ記録保管者ノ任ニ當ルヘキモノトス、且ツ此等ノ記録ハ本州、當市及郡部ノ衛生當局者以外何人ニモ閲覽セシムルコトヲ許サス、又タ其内容ハ秘密ニシテ洩スコトヲ得ス、但本條例ニ規定セラレタル條項ヲ遂行スル爲メ必要ナル場合ハ此限ニアラス

#### 屋敷内ノ消毒法

第四條 結核患者ノ死亡シタルカ若クハ他ヘ移轉シタルカ爲メ或ル屋舎若クハ或ル家屋ノ一室カ空虚トナリタル場合アラシカ、斯ル場合ニ於テハ其臨床醫師ヨリ職責上二十四時間内ニ該患者ノ死亡若クハ移轉ノ事ヲ公衆衛生局ヘ届ケ出テサルヘカラス、若シ斯ル醫師之レナキカ或ハ一時不在ナラン場合ニハ、其家屋ノ所有者、借家人、現住者若クハ其家屋ニ對シテ責任ヲ有スル者ヨリ右ノ次第ヲ届ケ出テテコトヲ要ス、且ツ斯ク空虚ニサレタル家屋室内ハ規定ニ從ツテ清潔法若クハ消毒法ヲ實行シタル後ニアラスンハ、何人ト雖モ占居スルコトヲ得ス、又タ結核患者ニシテ他ヘ移轉セント欲スル時ハ、先ツ其旨其筋ヘ届ケ出テ、其ケ所カ清潔法若クハ消毒法ヲ行ヒ得ラルヘキ手筈ヲ爲サシメサルヘカラス、否ラスンハ違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス

#### 衛生官ハ消毒法若クハ清潔法ヲ實行スルニ就テ指導ノ任ニ當ルヘキ事

第五條 第四條ノ規定ニ從ツテ家屋若クハ室内ヲ空虚ニシタル届ケ出ニ接シタランニハ、衛生官タル者若

クハ其代理者タラン者ハ現場ニ臨ミテ、清潔法若クハ消毒法ヲ實行スルニ就テ夫々指揮センコトヲ要ス、斯ク清潔法若クハ消毒法ヲ實行スルノ際、病毒ニ感染シタル物品等ハ適當ニ消毒法等ヲ行フタル後ニアラスンハ他ヘ移轉セシムルコトヲ得ス、但消毒法實行上妨碍トナルヘキ場合ハ此限ニアラス、此等ノ家屋若クハ室内ハ適當ニ清潔法若クハ消毒法カ行ハレテ最早安全ナリトノ見据カ付キタルニアラスンハ何人ニテモ占居セシムルコトヲ得ス、若シ斯ル家屋ノ所有者カ自費ニテ消毒法等ヲ行ハンコトヲ願ヒ出テタル場合ニ於テ、衛生官カ不都合ナシト認メタランニハ之ヲ許可シテ妨ケナキモノトス、其他消毒法ヲ行ヒ難キ物品アラシニハ焼却セシメンコトヲ要ス

#### 衛生官ノ命令ヲ遵守スルニアラスンハ占居スルコトヲ得ス

第六條 衛生官ヨリ或ル家屋、室内若クハ其内ニアル所ノ物品ニ對シテ清潔法若クハ消毒法ヲ行フヘシトノ命令指揮ヲ下シタルニモ拘ラス、其命令指揮ヲ下シタルヨリ四十八時間以内ニ之ヲ實行セサル場合アリトセンカ、斯ル場合ニ於テハ衛生官ハ斯ル家屋若クハ室内ノ戸ニ左記ノ如キ揭示ヲ出サシメンコトヲ要ス

『結核病ハ是レ傳染病ナリ、當所ハ結核患者占居シテ其病毒ノ感染シタル所ナリ、衛生官ノ命令ニ從ツテ消毒法等ヲ行フニアラスンハ何人モ占居スルコトヲ得ス、此揭示ハ衛生官若クハ相當官吏ノ外取リ去ルヲ許サス、犯ス者ハ法律ニ從ツテ處罰セラルヘキモノナリ』

結核患者ノ不注意ヲ禁止スル事

二四

第七條 結核ニ罹レル者カ其吐出シタル唾液若クハ其他ノ排泄物ニ就テ更ニ注意スル所ナク濫リニ打テ棄テ、同家屋ニ住居スルモノ若クハ同室ニ居ル者ヲシテ危険ナラシムルカ如キ所業アリトセンカ、是レ不都合ナル所爲ニシテ罪ナクンハアラス、而シテ斯ル危険ニ遭遇シタル同家屋ノ居住者若クハ同室ノ者ヨリ書面ヲ以テ衛生官ノ許へ訴へ出テタランニハ、衛生官タル者ハ其職責トシテ其實況ヲ調査シタル結果、果シテ事實ニ相違ナキニ於テハ其事實ヲ詳記シタル注意書ヲ關係結核患者ニ與へテ其不都合ナル所爲ヲ改メシメントコトヲ要ス

結核患者ノ家族ヲ保護スル事

第八條 結核患者ノ掛醫員タル者ハ其職責上該患者ト同家屋ニ住居スル者若クハ同室ニ居ル者ノ安全ヲ計ランカ爲メニ、適當ナル警戒及訓諭ヲ與ヘンコトヲ要ス

強制的移轉ノ事

第九條 結核患者ニシテ資力乏シキカ爲メカ或ハ其他ノ原因ニテ衛生局ノ規定ニ係ル病毒蔓延ノ豫防方法ヲ遵守セサルカ、若クハ故意ニ此等ノ規定ニ從ハサルカ、若クハ幼童等カ此等ノ病毒ノ感染ヲ免カルコト能ハサル状態ニアランカ、斯ル場合ニ於テハ何レモ皆衛生局ヨリ命令ヲ下シテ直チニ相當ノ病院若クハ療養所へ送付セシメントコトヲ要ス、而シテ此等ノ患者ノ病毒カ他ニ傳染スルノ恐レナキニ至ルカ、若

クハ衛生局ヨリ發セラレタル豫防規定ヲ遵守シ得ヘキ場合ニ至ラスンハ、此等ノ病院ヨリ退院スルコトヲ許サス、但シ一千九百十年一月六日ノ承認ニ係ル一千四十號ノ條例ニ依リテ改正セラレタリ

衛生官ノ用意スヘキ警戒書ニ係ル印刷物

第十條 衛生官タル者ハ其職責上結核病ヲ報告スル所ノ醫師ニ左ノ如キ印刷物ヲ交付センコトヲ要ス、曰ク結核患者ノ發生シタル屋舎等ニ於テ施行スヘキ方法處分等ニ係ル印刷物はレナリ、斯ル印刷物ヲ受ケタル醫師ハ之ニ記載シアル事項ヲ夫々實行シ、其狀況結果等ヲ衛生官ニ復命センコトヲ要ス、若シ斯ル臨床醫師ニシテ斯ル處分ヲ實行スルコトヲ好マサル場合アランニハ、其由ヲ交付サレタル印刷物ニ附記シテ直チニ返却センコトヲ要ス、既ニ其印刷物ヲ斯ク返却シ來リタランニハ其實行ノ責任ハ衛生官ニ歸スヘキモノトス、而シテ衛生官カ臨床醫師ヨリ差シ出シタル報告書ニ接シテ其醫師ノ取リタル方法處分ニシテ不充分ナル所アリ、從ツテ患者ト同一ノ家屋内若クハ同室ニアル者ニシテ尙ホ危険ヲ免ルル、コト能ハサルヘシト認メタランカ、斯ル場合ニ於テハ其報告書ヲ差シ出シタル醫師ノ許へ差シ返シ、更ニ爾カノノ方法處分ヲ取ルヘキ旨注意センコトヲ要ス、臨床醫師タラン者斯ク報告書ヲ差シ返サレタラン場合ニハ殊ニ注意ヲ密ニシテ適當ナル方法處分ヲ實行シテ復命センコトヲ要ス、此外衛生官ノ職責トシテ結核病ノ傳染豫防ニ關スル主意書ヲ結核患者看護ノ任ニ當ル各人、若クハ臨床醫師之レナキ場合ニハ患者其者へ交付センコトヲ要ス

詐偽的報告書ヲ處罰スル事

第十一條 或ル醫師ニシテ自カラ或ル人ヲ結核患者トラスト知リナカラ結核患者ト報告シ、若クハ或ル人ヲ結核患者トシテ報告スルノ際故意ニ其姓名、男女別、人種別、職業若クハ住所等ニ就テ詐偽ノ事ヲ記載シ若クハ病毒傳染豫防法ヲ施コシタルコトニ就テ詐偽ノ證明ヲ爲サンカ、共ニ是レ違法ニシテ處罰セラルヘキモノトス

登校禁止ノ事

第十二條 公立若クハ私立ノ學校ノ教師、學生若クハ幼童ニシテ肺結核ニ罹リタランモノハ登校ヲ禁止スルモノトス、但衛生官ヨリ交付サレタル登校許可證ヲ有スル者ハ此限ニアラス、本條ハ一千九百十年四月二十日ノ承認ニ係ル一千四百七十七號ノ條例ヲ以テ改正セラレタルモノ是レナリ

恢復ノ報告

第十三條 結核患者ノ本復シタラン場合ニハ臨床醫師ノ職責トシテ其旨衛生官ヘ報告センコトヲ要ス、而シテ此報告ニ接シタル衛生官ハ本局ノ記録中ニ之ヲ記載スヘク、斯クテ該患者ノ遵守スヘキ本條例ニ對スル義務ハ解除セラレ、モノトス

第十四條 何人ニ限ラス本條例ニ規定セラレタル條項ノ何レニカ違犯シテ其證憑充分ナランニハ、五百弗以內ノ罰金ニ處セラル、カ、六ヶ月以內ノ郡監獄ニ禁錮セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處分セラ

ル、コトアルヘシ

第十五條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セララル、モノトス

條例 三百六十九號

一千九百八年三月三日ノ承認ニ係ル

桑、港、市、及、郡、部、ノ、公、衆、衛、生、保、護、ニ、關、ス、ル、衛、生、規、定、及、鼠、族、ノ、媒、介、ニ、起、因、ス、ル、黑、死、病、ノ、傳、播、蔓、延、豫、防、ニ、係、ル、衛、生、規、定

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 本條例ハ名ケテ公衆衛生保護ニ關スル警察及衛生規定ト謂ツヘク、殊ニ鼠族ノ媒介ニ起因スル黒死病ノ傳播蔓延豫防ニ關スル規定ナリト知ルヘシ

第二條 桑港市及郡部ノ衛生官、若クハ斯ル衛生官ヨリ又ハ衛生局ヨリ任命サレタル視察官等ハ左記ノ如キ權能ヲ有スルモノトス、曰ク本條例ニ規定セラレタル條項カ果シテ能ク實行サレ居ルヤ否ナヲ視察セシカ爲メニ、桑港市及郡部ニ於テ或ル家屋、或ル屋敷若クハ此等ノ家屋ノ一部分ヘ入り込ミ得ヘキ權能ヲ有スルコト是レナリ、但某日ノ午前九時ヨリ午後五時マテノ間ニシテ、其居住者等ニ豫シメ巡視ノ目的ヲ述ヘテ入り込マンコトヲ要ス

第三條 當市及郡部ニ於ル人ノ居住所、貯藏所、倉庫、雞小屋、野小屋及厩舍等ハ其構造皆ナ是レ鼠族ノ

潜伏シ得サル様注意センコトヲ要ス、殊ニ其壁間及床下等ハ最モ注意シテ其侵入ヲ防止セサルヘカラス、此外鼠族ヲ惹キ付クヘキ食品其他ノ商品等ニハ注意ヲ密ニシテ鼠族ヲ近カシメサル手段ヲ取ランコトヲ要ス、且ツ此等ノ居所、倉庫、貯藏所ニハ衛生官ノ適當ト認メ特許ヲ與ヘタル捕鼠器ヲ備ヘ置キテ鼠族ヲ捕獲センコトヲ要ス、此捕鼠器ニ置クヘキ餌食ハ少ナクモ一週ニ二回新タニ取り替ヘサルヘカラス、斯クテ捕獲シタル鼠族ハ之ヲ殺シテ衛生局若クハ適當ナル役所ヘ渡サンコトヲ要ス、一旦鼠族ヲ捕ヘタル捕鼠器ハ薰蒸法ヲ施コシテ新タニ餌食ヲ備フヘシ

第四條 當市及郡部ニ於ル船渠及波戸場ハ公設ト私設トヲ問ハス其近傍ニ碇泊シタル船舶ヨリ鼠族ノ侵シ來ラサル様適當ノ方法ヲ取ラサルヘカラス、又タ斯ル船渠若クハ波戸場ニ貯ヘラレタル食品中ヘ鼠族ノ近カサル様豫防法ヲ講センコトヲ要ス、此外斯ル船渠若クハ波戸場ニハ衛生官ノ適當ト認メテ特許ヲ與ヘタル捕鼠器一個若クハヨリ以上ヲ備ヘ置カンコトヲ要ス、斯クテ此等ノ捕鼠器ノ餌食ハ少ナクモ一週ニ二回新タニ取り替ヘサルヘカラス、斯クテ捕獲シタル鼠族ハ之ヲ殺シテ衛生局若クハ適當ナル役所ヘ送付センコトヲ要ス、一旦鼠族ヲ捕ヘタル捕鼠器ハ薰蒸法ヲ施コシテ新タニ餌食ヲ備ヘンコトヲ要ス、

第五條 當市及郡部ニ於ル各種ノ屠畜場ハ鼠族ノ侵入セサル様適當ノ方法ヲ設ケサルヘカラス、又タ此等ノ屠畜場ニ於ル總テノ孔隙ハ「セメント」若クハ衛生局ノ適當ト認メタル材料ヲ以テ鼠族ノ通過セサル様杜塞センコトヲ要ス

此等ノ屠畜場ハ皆ナ少ナクモ二個若クハヨリ以上ノ捕鼠器ヲ備ヘ置カンコトヲ要ス、但衛生局カ適當ト認メテ特許ヲ與ヘタル捕鼠器タランコトヲ要ス、而シテ此等ノ捕鼠器ノ餌食ハ少ナクモ一週間ニ二回新タニ取り替ヘンコトヲ要ス、斯クテ屠畜場ノ持主、借主若クハ管理人タルモノハ捕鼠器ノ模様如何ヲ視察センコトヲ要ス、既ニシテ捕ヘタル鼠族ハ之ヲ殺シテ衛生局若クハ適當ナル役所ヘ送付センコトヲ要ス、又タ一旦鼠族ヲ捕ヘタル捕鼠器ハ薰蒸法ヲ施コシテ新タニ餌食ヲ備ヘンコトヲ要ス

第六條 當市及郡部ニ於ル總テノ建物、屋敷等ハ、其所有者若クハ現住者ノ手ニテ清潔ニシ衛生状態ヲ善クシ且ツ鼠族ヲ近カシメサランコトヲ要ス

第七條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、其家屋内若クハ其構内ニ衛生上危害トナルヘキモノヲ其儘ニ打チ棄テ置クヲ許サス、即チ其構内ニ塵芥、動植物調理餘ノ廢物、腐敗セル動植物、人類若クハ動物ノ排泄物等堆積スル儘打チ棄テ置クヲ許サス、當市及郡部ノ衛生官タル者ハ其職責トシテ斯ル人、會社若クハ團體ヘ對シテ衛生上危害トナルヘキ不潔物ヲ取り除クヘキコトヲ警告センコトヲ要ス、然ルニ此等ノ個人若クハ會社等カスル警告ヲ受ケタルニモ拘ラス、一日内ニ尙ホ不潔物ヲ其儘ニ爲シ置キテ取り除カストセンカ、斯ル場合ニ於テハ衛生官ハ他ニ命令ヲ下シテ此等ノ不潔物ヲ取り除カシメンコトヲ要ス、而シテ此等ノ不潔物ヲ取り除クヘキ義務ヲ有スル人、會社若クハ團體ハ、本條例ニ從ツテ處罰セラルヘキノミナラス、斯ル不潔物取除費用ヲ負擔セサルヘカラス

第八條 何人、何タル會社若クハ何タル團體ヲ問ハス、當市及郡部ニ於ル地上若クハ水中ニ或ル動物ノ死體、屠牛ノ切屑、魚類ノ切屑、其他動植物ノ廢物ヲ打チ棄テルコトヲ許サス

第九條 何人、何タル會社、何タル團體、若クハ此等ノ會社團體ノ所有者、借主、管理者タルヲ問ハス左記ノ如キ事ヲ爲スヲ許サス、曰ク動植物ノ廢物、動物ノ死體、屠畜類ノ切屑、魚類ノ切屑若クハ食後ノ殘物等ヲ濫リニ棄テ置クコトヲ許サス、即チ其家屋内、屋敷内、構内等へ此等ノ不潔物ヲ棄テ置クコト、若クハ接近シタル街路等へ投棄スルコトヲ許サス、但シ惡臭ノ外部ニ洩レサル様密閉シタル塵芥箱へ一時入レ置ク場合ハ此限ニアラス

第十條 種々ノ屑物、廢棄物其他肥料ノ類ハ桑港市及郡内ニ於ル家屋、屋敷内ノ何レノケ所ニモ貯ヘ置キ若ハ積ミ重ネテ其儘ニ爲シ置クコトヲ得ス、是レ他ナシ鼠族ノ餌食トナリ巢窟トナルヘキ恐アレハナリ

第十一條 本條例ニ規定セラレタル條項ノ何レニカ違犯シタル者ハ、何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、共ニ是レヲ違法者ト思惟セラレ其證憑充分ナランニハ、五百弗以内ノ罰金ニ處セラル、カ、六ヶ月以内ノ禁錮ニ處セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處分セラル、コトアルヘシ、且ツ本條例ノ規定ノ何レニカ毎日違犯シタル者アランカ、毎日別々ノ犯罪者トシテ處分セラルヘキモノトス

第十二條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セラル、モノトス  
條例 三千百四十一號

一千九百十五年三月十一日ノ發布ニ係ル

桑港市及郡部ノ衛生局ハ或ル傳染病患者ヲ他ニ移轉セシムヘキ權能ヲ有ス

痘瘡、虎列拉、「ベスト」、室布斯熱、實布埜利亞及猩紅熱等ニ罹リタル者ハ公衆衛生及一般ノ安寧ヲ保護シ、此等ノ病毒蔓延豫防ノ爲メ、此等ノ患者ヲ他ニ移シ離隔セシメサルヘカラス

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 桑港市及郡部ノ衛生局ハ傳染病患者ノ發生シタル場合ニ於テ、公衆衛生ヲ保護シ一般ノ安寧ヲ保チ、病毒蔓延豫防ノ爲メ左記ノ如キ處置ヲ取ルヘキ權能ヲ有スルモノトス、曰ク瘡痘、虎列拉、黃熱、「ベスト」、室布斯熱、實布埜利亞及猩紅熱ノ内何レニ罹リタル者アリ、而シテ斯ル患者が桑港市及郡部ニ於ル或ル旅館、下宿屋、寄宿所、借家等ニ居ル者ナランカ、斯ル患者ハ桑港市及郡部ニ於テ衛生局ノ指定セル病院ニ入ラシメンコトヲ要ス、衛生局ハ斯ル處分ヲ爲スヘキ權能ヲ有スルモノトス

第二條 本條例ニ規定セラレタル條項ト接觸スル條例若クハ條例中ノ或ル條項ハ皆ナ是レ自然消滅ニ歸スヘキモノトス

第三條 本條例ハ議定發布ノ即日ヨリ實行セラル、モノトス

命令 一千七百三十八號

一千八百八十三年九月廿六日ノ承認ニ係ル



三二  
桑、港、灣、内、ニ、碇、泊、セ、ル、船、中、ノ、癩、患、者、若、ク、ハ、象、皮、病、者、ハ、上、陸、セ、シ、ム、ル、コ、ト、ヲ、許、サ、ス、而、シ、テ、癩、患、者、收、容、所、へ、移、轉、セ、シ、メ、ン、コ、ト、ヲ、要、ス、

癩、若、ク、ハ、象、皮、病、ハ、或、ル、狀、況、ニ、テ、傳、染、ス、ヘ、キ、モ、ノ、ナ、ル、カ、故、ニ、公、衆、一、般、ノ、安、寧、幸、福、ヲ、計、ラ、ン、カ、爲、メ、ニ、斯、ル、疾、病、ニ、罹、レ、ル、モ、ノ、ハ、桑、港、市、及、郡、部、へ、上、陸、セ、シ、メ、サ、ル、方、法、手、段、ヲ、取、ラ、ン、コ、ト、ヲ、要、ス、

且、ツ、斯、ル、疾、病、ノ、結、果、恐、ル、ヘ、キ、點、ヨ、リ、之、ヲ、見、ル、モ、衛、生、局、タ、ラ、ン、モ、ノ、ハ、之、カ、豫、防、法、ヲ、講、セ、サ、ル、ヘ、カ、ラ、ス、即、チ、斯、ル、疾、病、ニ、罹、レ、ル、者、ヲ、外、國、ノ、海、港、ヨ、リ、搭、載、シ、テ、來、着、ス、ル、ニ、就、テ、其、上、陸、ス、ル、コ、ト、ヲ、禁、止、セ、ル、カ、如、キ、ハ、當、然、ノ、處、置、ト、謂、フ、ヘ、キ、ナ、リ、故、ニ、

桑、港、市、及、郡、部、ノ、人、民、ハ、左、ノ、如、キ、規、程、ヲ、制、定、セ、リ、

癩、若、ク、ハ、象、皮、病、ニ、罹、レ、ル、者、ハ、或、ル、船、中、ヨ、リ、上、陸、ス、ル、コ、ト、ヲ、得、ス、

第一條 苟、ク、モ、一、見、以、テ、癩、若、ク、ハ、象、皮、病、ニ、罹、リ、居、レ、リ、ト、知、ラ、ル、ヘ、キ、者、ハ、何、タ、ル、口、實、ア、リ、ト、雖、モ、或、ル、船、中、ヨ、リ、桑、港、市、及、郡、部、ノ、區、域、内、若、ク、ハ、海、港、ニ、上、陸、ス、ル、コ、ト、ヲ、許、サ、ス、

來、着、セ、ル、船、中、ノ、長、若、ク、ハ、役、員、持、主、貨、物、受、託、人、若、ク、ハ、管、理、タ、ラ、ン、モ、ノ、ハ、其、船、中、ヨ、リ、癩、患、者、等、ヲ、上、陸、セ、シ、ム、ル、事、ヲ、得、ス、

第二條 桑、港、へ、來、着、セ、ル、船、中、ノ、長、若、ク、ハ、役、員、持、主、貨、物、受、託、人、管、理、者、若、ク、ハ、斯、ル、船、中、ニ、對、シ、テ、責、任、ヲ、有、ス、ル、モ、ノ、ハ、一、見、以、テ、癩、患、者、若、ク、ハ、象、皮、病、患、者、ト、知、ラ、ル、ヘ、キ、モ、ノ、ヲ、該、船、中、ヨ、リ、上、陸、セ、シ、ム、ル、コ、ト、ヲ、得、ス、

來、着、セ、ル、船、中、ニ、癩、患、者、等、ア、ル、場、合、ニ、ハ、其、船、中、ノ、支、配、權、ヲ、有、ス、ル、長、若、ク、ハ、其、他、ノ、者、ハ、來、着、後、二、十、四、時、間、内、ニ、其、旨、海、港、檢、疫、官、ノ、許、へ、届、出、テ、ン、コ、ト、ヲ、要、ス、

第三條 桑、港、へ、來、着、セ、ル、船、中、ノ、長、及、役、員、或、ハ、同、港、へ、碇、泊、セ、ル、船、中、ノ、持、主、若、ク、ハ、貨、物、受、託、人、ハ、其、船、中、ニ、癩、患、者、若、ク、ハ、象、皮、病、患、者、ア、ラ、ン、ニ、ハ、來、着、後、二、十、四、時、間、内、ニ、海、港、檢、疫、官、ニ、其、旨、届、出、テ、ン、コ、ト、ヲ、要、ス、但、其、届、書、ニ、ハ、患、者、ノ、姓、名、出、生、場、所、最、近、ノ、住、所、年、齡、及、職、業、等、ヲ、記、入、ス、ヘ、キ、モ、ノ、ト、ス、

何、人、モ、癩、患、者、等、ノ、上、陸、ヲ、幫、助、ス、ル、コ、ト、ヲ、得、ス、

第四條 何、人、モ、直、接、ト、間、接、ト、ヲ、問、ハ、ス、癩、患、者、若、ク、ハ、象、皮、病、患、者、ヲ、當、港、ニ、碇、泊、セ、ル、或、ル、船、中、ヨ、リ、他、へ、移、ス、ヘ、キ、幫、助、ヲ、爲、ス、コ、ト、ヲ、得、ス、又、同、シ、ク、或、ル、船、中、ヨ、リ、同、港、ニ、碇、泊、セ、ル、他、ノ、船、中、へ、移、ス、ヘ、キ、幫、助、ヲ、モ、爲、ス、コ、ト、ヲ、得、ス、

來、着、セ、ル、船、中、ノ、長、若、ク、ハ、役、員、ニ、シ、テ、癩、患、者、タ、ル、コ、ト、ヲ、知、リ、ツ、乘、リ、込、マ、シ、メ、タ、ラ、ン、ニ、ハ、犯、罪、ノ、行、爲、ナ、リ、ト、ス、

第五條 桑、港、へ、來、着、セ、ル、或、ル、船、中、ノ、長、若、ク、ハ、役、員、ニ、シ、テ、桑、港、ヲ、目、的、ト、シ、テ、出、帆、セ、ン、ト、ス、ル、港、ニ、於、テ、癩、患、者、若、ク、ハ、象、皮、病、患、者、タ、ル、コ、ト、ヲ、知、リ、ツ、乘、リ、込、マ、シ、メ、タ、リ、ト、セ、ン、カ、是、レ、違、法、ノ、行、爲、ニ、シ、テ、其、證、憑、充、分、ナ、ラ、ン、ニ、ハ、後、段、ニ、規、定、ス、ヘ、キ、規、定、ニ、從、ツ、テ、處、罰、セ、ラ、ル、ヘ、キ、モ、ノ、ト、ス、

何、人、モ、癩、患、者、ヲ、保、留、ス、ル、コ、ト、ヲ、得、ス、

第六條 何人モ桑港及郡部ニ於ル或ル家屋、借家若クハ其他ノヶ所へ癩患者若クハ象皮病患者ヲ保留シ若クハ保留セシムヘキ幫助ヲ與フルコトヲ得ス

罰則

第七條 何人ニテモ本命令ノ規定セル條項ノ何レニカ違犯シタランニハ、有罪ト思惟セラルヘキ行爲ニシテ其證憑充分ナランカ、五百弗以内ノ罰金ニ處セラル、カ、六ヶ月以内ノ期間郡監獄ニ禁錮セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處分セラル、コトアルヘシ、本條ハ一千八百九十九年十二月八日ノ承認ニ係ル二百四十八號ノ命令ニ依リテ改正セラレタルモノ是レナリ

條例 八百二十三號

一千九百三年六月十一日ノ承認ニ係ル

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

病院ノ設立及維持ニ關スル規定

第一條 何人、何タル團體、何タル協會ヲ問ハス、衛生監督局ノ許可ヲ得スシテ或ル病院ヲ設立シ若クハ維持セントスル者ハ皆ナ是レ違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス

第二條 何人、何タル團體、何タル協會ヲ問ハス、本條例ニ規定セラレタル條項ノ何レニカ違犯シテ其證憑充分ナランニハ、五百弗以内ノ罰金ニ處セラル、カ、六ヶ月以内ノ期間郡監獄ニ禁錮セラレ、若クハ

罰金ト禁錮トヲ併セテ處分セラル、コトアルヘシ

第三條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セラル、モノトス

條例 一千四十五號

一千九百三年十一月五日ノ承認ニ係ル

産科病院及産科救護所ノ設立、維持及監督ニ關スル規定

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 何人ニ限ラス衛生局ヨリ先ツ許可證ヲ得スシテ妊娠及分娩前後ノ婦人ヲ收容スヘキ産科病院若クハ産科救護所ヲ設立シ、之ヲ維持シ、其業ヲ營ミ或ハ本條例ニ規定セラレタル條項ヲ遵守スルヲ爲サス、若クハ之ニ違犯シタランニハ、違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス

第二條 衛生局ハ右ノ如キ病院設立者ニ對シテ許可證ヲ交付スヘキ權能ヲ有ス、而シテ其許可證ニハ設立者ノ姓名住所及其病院ノ所在地、收容スヘキ産婦ノ定員等ヲ記載センコトヲ要ス、然ルニ此等ノ病院ニシテ本條例ノ規定スル所ニ違犯スルカ、入院者ノ健康、怡樂、德義等ニ關シテ毫モ顧慮スル所ナク或ハ適當ナル衛生状態ニ注意スル所ナク其業ヲ營ミタランカ、斯ル場合ニ於テハ其許可證ヲ取り上ケンコトヲ要ス

第三條 右ノ如キ許可證ヲ交付サレタラン者ハ其收容セル婦人ノ姓名住所ヲ登記所ニ届ケ出テ、且ツ此等

ノ病院内ニテ出生シタル嬰兒ヲモ併セテ登記セシムヘク、又其出生嬰兒ヲ引取リタル者アラシニハ、嬰兒ノ姓名、出生年月日ニ併セテ其引取人ノ姓名住所ヲモ登記セシムコトヲ要ス、但嬰兒引取人ニ關スル登記手續ヲ爲スハ之ヲ引取人ヘ渡シタル時ヨリ四十八時間以内ナランコトヲ要ス、又斯ル登記ノ謄本ヲ衛生局ヘ送付センコトヲ要ス

第四條 衛生局ノ役員及其代表者タラン者ハ適當ナル時期ヲ見計ヒテ、婦人ヲ收容セル産科病院ニ臨ミ彼ノ許可證及登記簿等ヲ調査シ、且ツ收容サレタル婦人ノ状態ヲモ視察センコトヲ要ス

第五條 何人ニ限ラス本條例ニ規定サレタル條項ノ何レニカ違犯シ其證憑充分ナランニハ、二百五十弗以内ノ罰金ニ處セラル、カ三ヶ月以内ノ期間郡監獄ニ禁錮セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處分セラレ、コトアルヘシ

第五條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セラル、モノトス  
條 例 千四十六號

一千九百三年十一月五日ノ承認ニ係ル

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

幼童保管所ノ設立、維持及監督ニ關スル規定

第一條 何人ニ限ラス自分ノ親戚ニアラス徒弟ニモアラサル十二歳未満ノ幼童ヲ收容シテ、保管スヘキ家

屋若クハ場所ヲ設立シ維持シ其業ヲ行ハント欲スル場合ニハ、必ス先ツ衛生局ヨリ許可證ヲ受ケサルヘカラス、然ルニ斯ル許可證ヲ受ケスシテ斯ル家屋ヲ設立シ、維持シ其業ヲ行ハントシ、若クハ本條例ノ規定ヲ遵守セサルカ許可證ニ記載ノ事項ニ違犯シタランニハ、犯罪者トシテ處罰セラル、モノトス

第二條 衛生局ハ右ノ如キ幼童保管所設立者ニ對シテ許可證ヲ交付スヘキ權能ヲ有ス、而シテ此許可證ニハ其保管所設立者ノ姓名住所、其保管所ノ所在地及收容幼童ノ定員等ヲ記載センコトヲ要ス、然ルニ斯ル保管所ノ行動ニシテ本條例ノ規定スル所ニ違犯スルカ、收容幼童ノ健康、怡樂、德義等ニ關シテ毫モ顧慮スル所ナク、或ハ適當ナル衛生状態ニ注意スル所ナクシテ其業ヲ營ミタランカ、斯ル場合ニ於テハ其許可證ヲ取上ケンコトヲ要ス

第三條 右ノ如キ許可證ヲ受ケタル者ハ何人ニ限ラス、登記簿ナルモノヲ調製シテ收容幼童ノ姓名、年齢、其父兄ノ姓名、住所(知ラレ得ル限り)、收容幼童ノ入退年月日及其理由、或ハ收容幼童ヲ養子養女トシテ引取ラント欲スルモノアランニハ、其幼童ノ年齢、姓名及引取人ノ姓名住所等ヲ記入センコトヲ要ス、且ツ斯ク幼童ノ引取人アリタル場合ニハ四十八時間以内ニ其登記ノ謄本ヲ衛生局ヘ送付センコトヲ要ス

第四條 衛生局ノ役員及其代表者タランモノハ適當ナル時期ヲ見計ヒテ、幼童保管所ニ臨ミ彼ノ許可證及登記簿等ヲ調査シ、且ツ保管サレタル幼童ノ状態ヲ視察センコトヲ要ス

第五條 何人ニ限ラス本條例ニ規定サレタル條項ノ何レニカ違犯シ其證憑充分ナランニハ、二百五十弗以

内ノ罰金ニ處セラル、カ、三ヶ月以内ノ期間郡監獄ニ禁錮セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處分セラル、コトアルヘシ

第六條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セラル、モノトス  
條 例 八百二十四號

一千九百三年六月十一日ノ承認ニ係ル  
醫學校ノ設立及維持ニ關スル規定

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 何人、何タル團體、何タル協會ヲ問ハス、衛生局ノ許可ヲ受ケスシテ醫學校若クハ人體解剖ヲ爲スヘキ場所ヲ設立シ若クハ維持セント欲スルモノハ、違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス

第二條 何人、何タル團體、何タル協會ヲ問ハス、本條ニ規定セラレタル條項ノ何レニカ違犯シテ其證憑ノ充分ナランニハ、五百弗以内ノ罰金ニ處セラル、カ、六ヶ月以内ノ期間郡監獄ニ禁錮セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處分セラル、コトアルヘシ

第三條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セラル、モノトス  
條 例 九百五十八號

一千九百九年十二月三日ノ承認ニ係ル

犬病院、犬小屋及其他ノ動物病院ニ關スル規定

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 何人、何タル會社、何タル團體、何タル協會ヲ問ハス、先ツ衛生監督局ノ許可ヲ受ケスシテ犬病院、犬小屋若クハ其他ノ動物病院ヲ設立シ、維持セントスルモノハ、違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス

第二條 何人、何タル團體、何タル協會ヲ問ハス本條例ニ規程セラレタル條項ノ何レニカ違犯シテ其證憑充分ナランニハ、五百弗以内ノ罰金ニ處セラル、カ、六ヶ月以内ノ期間郡監獄ニ禁錮セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處分セラル、コトアルヘシ

第三條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セラル、モノトス  
條 例 五百一號

一千九百八年七月十四日ノ承認ニ係ル

建築物ノ全部若クハ其一部分ヲ不衛生的ナリト告示シ及其取毀ニ關スル規定  
桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 衛生局ハ或ル建築物ノ全部若クハ其一部分不衛生的ナリト告示シ及本條例ニ規定セル方法ニ從テ此等ノ建築物ヲ取り毀タシムヘキ權能ヲ有ス

第二條 當市及郡部ノ衛生官ヨリ或ル建物若クハ其一部分カ不衛生的ナル旨衛生局ヘ訴ヘ出テタリトセンカ、斯ル場合ニ於テハ衛生局ハ正式ノ議決ヲ經テ場所ト時日トヲ定メテ此告訴ニ關シテ審問ヲ爲スヘキ命令ヲ發センコトヲ要ス、且ツ此告訴狀ニハ不衛生的狀態ノ證據ヲ充分ニ記載センコトヲ要ス

第三條 衛生局カ右告訴ニ關シテ審問廷ヲ開カントスルニ就テハ、關係建物ノ所有者、管理者、借主若クハ現住者ニ對シテ時日ト場所トヲ通知シテ出廷ヲ促カサンコトヲ要ス、而シテ開廷時日ハ斯ク召喚狀ヲ發シテヨリ四十八時間以内ナランコトヲ要ス、且ツ關係人召喚狀ニハ斯ル告訴ニ對シテ反證アラハ陳述スヘキ旨ヲ記載センコトヲ要ス

第四條 衛生局ハ事實ノ審問ヲ遂ケタル後果シテ本條例ノ所謂不衛生的ナルヤ否ヲ確定シ正式ノ議決ヲ以テ判決ヲ下サンコトヲ要ス

第五條 衛生局ハ告訴ニ係ル事件ヲ審問シタル結果、告訴サレタル建物ノ全部若クハ一部分カ實際不衛生的ナルコトヲ見出シタリトセンカ、斯ル場合ニ於テハ現住者ニ向ツテ立退ヲ命スヘク、而シテ斯ル建物若クハ其一部分ヘ衛生局カ不衛生的ナリト判決シタル旨揭示センコトヲ要ス、又タ斯ク判決シタル事ハ其持主、管理者若クハ借主等ニ通告センコトヲ要ス、而シテ右現住者タラン者ハ其立退命令ヲ受ケテヨリ四十八時間内ニ立退カサルヘカラス

第六條 斯クテ衛生局ハ立退命令ヲ發シタル事ヲ書面ニテ警察長官ニ通告スヘク、警察長官ハ立退命令實

行ノ任ニ當ランコトヲ要ス

第七條 右ノ如ク立退命令ヲ受ケタル建物ノ持主、借主若クハ現住者ニシテ自カラカ若クハ人ヲシテ立退命令ニ抵抗シ若クハ之ヲ妨害シテ實行セシメサラン、是レ違法行爲ニシテ其證據充分ナランニハ、二十五弗以上二百五十弗以内ノ罰金ニ處セラル、カ、十日以上三ヶ月以内ノ期間郡監獄ニ禁錮セラレ若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處分セラル、コトアルヘシ

第八條 立退命令ヲ受ケタル建物ノ持主、管理人、借主若クハ現住者ニシテ其建物若クハ其一部分ニ就テ模様替ヲナシ若クハ修繕ヲ加ヘテ衛生局ノ嘉シト云フ程度マデニ衛生上ニ適セシムヘシトノ書面ヲ四十八時間内ニ差出サストセンカ、斯ル場合ニ於テハ衛生局ハ此建物ヲ取り毀タシメンコトヲ要ス、然レトモ四十八時間内ニ右ノ如キ書面ヲ差出シタランニハ衛生局ハ其模様替若クハ修繕ノ爲メ更ニ若干ノ猶豫期間ヲ與ヘンコトヲ要ス、然ルニ此猶豫期間内ニ其建物ノ模様替若クハ修繕ヲ加ヘサル場合アラシカスル場合ニ於テハ衛生局ハ其建物ヲ取毀タシメンコトヲ要ス

第九條 一旦立退ヲ命セラレタル建物ハ衛生局ノ許可證ヲ得ルニアラスンハ、何人ト雖モ再ヒ之ニ占居スルコトヲ得ス、但斯ル許可證ハ衛生局ヨリ模様替若クハ修繕ノ爲メ與ヘラレタル猶豫期間内ニ交付セサルヘカラス

第十條 衛生管理局カ本條例實行上必要ナリト思惟スル費用ハ衛生局ニ上申シテ之カ支出ヲ爲サシメンコ

トヲ要ス蓋シ此等ノ費用ハ彼ノ不衛生ナル建物取毀シ等ニ用フルモノナルカ故ニ其持主等ヲ相手取りテ損害賠償ノ訴訟ヲ提起スルコトヲ得ヘキナリ

第十一條 本條例ハ制定ノ即日ヨリ實行セラルヘキモノトス

第十二條 何人、何タル會社、何タル團體若クハ斯ル會社等ノ管理人タルヲ問ハス、本條例ニ規定セラレタル條項ノ何レニカ違犯シ、若クハ本條例ト關聯シテ衛生局ヨリ發セラレタル指揮命令ニ從ハサル等ノ證憑充分ナランニハ、二十五弗以上二百五十弗以内ノ罰金ニ處セラル、カ、十日以上三ヶ月以内ノ郡監獄ニ禁錮セラル、カ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處分セラル、コトアルヘシ

本條例ノ規定スル所ニ違犯スルカ、本條例ト關聯シテ衛生局ヨリ發シタル指揮ニ從ハサル等ノ證憑充分ナランニハ、好シ其違犯事件毎日ニ互ルモ其都度々々新ナル違犯事件トシテ處罰セラルヘキモノトス

條例 百九十八號

一千九百年十二月十二日ノ承認ニ係ル

傳染病ニ罹リタル動物處分ニ關スル規定

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 或ル傳染病ニ感染シタル動物ハ其種類ノ何タルヲ問ハス、桑港市及郡部ノ區域内ニ送致シ若クハ保留スルコトヲ得ス、但同市及郡部衛生局ヨリ許可セラレタル場合ハ此限ニアラス

第二條 何人ニ限ラス苟クモ動物ノ傳染病ニ罹レルヲ知リタル場合及動物ノ擬似傳染病ニ罹レルカ、若クハ動物ノ傳染病ニ侵サレタル徵候アルヲ知リタランニハ、速カニ其義務トシテ右衛生局ヘ報告センコトヲ要ス

第三條 斯クテ衛生局ハ或ル動物ヲ傳染病ニ罹リタルモノト認識シタランニハ、其動物所在ノ箇所ニ對シテ檢疫規則ヲ實行スヘキ命令ヲ發センコトヲ要ス、但此檢疫規則ハ斯ル傳染病ノ動物間ニ蔓延スルヲ豫防スルニ止マリテ、人類ノ斯ル箇所ヲ出入スルニハ更ニ妨ケナキモノトス、然レトモ其病毒カ人類ニ感染スヘキ危険アル場合ハ此限ニアラス

第四條 傳染病ニ罹リタル動物ノ持主若クハ管理人ニ對シテ衛生局ヨリ問合セアリタラン場合ニハ、其持主等ハ斯ル動物ニ就テハ適當ナル手當ヲナシ居レリトカ、獸醫ノ治療ヲ受ケ居レリ等有ノ儘ニ答ヘサルヘカラス

第五條 動物間ニ發生シタル傳染病カ衛生局若クハ衛生局獸醫ノ鑑定ニテ到底治癒スヘキ見込之レナシトセンカ、斯ル場合ニ於テハ衛生局ハ斯ル罹病動物ヲ撲殺スヘキ命令ヲ發スヘキ權能ヲ有シ、且ツ其死體ハ最モ適當ナリト思惟セラル、方法ニ從ツテ處分センコトヲ要ス、然レトモ斯ル命令ヲ發シタル時斯ル動物ノ持主若クハ管理人カ相當ナル獸醫ヲシテ其動物ヲ治療セシメ居リテ、其獸醫ノ意見ニテハ治癒スヘキ見込アリトテ衛生局ノ意見ト一致セサル場合之レアリトセンカ、斯ル場合ニ於テハ衛生局ハ斯ル動

物ノ持主ニ對シテ猶豫期間ヲ與ヘンコトヲ要ス、但其猶豫期間ハ三十日間ヲ踰ユルヲ許サス、又傳染病ニ罹リテ死シタル動物ノ死體若クハ撲殺サレタル動物ノ死體ハ、或ル人ノ居所ヨリ五百呎以内ノ箇所ヘ埋メルコトヲ許サス

第六條 何人ニ限ラス本條例ニ規定サレタル條項ノ何レニカ違犯シテ其證憑ノ充分ナランニハ、五百弗以内ノ罰金ニ處セラル、カ、六ヶ月以内ノ期間禁錮セラレ、若クハ罰金ト禁錮ト併セテ處セラル、コトアルヘシ

第七條 本條例ハ制定ノ即日ヨリ實行セラル、モノトス  
命令 千八百八十號

一千八百八十六年十月廿二日ノ承認ニ係ル  
獸醫及其他ノ者ノ監督ニ係ル馬、匹、中馬、鼻疽及皮疽若クハ其他ノ傳染病ニ罹リタルモノアラン場合ニハ、其旨衛生局ヘ報告センコトヲ要ス

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ  
衛生局ヘ馬、鼻疽ノ報告ヲ爲スヘキ事

第一條 桑港市及郡部内ニ於ル獸醫及獸醫ノ業ヲ營メル者、動物ノ持主若クハ動物ノ保管者タル者カ其動物ノ馬、鼻疽皮疽、若クハ其他ノ傳染病ニ罹リタルコトヲ知リタラン場合ニハ、其旨書面ヲ以テ衛生局ヘ

報告セサルヘカラス、而シテ其報告ハ二日以内ニ爲スヘク、又其持主ノ姓名、住所、動物ノ種類、其病ニ罹リタル箇所等ヲ記載シテ調印センコトヲ要ス

罰則

第二條 本命令ニ規定サレタル條項ノ何レニカ違犯シテ其證憑充分ナランニハ二十弗以上五百弗以内ノ罰金ニ處セラル、カ、若クハ二十日以上六ヶ月以内ノ期間郡監獄ニ禁錮セラル、モノトス

條例 六百六十號

一千九百九年一月廿一日ノ承認ニ係ル

牛乳、製乳所、乳牛ノ検査、桑港市及郡部ニ於ケル牛乳販賣ニ關スル規定、不良ナル、純粹ナラサル、若クハ他物ト混和セル牛乳ヲ販賣スルコトヲ禁止シ及之ヲ處罰スル規定

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

衛生局ハ製乳所及乳牛等ヲ検査スヘキ規定ヲ設クルノ權能ヲ有ス

第一條 桑港市及郡部ノ衛生局ハ左記ノ如キ權能ヲ有スルモノトス、曰ク同市及郡部ニ於ル牛乳營業ヲ取締ルヘキ規定ヲ設ケ、同市及郡部ニ於ル牛乳検査ヲ行フヘキ規定ヲ設ケ、同市及郡部ヘ輸入スル目的ヲ以テ營業トセル製乳所、製乳地若クハ乳牛ノ検査ヲ行フヘキ規定ヲ設クル權能ヲ有スルコト是レナリ

第二條 本條例ノ所謂製乳所トハ左記ノ如キモノヲ言フ、曰ク或ル場所若クハ店舗ノ全部或ハ一部分ヲ牛

乳ノ販賣所若クハ分配所ニ充テタルモノ是レナリ

四六

第三條 何人ニ限ラス桑港市及郡部ノ區域内ニ於テ製乳所ヲ設ケ製乳業ヲ營マント欲スル時ハ、必ラス先ツ衛生局ヨリ之カ許可ヲ受ケサルヘカラス、否ラスンハ違法者トシテ處分セラルヘキモノトス

第四條 本條例ノ所謂製乳地トハ販賣若クハ分配ノ目的ヲ以テ牛乳ヲ製出スル所ノ或ル場所若クハ屋敷是レナリ

第五條 何人ニ限ラス桑港市及郡部ニ於テ製乳地ヲ設ケテ製乳業ヲ營マント欲スル時ハ、必ラス先衛生局ヨリ之カ許可ヲ受ケサルヘカラス、否ラスンハ違法者トシテ處分セラルヘキモノトス

牛乳販賣人ハ許可ヲ受ケンコトヲ要ス

第六條 本條例發布後ハ何人ニ限ラス桑港市及郡部ノ衛生局ヨリ然カ爲スヲ得ヘキ許可ヲ受クルニアラスンハ、自分、手代、召使若クハ雇人ヲシテ左ノ如キ事ヲ爲シ若クハ爲サシムルコトヲ得ス、曰ク桑港市及郡部内ニ於テ或ル牛乳ヲ販賣シ、交付シ若クハ他ノ用ニ供セシムルコトヲ得ス、廣ク牛乳ヲ販賣セントスル場所ハ其一ヶ所毎ニ必ラス一ノ許可ヲ受ケサルヘカラス

衛生局ヘ許可願ヲ提出センニハ同局調製ノ用紙ニ依ランコトヲ要ス

第七條 衛生局ヨリ右ノ如キ許可ヲ得ント欲スル時ハ適當ノ許可願書ヲ差出サ、ルヘカラス、而シテ其願書ニハ左記ノ如キ事項ヲ記載セサルヘカラス、曰ク出願人ノ姓名、住所、牛乳ノ供給ヲ仰クヘキ箇所

有セル乳牛ノ頭數、製出スヘキ牛乳ノ平均高、取扱フヘキ平均高、其他衛生局ヨリ要求セラル、事項ヲ記載センコトヲ要ス、而シテ此願書ノ用紙ハ特ニ衛生局ニ於テ印刷ニ付シタルモノニシテ必要ナル文字丈ケヲ書入ル、様ニナリ居レルモノト知ルヘシ

衛生局カ許可願書ノ記載事項ニシテ更ニ不都合ナル點ナシト見据ヘタラン場合ニハ、其職責トシテ手數料ナクシテ許可證ヲ發スヘク、而シテ其願書ノ記載事項ハ皆登記シ置カン事ヲ要ス

第八條 衛生局ハ右ノ如キ許可出願書ニ接シ從ツテ實地ニ就テ視察調査ヲ遂ケタル結果、皆ナ是レ願書面ノ記載事項ト毫モ相違スル所ナク、出願人ノ意志ニ於テ更ニ不都合ナル點ナク、即チ桑港市及郡部内ニ於テ人類ノ食餌トシテ不良ナル牛乳ヲ販賣シ、販賣スヘク或ル箇所ニ並ヘ置キ、貿易シ、交付シ若クハ分配スルノ意志ナキ事ヲ確カメ、又タ之ヲ製出シ、運搬シ、貯藏シ若クハ之ヲ取扱フ上ニ於テ不衛生ノ事毫モ之レナキ事ヲ確カメ得タリトセンカ、斯ル場合ニ於テハ出願人ノ業務取扱上如何ニ從ツテ適當ノ許可證ヲ交付センコトヲ要ス

第九條 此許可證ナルモノハ賣却シ若クハ他ニ讓與スルコトヲ得ス、衛生局ノ意見ニテ不都合ナル事アリトノ見込付キタランニハ、何時ニテモ此許可證ヲ取上ケルコトヲ得ヘキナリ、然レトモ決シテ濫リニ取上ケヘキモノニアラス、苟クモ之ヲ取上ケント欲スル場合ニハ充分適當ノ手續ヲ踐マサルヘカラス、之ヲ取リ上ケンニハ其不都合ナル事ニ就テ審問スル所ナカルヘカラス、尙此審問結了後ト雖モ五日間ノ猶

四七



豫ヲ與ヘンコトヲ要ス、但シ斯ク審問廷ヲ開クニ就テハ其審問ヲ開クノ理由ト日時場所等ヲ許可證所有者ニ通告センコトヲ要ス、是レ加里保留尼亞州ノ民法第一千十一條ノ規定ニ從ヘルモノナリ、然レトモ許可證所有者ニシテ或ル裁判所ニ於テ審問ヲ受ケタルノ結果、牛乳ノ製出、運搬、貯藏、販賣若クハ分配ニ就テ本條例ノ規定若クハ關係法律ニ違犯シタル證憑充分ナランカ、斯ル場合ニ於テハ報告スルヲ要セス直チニ許可證ヲ取上ケヘキモノトス

許可證所有者ハ其記載事項ヲ衛生局ヘ申述センコトヲ要ス

第十條 苟クモ或ル許可證ヲ有スルモノハ何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、衛生局ノ要求ニ應シテ少ナクモ毎年一回若クハヨリ以上其姓名及許可證ノ番號ヲ衛生局ヘ届出テンコトヲ要ス、且ツ此際斯ル許可證所有者ニ對シテ衛生局ヨリ尋問セラレタランニハ一々適當ノ答辯ヲ爲サルヘカラス、而シテ斯ル答辯ノ要領ハ衛生局ノ簿冊中ニ記入シ置カン事ヲ要ス

第十一條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス一旦衛生局ヨリ許可證ヲ取上ケラレタランニハ、再ヒ交付セラレサルモノトス、但シ五百弗ノ再渡料ヲ納メ二名ノ保證人ヲ立テ以後牛乳ノ製出、輸入、販賣、分配等ニ關スル衛生局ヨリ發セラレタル法律規則等ハ堅ク相守ルヘキ契約書ヲ差出シタル場合ハ此限ニアラス

第十二條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、本條例ノ規定スル所ニ從ツテ正當ニ許可證ヲ得タルモノニアラサルカ、若クハ一旦許可證ヲ受ケタルモ不都合ノ所爲アリテ取上ケラレタランモノハ、製乳所、製乳地ヨリ或ル牛乳ヲ桑港市及郡部内ニ送付シ、持チ來リ、販賣シ、販賣スヘク或ル箇所ニ置キ、交付シ若クハ分配スル等皆ナ之ヲ爲スコトヲ得ス

第十三條 何人ニ限ラス桑港市及郡部内ニ於テ牛乳業ヲ營メルモノハ、衛生局ノ掛員ヨリ其輸入シ、販賣シ若クハ分配セル牛乳ハ何レヨリ得タルカト問ハレタランニハ、何時ニテモ何レノ所ニテモ誓詞ヲ述ヘタル上誠實ニ答辯セサルヘカラス

牛乳ノ證明

第十四條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、牛乳取締規則ニ該當セス又適當ノ證明ナキ牛乳ハ之ヲ販賣シ、貿易シ、若クハ販賣貿易スヘク言ヒ出シ、之ヲ然カスヘク或ル箇所ニ置クコトヲ得ス、而シテ所謂適當ナル證明トハ牛乳取締委員會ノ證明スル所是レナリ、此委員會ト云ヘル桑港郡醫師會ヨリ任命シ加里保留尼亞州醫師會ノ監督ノ下ニ組織セラレタルモノナリ、斯クテ證明セラレタル牛乳トシテ販賣センニハ其證明ヲ爲シタル委員會ノ徽號ヲ付セサルヘカラス

『検査濟牛乳』ノ事

第十四條中

(イ) 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、桑港市及郡衛生局ヨリ發表シタル規則ニ該當セサル

或ル牛乳ヲ『検査済牛乳』トシテ販賣シ若クハ取引キスルコトヲ得ス、所謂ル検査済牛乳トハ『桑港衛生局之検査済』ノ徽號ヲ有スルモノ是レナリ

(ロ) 何人、何タル會社、何タル團體、管理人、雇人タルヲ問ハス、桑港市及郡部内ニ於テ検査済牛乳ヲ製出シ、他ヨリ此等ノ區域内ニ持ち來リ若クハ販賣セント欲スル時ハ、特ニ之ニ關スル許可證下付願ヲ桑港市及郡衛生局ヘ提出セサルヘカラス、而シテ此出願人ニシテ牧場、乳牛團及其他ノ諸設備ニ併セテ、衛生局ヨリ要求サレタル事項ニ至ルマテ全ク不都合ナル點之レナシトセンカ、斯ル場合ニ於テハ右出願人ニ許可證ヲ交付センコトヲ要ス、然レトモ衛生局ハ一旦交付シタル許可證ヲ場合ニ依リテハ取上クルコトアルヘシ

或ル出願人ニシテ右ノ如キ許可證ヲ交付サレタランニハ、以後毎年七月一日ヨリ同月十五日マテノ間ニ許可證書替ヲ出願センコトヲ要ス、斯テ此出願人ニシテ條例ノ規定スル所ニ毫モ違フコトナクンハ、書替ヘタル許可證ヲ交付センコトヲ要ス

出願人ニシテ右ノ如キ許可證ノ交付ヲ受ケテ桑港市及郡部ニ於テ『検査済牛乳』ヲ販賣シ、之ヲ持ち來ルヲ得ヘシ、然レトモ桑港公衆衛生局ノ認許證ヲ得ルニアラスンハ、之ヲ或ル他ノ人、會社、團體、管理人若クハ雇人ヘ交付スルコトヲ得ス

(ハ) 右ノ牛乳ハ製乳地ニ於テ冷却シテ華氏五十度ナラシムヘク、消費者ノ手ニ渡ル時其溫度同シク

五十五度ヨリ踰ユルヲ許サス

(ニ) 牛乳ヲ「タンク」ニ詰メタル時其表面ニ許可證番號ヲ記シ且ツ『桑港衛生局検査済』ノ文字ヲ銘セシメコトヲ要ス

(ホ) 右検査済牛乳中ニハ毎「センチメートル」ニ付無病原菌十萬以上存在スルヲ許サス

(ヘ) 右牛乳中ノ成分ハ左ノ如キ割合ナランコトヲ要ス、曰ク脂肪分三・四%以下タラサルコト、脂肪タラサル固形物八・五%以下タラサルコト、此牛乳中ヨリ脂肪分ヲ抜き取り、若クハ水ヲ混和シ其他何タルモノニモ之ニ加ヘテ變造スルヲ許サス、又乳牛ノ分娩前四十五日内、若クハ分娩後六日ヲ經過セサル乳汁ハ廢物タラシメサルヘカラス、加之此牛乳ハ桑港市及郡部内ニ於テ販賣スル牛乳取締規則及其規則ノ改正シタルモノニ該當セサルヘカラス

(ト) 検査済牛乳ヲ桑港市及郡部ニ齎ラシ來リテ販賣セント欲スル場合ニハ、當初ノ荷造リノ儘ニテ各牛乳販賣所ヘ渡サ、ルヘカラス、斯クテ此等ノ牛乳販賣所ニ於テ其牛乳ヲ一層小形ナル容器ニ入レ替ヘテ夫々需用者ノ手ニ賣リ渡スヘキモノトス

### 乳牛群團

(チ) 桑港市及郡部内ニ於テ検査的牛乳ヲ製出シ、若クハ斯ル牛乳ヲ同市及郡部ヘ船積トシテ送致スヘキ許可證ヲ得タルモノ、牧場ニ於ル乳牛群團ハ、毎年其筋ノ検査ヲ受ケサルヘカラス、但此検査

ノ中ニハ「ツベルクリン」試験モ含ミ居ルモノト知ルヘシ、且ツ此検査ハ桑港公衆衛生局ノ指揮監督ノ下ニ行ハルヘキモノトス、加之牧場ニ於ル生後六ヶ月以上ノ牝牛ハ普通一般ノ検査ヲ受ケンコトヲ要ス、而シテ「ツベルクリン」試験ニ對シテ反撥作用ヲ起シタランモノハ、一旦之ヲ他ニ移シテ更ニ試験センコトヲ要ス、既ニシテ試験合格ノ乳牛ニハ一々金屬製ノ小札ニ番號ヲ付シテ『桑港衛生局之検査済』ト銘記シタルモノヲ帶ハシメンコトヲ要ス、蓋シ此等ノ検査ハ許可證再下付前ニ行フヘキモノトス、又試験用ノ「ツベルクリン」牛乳營業者ノ自辨タルヘキモノトス

乳牛ノ餌食

(リ) 乳牛ニ給與スヘキ餌食ヲ總テ新鮮ニシテ清潔ナルヘク、苟クモ牛乳ヲシテ要臭ヲ放ツヘキモノヲ與フヘカラス、其他醸造滓、野菜の廢棄物等ハ皆之ヲ禁止ス

乳牛ノ保管

(ヌ) 乳牛ノ毛髮ノ下邊ニ垂ル、モノハ之ヲ剪ミ切ルヘク、其尾ハ地上ヲ掃ハサル程ニ短カク切ランコトヲ要ス、且其脇腹、乳腹、乳頭及尾等ハ毎搾乳前洗ハサルヘカラス

搾乳者

(ル) 傳染病ニ罹レル者、最近傳染病患者ニ接觸シタル者ハ何人ニ限ラス牧場ニ於テ搾乳シ、牛乳若クハ牛乳用器ヲ取扱フコトヲ得ス、又傳染病ノ發生シタル製乳地ヨリ牛乳ヲ送致シ來リ若クハ販賣

スルコトヲ得ス、但桑港公衆衛生局ヨリ視察ノ結果傳染病ノ虞ナシト公告シタル場合ハ此限ニアラス

(ヲ) 凡ソ搾乳セントスル者ハ清潔ニシテ乾キタル手ヲ以テセサルヘカラス

(ワ) 搾乳者及其他牛乳ヲ取扱フヘキ者ハ皆是レ清潔ナル上着ヲ用ヒサルヘカラス

器具

(カ) 牛乳用器具ハ皆ナ是レ熱湯ニテ能ク洗ヒテ清潔ナルヘク、好シ用ヒサル場合ト雖モ常ニ塵埃ノ掛ラヌ様ニ注意センコトヲ要ス

(コ) 器具ハ總テ「ハンダ」着ニシテ其面滑カナルヘク且ツ其形清潔ニシ易キモノナランコトヲ要ス

牛乳ノ容器ハ皆ナ是レ適當ノ覆蓋ナカルヘカラス、好シ其頂上、上部ニ孔隙アルモ直徑七吋以上ナルヲ許サス

厩舎

(タ) 厩舎ノ床ハ「コンクリート」ナランコトヲ要ス、其「コンクリート」ノ厚サハ三吋以上ナルヘク而シテ其表面ハ「セメント」ヲ以テ仕上塗ヲ爲スヘク其「セメント」ノ厚サハ半吋ナランコトヲ要ス、或ハ厚サ一時ノ「アスハルト」ヲ用フルカ其他濕氣ニ感セサル物質ヲ以テ之ヲ張ランコトヲ要ス、又厩舎ノ後方ニ溝流シヲ設ケヘク其構造ハ總テノ排泄物ヲ運ヒ去ルニ便ナラシメンコトヲ要ス

ス而シテ此溝流シハ普通ノ下水ニ流レ込ムヘキ仕組ニシテ終ニ下水溜ニ流レ行クモノトス、斯ル溝流シノ構造ハ公衆衛生局ノ檢分ヲ受ケサルヘカラス

(レ) 厩舎中搾乳スル局所ノ上部ニハ塵埃ノ落ち來ラサル爲メニ天井ヲ張ランコトヲ要ス

(ソ) 光線ノ射入、空氣ノ流通ニ關シテハ適當ノ設備ヲ爲シテ公衆衛生局ノ檢分ヲ受ケンコトヲ要ス

(ツ) 厩舎ハ皆ナ一ケ年ニ二回野呂塗ニナスベク、尙公衆衛生局ヨリ命セラレタランニハ其度数ヲ増サンコトヲ要ス

(ネ) 天井及脇壁ハ少ナクモ毎月一回洗ツテ清潔ニナサンコトヲ要ス、又牛後ノ壁ハ其高サ五呎アラシコトヲ要シ、少ナクモ年ニ一回ハ「ペンキ」ヲ塗り替ヘンコトヲ要ス

(ナ) 「エナメル」製ノ洗濯桶ハ常ニ流水ヲ以テ充タシ置キ、又「タオル」ハ厩舎中便利ナル箇所ヘ置カンコトヲ要ス

家畜欄

(ラ) 家畜欄内ハ常ニ乾燥シテ糞便ノ堆積セサル様注意センコトヲ要ス

給水

(ム) 供給セラル、水ハ潤澤ニ、純清ニ且ツ便利ニ得ラルヘクシテ下水ノ混和スルコトナク、又動物ノ排泄物杯打交ラサル様注意センコトヲ要ス、但此等ノ水ハ牛乳營業ノ許可證ヲ與ヘラレサル前、

公衆衛生局ノ化學士及細菌學士ノ試験ヲ經サルヘカラス、此條項ハ一千九百九年十二月二日ノ承認ニ係ル九百五十六號ノ條例ヲ以テ更ニ追加セラレタルモノト知ルヘシ

牛乳販賣人ハ荷車ニ積ミ乗セルカ、或ハ其他ノ方法ニ依ルモ、均シク是レ其許可證ノ番號ヲ最モ人ノ見易キ箇所ニ示シ置カサルヘカラス

第十五條

何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、桑港市及郡部内ニ於テ或ル荷車若クハ其他ノ車臺ニ乗セタル牛乳ヲ販賣セントシ、販賣スヘク申シ出シ、取引ナシ、若クハ他ニ交付セントスル場合ニハ、必ラス其筋ヨリ下付セラレタル許可證番號ナルモノヲ其荷車ノ兩側ニ一見以テ能ク人ニ知ラレ得ヘキ様掲ケ置カサルヘカラス、若シ否ラサル者アランニハ違法者トシテ處分セラレヘキモノトス、而シテ右ノ如ク許可證番號ヲ車臺ニ示サンニハ、「アラビア」數字ニテ文字ノ長サ三吋以上ニシテ衛生局ノ指揮セラ、箇所ニ「ペンキ」ニテ最モ人ノ見易キ様記サンコトヲ要ス、其他罐詰若クハ其他ノ容器ニテ牛乳ヲ販賣シ、交付シ、取引シ若クハ分配セントスル場合ハ、此等ノ容器ノ最モ人ノ見易キ箇所ニ許可證番號ヲ記シ置カンコトヲ要ス、此外店舗若クハ屋内等ニ於テ之ヲ販賣セントスル場合ニモ亦許可證番號ヲ最モ能ク人ノ目ニ觸ルヘキ箇所ニ置カサルヘカラス

何人モ純良ナラサル、惡シキモノ混和セル若クハ有害ナル牛乳ヲ販賣シ、若クハ販賣スヘク申シ出スコトヲ得ス

第十六條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、自分、管理人、召使若クハ雇人タルトヲ論セス、左ノ如キ行動ヲ取り若クハ取ラシメタラン者ハ違法者トシテ處罰セララルヘキモノトス、曰ク加里保留尼亞州桑港市郡部ニ於テ純良ナラサル、惡シキモノヲ混和セル若クハ衛生上有害ナル牛乳ヲ製造シ、販賣シ、販賣スヘク申出シ、取引シ、交付シ、分配シ若クハ斯ル見込ヲ以テ所有シ居ル者ハ皆ナ是レ違法者トシテ處分セララル、モノトス

何人、モ、純、良、ナ、ラ、サ、ル、惡、シ、キ、モ、ノ、ヲ、混、和、シ、タ、ル、若、ク、ハ、衛、生、上、有、害、ナ、ル、牛、乳、ヲ、當、市、ニ、齎、ラ、シ、來、ル、ヲ、得、ス

第十六條(二) 何人、何タル會社、何タル團體、自分、管理人、召使若クハ雇人タルヲ問ハス、純良ナラサル、惡シキモノヲ混和シタル若クハ衛生上有害ナル牛乳ヲ加里保留尼亞州桑港市及郡部内ニ齎ラシ若クハ持ち來ラシメタラン者ハ、違法者トシテ處罰セララルヘキモノトス

「惡、シ、キ、モ、ノ、ヲ、混、和、シ、タ、ル」、「純、良、ナ、ラ、サ、ル」、「衛、生、上、有、害、ナ、ル」ノ、字、義、ノ、解、釋

第十七條 本條例ノ用語タル「惡シキモノヲ混和シタル」、「純良ナラサル」、「衛生上有害ナル」ノ字義ヲ解釋スレハ左ノ如シ

- 第一 脂肪分三・四%以下及脂肪ナラサル固體八・五%以下ノ牛乳
- 第二 分娩前十五日以内若クハ分娩後五日以内ニ搾取シタル牛乳

第三 健康上有害ナル餌食ヲ給與サレタル牛乳ヨリ搾取シタル牛乳

第四 不健康ノ状態中ニ保管サレタル、或ル疾病ニ罹リタル、若クハ健康上有害ナル飲料水ヲ給與サレタル牛乳ヨリ搾取シタル牛乳

第五 「クリーム」ノ幾分ヲ抜き去リタル牛乳

第六 水若クハ其他ノ流動物ヲ混和シテ稀薄ニナシタル、若クハ其他ノ異物ヲ加入シタル牛乳

第七 搾乳者自カラ汚穢ナル若クハ不潔ノ有様ナルカ、汚穢若クハ不潔ナル牛乳ヨリ搾取シタル牛乳

第八 分拆ノ結果、牛乳ノ成分中當然有リ得ヘカラサル物質ノ存在スルコト判明スルカ、若クハ其成分中當然存在シ得ヘキモノ、之レナキコトノ判明シタル牛乳、本條ハ一千九百九年三月十七日ノ承認ニ係ル六百九十七號ノ條例ニ依リテ改正セラレタルモノ是レナリ

牛、乳、ヲ、積、ミ、タ、ル、荷、車、ニ、ハ、塵、芥、汚、物、廢、棄、物、等、ヲ、乘、ス、ル、コ、ト、ヲ、禁、ス

第十八條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、左記ノ如キ行爲アラン者ハ違法者トシテ處分セララルヘキモノトス、曰ク牛乳若クハ「クリーム」ヲ積ミ乗セタル荷車若クハ其他ノ車臺ニシテ之ヲ他ニ送致シ、之ヲ貯ヘ置キ、之ヲ賣却シ、取引シ、分配シ、交付セントスルモノナルニ、此等ノ車臺ヘ塵芥、汚物、廢棄物、腐敗シツ、アルモノ、醱酵セルモノ、衛生上有害ナルモノ、不潔ナル物等ヲ乗セタランニハ違法者トシテ處分セララル、コト是レナリ

衛生局ノ役人、代理者及雇員等ハ、或ル牛乳販賣所へ臨檢スヘキ權能ヲ有ス

五八

第十九條 本命令ノ目的トスル所規定スル所ヲ遂行センカ爲メニ衛生局、役員、代理者及雇員ハ左ノ如キ權能ヲ有スルモノトス、曰ク本條例ノ規定スル所ニ從ツテ許可サレタル牛乳製造者、同販賣者若クハ分配者ノ許ヘハ何時ニテモ入り込ミテ其實況ヲ視察スヘキ權能ヲ有スルコト是レナリ、然ルニ若シ斯ク臨檢セントスルノ際牛乳製造者、同販賣者若クハ分配者ニシテ之ヲ嫌疑シテ肯ンセサルコトアラシカ、是レ違法ノ所爲ナルヲ以テ其處罰トシテ其許可證ヲ取り上ケラル、モノトス

衛生局ノ職責タル製乳所ノ檢査

第二十條 製乳所、製乳地其他桑港市及郡部ヘ齎ラシ來ル牛乳ノ産出箇所ハ果シテ能ク本條例ノ規定スル所及衛生局ノ指令スル所ヲ遵守シ居ルヤ否ヲ隨時視察センコトヲ要ス、是レ衛生局ノ職責タリ

牛乳檢査ノ目的ヲ以テ牛乳製出ニ係ル總テノ箇所ヘ入り込ムヘキ衛生局及局員ノ權利及義務

第二十一條 衛生局、局ノ役員、代理者及雇員ハ左記ノ如キ權利ト義務トヲ有スヘキモノトス、曰ク桑港市及郡部ノ消費ニ充テンカ爲メ牛乳ヲ貯ヘ置クヘキ箇所、販賣スヘキ箇所、運搬スヘキ荷車、馬車、鐵道列車、汽船其他總テ運搬機關ニ入り込ンテ牛乳ヲ檢査スヘキ權利ト義務トヲ有スルコト是レナリ

衛生局及局員牛乳ノ見本ヲ取り且ツ之ニ關スル處分法

第二十二條 衛生局、局ノ役員、代理者及雇員ハ桑港市及郡部内ニ於テ牛乳ヲ販賣シ、取引シ、交付シ若

クハ分配スル者ヨリ牛乳ノ見本ヲ差シ出サシムヘキ權能ヲ有ス、但見本トシテ徵收スヘキ牛乳ノ分量ハ一「クオート」以内ニシテ、其牛乳營業者ノ面前ニテ之ヲ嚴重ニ密封センコトヲ要ス、既ニシテ其見本ノ一半ハ密封シテ差シ出シタル本人ニ返シ、他ノ一半ハ同シク密封シテ衛生局ヘ差シ出サンコトヲ要ス

斯ク衛生局ヘ見本ヲ差シ出サントスル時ハ、其見本ヲ取りタル營業者ノ姓名、其營業許可證ノ番號及見本ヲ取りタル月日等ヲ書面ニ認メテ差シ出サンコトヲ要ス、斯ク見本ヲ取り上ケタル役員モ亦自分ノ手帳ニ右ノ如キ許可證番號、營業者ノ姓名等ヲ記入シ置カンコトヲ要ス

製乳所ノ持主ハ其牛乳ノ純良ナラサルコトヲ知り得タランニハ、其旨衛生局ヘ報告センコトヲ要ス

第二十三條 桑港市及郡部内ニ於ル製乳所若クハ製乳地ノ持主、管理人、事務員若クハ同市及郡部ヘ牛乳ヲ供給スル製乳所、製乳地ノ持主若クハ管理人等ハ一旦自分等ノ手ヨリ出テタル牛乳ニシテ、純良ナラス若クハ衛生上害アルモノトナリ居レルコトヲ知りタランニハ、其職責トシテ其旨衛生局ヘ報告セサルヘカラス

衛生局ノ役員其職責ヲ遂行セントスルノ際之ヲ妨害スルコトヲ禁ス

第二十四條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、衛生局、局ノ役員、代理者若クハ雇員ニシテ、本條例ノ規定スル所ニ從ツテ其職責ヲ遂行セントスルノ際之ヲ妨害シタランニハ、違法者トシテ處分セラ

衛生上害ナシト認めラレタランニハ「コンデンスミルク」、「バターミルク」及「醗酵牛乳」ハ之ヲ販賣スルコトヲ得ヘシ

第二十五條 「コンデンスミルク」、「バターミルク」及「醗酵牛乳」ノ原料タル牛乳ニシテ、純良清潔、新鮮ニシテ悪シキモノト混和セラルルコトナク、「コンデンスミルク」ニ就テ之ヲ云ハンニ合衆國農務大臣ノ規定シタル條項及標準ニ合格シタランカ、皆ナ是レ販賣シテ妨ケナキモノトス  
當市及郡部以外ヨリ齋ラシ來リタル牛乳ハ検査ヲ受ケンコトヲ要ス

第二十六條 水路船便若クハ陸路汽車便等ニテ桑港市及郡部ニ齋ラシ來リタル牛乳ハ、衛生局ノ規定スル所ニ從ツテ衛生局、局ノ役員、代理者若クハ雇員ノ検査ヲ受ケサルヘカラス、但斯ル検査ノ爲メ牛乳ヲ抑留スル時間ハ一時間ヲ踰ユルヲ許サス、右ノ如ク検査ヲ受ケンコトハ牛乳ノ持主若クハ受託者ノ職責ナリト知ルヘシ

牛乳ノ容器ニハ密閉シタル蓋ナカルヘカラス

第二十六條(二) 人類ノ消費トシテ桑港市及郡部ヘ齋ラシ來ル牛乳ニシテ、三「ガロン」以上ノ「タンク」若クハ其他ノ容器ナランニハ、必ラス適當ニシテ密閉シ得ラルヘキ覆蓋ナカルヘカラス、否ラシハ違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス、本條ハ一千九百九年三月十七日ノ承認ニ係ル六百九十七號ノ

條例ニ依リテ新條ヲ設ケラレタルモノ是レナリ

本條例ノ規定違犯者ニ對スル罰則

第二十七條 何人ニ限ラス本條例ノ規定ノ何レニカ違犯シタランニハ違法者ト思惟セラレ其證憑充分ナランニハ、二十五弗以上五百弗以内ノ罰金ニ處セラレ、若クハ百日以内ノ期間郡監獄ニ禁錮セラル、モノトス

第二十八條 一千八百九十六年一月十六日ノ承認ニ係ル二千九百四十四號ノ命令。一千九百四年五月廿六日ノ承認ニ係ル一千二百八號ノ條例。一千九百八年六月廿三日ノ承認ニ係ル四百九十一號ノ條例及本條例ノ規定ニ抵觸スル所ノ命令及條例ハ共ニ是レ自然消滅ニ歸スヘキモノトス

第二十九條 本條例ハ發布ノ日ヨリ三十日後實行セラル、モノトス

條例 二百二十九號

一千九百一一年二月八日ノ承認ニ係ル

製乳所建設及維持ニ關スル規定及此等ノ規定違犯ニ關スル處罰法

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 何人ニ限ラス當市及郡部内ニ於ル或ル製乳所内ニ左記ノ如キ建築物ヲ設クルコトヲ得ス、曰ク或ル建物ヲ設ケ、若クハ在來ノ建物ヲ變造シ模様替ヲ爲シ、或ハ一部分ニ修繕ヲ加フルモ、人ノ健康ヲ保

持スル上ニ於テ若クハ生命ヲ安全ナラシムル上ニ於テ適當ナル設備之レナキカ、空氣流通、光線ノ射入若クハ下水疏通等ニ關シテ不完全ナル所アラシムルカ、斯ル建物ハ一切設クルコトヲ得ス

第二條 桑港市及郡部内ニ於ル製乳所ノ持主、賃借人、現住者若クハ事務員タランモノハ左記ノ如キ事ヲ爲シ若クハ爲サシムルコトヲ得ス、曰ク斯ル製乳所内若クハ其周邊等ニ人ノ生命若クハ健康上ニ有害ナル建物ヲ設クル事若クハ存在スルカ如キコト是レナリ

第三條 當市及郡部内ニ於ル或ル製乳所ノ持主、賃借人、現住者若クハ管理人タランモノハ、其製乳所内ニ於ル或ル建物ヲ賃貸トナシ或ハ其建物ノ或ル部分ニ人ヲ住居セシメ、下宿セシメ、宿泊セシメ若クハ睡眠セシムルコトヲ得ス、但光線ノ射入空氣ノ流通充分ニシテ其他ノ設備モ能ク行キ届キ、且ツ諸事清潔ニシテ人ノ健康上ニ能ク適シタラン場合ハ此限ニアラス、然レトモ如何ナル場合ヲ問ハス或ル種類ノ家畜ノ居所ト定メラレタル所ヘ人ヲ住居セシメ、宿泊セシメ若クハ睡眠セシムルコトヲ得ス

第四條 斯ル製乳所ノ雇人等ノ居住スル箇所ハ乳牛ノ棲息スル所トハ全然別々ニシ其間更ニ聯絡スル所アルヘカラス、又斯ル雇人等ノ居所ニ於ケル寢臺ト寢臺トノ距離ハ二呎以上ナルヘカラス、且ツ各寢臺ノ下邊ハ空氣ノ流通ヲ自由ナラシムヘク、又換氣法ノ設備モ充分ナランコトヲ要ス、而シテ各寢臺即チ各雇人ニ要スヘキ空間ノ立方呎ヲ五百呎ナラサルヘカラス、蓋シ寢室ノ空間立方呎ニ關シテハ本條例ニ規定セラレタル寢臺ノ定數ナルモノアリ、此定數以上ヲ据付ケルコトヲ許サス、但完全ナル換氣法ノ

設ケラレタル場合ハ此限ニアラス、而シテ此換氣法ハ固ヨリ衛生局ノ承認ヲ經サルヘカラス、然レトモ特別ナル或ル事情アリテ寢室ノ寢臺數若クハ空間ノ立方呎ニ關シテ特定數ノ許可證ヲ與フルコトアルヘシ

第五條 右ノ如キ製乳所ノ持主、賃借人、現住者若クハ管理人タランモノハ、皆ナ是レ所内ノ各部分及其附屬ノケ所ヲシテ清潔ニ且ツ人ノ健康上ニ適セシムヘキ様常ニ注意セサルヘカラス、又其製乳所ノ關係アル人ノ睡眠シ、居住シ若クハ勞働スルケ所ハ總テ空氣ノ流通、光線ノ射入等充分ニシテ衛生局ノ指揮命令ニ適セシメサルヘカラス、其外大小便所、浴湯用ノ管、洗濯器杯ノ設備、衛生局ノ指揮命令ニ從ツテ完カラシムコトヲ要ス、然レトモ苟クモ家畜ノ乳汁ヲ搾取スル箇所内ニハ覆蓋ナキ大小便所、地中ヲ掘リ窪メタル便所若クハ井戸ノ如キ深キ便所ハ絶對的ニ之ヲ許サス

第六條 當市及郡部内ニ於ル或ル製乳所ノ持主、賃借人、現住者若クハ管理人タラン者ハ、少クモ二十四時間内ニ一回所内ニ於ル諸建物ノ壁、床及庭等ヨリ厩舎等ニ至ルマテ清潔法ヲ行ハンコトヲ要ス、又毎週一回便所掃除ヲ爲サンコトヲ要ス

第七條 乳牛、山羊若クハ其他乳汁ヲ搾取スヘキ動物ニシテ不潔ナル場合ニハ搾乳スヘカラス、又搾取人ニシテ不潔ナラサルカ健康状態ニアラスンハ搾乳スヘカラス

第八條 右ノ如キ或ル製乳所ノ持主、賃借人、現住者若クハ管理人ニシテ故意ニ野菜屑、若クハ其他ノ廢



棄物等ヲ以テ其乳牛及他ノ動物ヲ飼養シタランニハ、當市及郡部内ニ於テ斯ル動物ヨリ搾取シタル乳汁ヲ販賣シ若クハ販賣スヘク申シ出スコトヲ得ス、又當市及郡部内ニ於ル何人モ斯ル乳汁ヲ受ケ、販賣スヘキ目的ヲ以テ貯ヘ置クコトヲ得ス、或ハ此等ノ動物ノ棲息セルケ所ニシテ空氣流通其宜シキヲ得ス、食物適當ナラス周圍ノ狀態健康上ニ適セストセンカ、斯ル動物ノ乳汁モ均シク是レヲ販賣スルコトヲ得ス

第九條 何人ニ限ラス左記ノ如キ牛乳、牛酪、乾酪ヲ當市及郡部内ニ齎ラシ來リ、販賣シ、販賣スヘク申シ出シ若クハ所有シ居ルコトヲ許サス、曰ク水其他惡シキ物ヲ混和シタル牛乳、牛酪、乾酪、時ノ大半厩舎ノミニ棲息シタル動物ヨリ搾取シタル牛乳、斯ル乳汁ヨリ製出シタル牛酪、乾酪、若クハ疾病ニ罹レル或ハ傳染病ニ接觸シタル動物ヨリ搾取シタルモノノ類是レナリ

第十條 何人ニ限ラス本條例ニ規定サレタル條項ノ何レニカ違犯シテ其證憑充分ナランニハ、二十五弗以上五百弗以内ノ罰金ニ處セラレ、六ヶ月以内ノ期間禁錮ノ刑ニ處セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處分セラルルコトアルヘシ

第十一條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セラル、モノトス

條例 一千二百七十三號

一千九百四年八月十一日ノ承認ニ係ル

製乳所、牛乳貯藏所、牛乳配達ニ關スル規定

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 乳牛ノ搾取ヲ爲スヘキ野小屋及家畜小屋ナルモノハ、相當ノ大サアリテ空氣ノ流通最モ宜シカラシコトヲ要ス

第二條 搾乳スヘキ家畜小屋及野小屋ノ壁ハ開戸及窓ノ設ナカルヘカラス、但其窓ハ横十呎毎ニ一ノ十平方呎ノモノナランコトヲ要ス

第三條 乳牛ノ繫留セラレ若クハ搾乳セラルヘキ家畜小屋及野小屋ノ床ハ、其構造排泄物等ノ地中ニ滲透セサル様出來上ラシメンコトヲ要ス、而シテ此等ノ床ニハ同シク地中ニ滲透セサル溝流シヲ設クヘク、此溝流シハ街路ノ下水管ト聯絡ヲ取ラシムヘシ、若シ街路ノ下水管之ナキ場合アランニハ、乳牛ノ排泄物ヲ遠隔ノ場所ヘ運ヒ去リテ、其惡臭ノ牛乳ヘ感セシメサル様注意センコトヲ要ス、又タ乳牛ヲシテ其排泄シタル大小便ノ堆積シタル上ニ立タシメサル様、又タ其上ヲ踐ミ行カシメサル様注意ヲ拂ハンコトヲ要ス

第四條 厩舎ノ仕切ハ其下邊ニ不必要ナル窪ミナキ様又角度ノ歪マサル様設ケンコトヲ要ス、又食物ヲ給與スヘキ秣槽ナルモノハ其構造隅カラ隅マテ殘ラス能ク掃除シ得ラルル様調製センコトヲ要ス、但此等ノ小屋ノ大掃除ニ際シテ斯ル食器ヲ清潔ナラシメンコト便利ナルヘシ

第五條 乳牛ノ繫留サレ若クハ搾乳セラルル所ノ厩舎、野小屋若クハ家畜小屋ノ床カ地上ヨリ一呎以上之レナキ場合ニ於テ之ヲ改造セント欲スルコトアラシカ、斯ル場合ニ於テハ人造石、「ピチユメン」、「アスハルト」若クハ「セメント」ニテ之ヲ造ラン事ヲ要ス

第六條 乳牛ノ食餌ヲ運フヘキ器物ハ少ナクモ一日ニ一回清潔ニセンコトヲ要ス、其内部周邊等ニ食餌ノ渣滓ノ附着シ居ランモノハ之ヲ用フヘカラス、又其周邊ノ壁ハ少ナクモ六ヶ月ニ一回石灰等ニテ洗ハシコトヲ要ス

第七條 牛乳ヲ濾過シ若クハ貯ヘ置クヘキケ所ハ右ノ如キ厩舎、家畜小屋、野小屋ト聯絡ヲ保タンニ戸口若クハ窓等ニ依ルヘカラス、斯ル厩舎ヨリ貯藏所ヘ管ヲ通シ置キテ牛乳ヲ送置セシメンコトヲ要ス、乃チ貯藏所ノ方ニハ漏斗形ノ受容器ヲ設ケ置キテ厩舎等ヨリ送致シ來ル牛乳ヲ受ケ容ルルモノトス、而シテ此等ノ管及漏斗ハ清潔ニナシ置クヘク、中ニ就テ漏斗ノ如キハ之ヲ用ヒサル場合ニハ覆蓋ヲ爲シ置カシコトヲ要ス

第八條 牛乳ヲ濾過シ若クハ貯ヘ置クヘキケ所ノ床ハ水杯ノ滲透セサル様造ランコトヲ要ス、而シテ此等ノ床ニシテ改造セラレントスル場合ニハ、「セメント」、人造石、「アスハルト」若クハ「ピチユメン」ヲ以テ造ランコトヲ要ス、又此床ノ表面ハ下水管ト聯絡シテ汚水ヲ下水管ニ落サンコトヲ要ス

第九條 牛乳ヲ濾過シ若クハ貯ヘ置クヘキケ所ノ壁ハ其構造最モ氣密ニシテ、清潔法ヲ行ハンニ容易ナラシメンコトヲ要ス

第十條 右ノ如キ牛乳貯藏所ノ窓、戸及空氣抜等ハ共ニ是レ張金ノ作用ニテ開閉セシムヘキ仕組ナランコトヲ要ス

第十一條 右ノ如ク管ヨリ送致セラルル牛乳カ此方ノ受容器ナル「バケツ」ニ充タランニハ、之ニ蓋ヲ爲シテ牛乳貯藏所ニ持チ行キ、而カシテ此貯藏所ノ外側ナル「ブラットホーム」ヨリ濾過器ニ移サンコトヲ要ス、斯クテ右ノ「バケツ」ハ「ブラットホーム」ノ或ルケ所ニ懸ケ置クヘク、其之ヲ懸ケ置カンニハ「ブラットホーム」ノ床ヨリ少ナクモ三呎高キ所ナランコトヲ要ス、而シテ此等ノ「バケツ」ハ塵埃其他不潔物ノ入り來ラサル様、常ニ適當ノ蓋ヲ爲シ置クコトヲ要ス、假初メニモ床上ニ置クヘカラス

第十二條 搾乳者及濾過分折等ニ關係ナキ助手ハ牛乳精製所ニ入ルコトヲ許サス、且ツ此精製所ニ於テ濾過等ニ取リ掛リ居ル内ハ家畜等ノ入り來ルヲ許サス

第十三條 牛乳ヲ冷却セシムヘキ桶ニシテ若シ木製ナランニ白色「ペンキ」ニテ其内面ヲ塗ルヘク、而シテ其深サハ之ニ水ヲ入ルル時牛乳罐ノ肩マテ其水ノ達セサル度合ナリト知ルヘシ、尙ホ此冷却桶ハ毎日清潔ニ爲シ置クヘク、苟クモ浮渣、沈澱物若クハ不潔ナル水ヲ滯ラシムヘカラス。

第十四條 牛乳精製所ハ毎日新鮮ナル水ヲ管ニ仕掛ケ洗ヒ淨メンコトヲ要ス、又少ナクモ每週一回床及所

内ノ下水ヲ掃除セサルヘカラス

第十五條 牛乳精製所内ニ於テ牛乳ヲ取り扱フ者ハ皆ナ是レ其身ヲ清潔ニナサ、ルヘカラス

第十六條 將ニ配達セントスル牛乳ハ家事ヲ取扱フヘキ室内ニ置クヘカラス

第十七條 金屬製ノ牛乳器ニシテ銹タルモノ其他不適當ナルモノハ用フル事ヲ得ス

第十八條 何人ヲ問ハス牛乳ヲ配達シテ來タ儘ノ器ニテ飲ムヘカラス、又牛乳ヲ配達シテ來タル罐若クハ

德利ヲ其他ノ目的ニ使用スヘカラス、其外斯ル牛乳器ヲ「ストープ」ニ若クハ熱キ箇所ヘ置クヘカラス

第十九條 牛乳ヲ配達シタル家ニ傳染病患者發生シタランニハ、其空罐若クハ空罐等取り集メニ行カス

テ其儘ニ爲シ置カンコトヲ要ス、但其家屋カ薰蒸消毒法ヲ行ヒ及右空罐等モ消毒法ヲ行ハレタラン場シ

ハ此限ニアラス

第二十條 何人ニ限ラス傳染病ニ罹リタランニハ、牛乳營業者ノ構内ニテ何タル業務ニモ就クコトヲ得ス

又其牛乳ノ配達ヲ爲スコトヲ得ス

第二一條 製乳所内ニ於テ傳染病ニ罹リタル者アラン場合ニハ、之ヲ離隔所ニ送致シテ檢疫規則ニ從ハシ

メンコトヲ要ス、且ツ此等ノ患者ト接觸シタルモノハ製乳所ニ於テ業務ニ就クコトヲ得ス、但或ル期間

ヲ經過シテ衛生局カ妨ケナシト證言シタル場合ハ此限ニアラス

第二二條 搾乳者トシテ働カンモノハ清潔ニシテ傳染病ニ罹リ居ラサラン事ヲ要ス

第二三條 如何ナル乳牛ト雖モ先ツ其脇腹、腹、腰、乳腺、乳頭及尾ヲ清ク洗フニアラスンハ搾乳ニ取り

掛ルヲ得ス

第二四條 搾乳者タラン者ハ先ツ其搾乳ニ取り掛ル前其手ヲ充分ニ洗ヒ淨ムヘク、其他諸事清潔ナランコ

トヲ要ス

第二五條 搾乳者ノ搾乳ニ取り掛レル際最初ノ三搾ハ之ヲ打チ棄テ後「バケツ」ニ搾リ入レンコトヲ要ス

第二六條 變色シタル牛乳若クハ搾乳中乳牛ノ排泄物カ混和セルカ、餘リニ濃厚ナルカ、若クハ其外形カ

自然ノ状態ヲ失ヒ居タランニハ之ヲ打チ棄テンコトヲ要ス、又タ其受容桶ハ之ヲ用フル前清潔ナラサル

ヘカラス

第二七條 搾乳ニ關スル腰掛ハ總テ清潔ナラサルヘカラス

第二八條 成ル疾病ニ罹リタル乳牛、結核病ノ微症アル乳牛、傳染性墮胎、乳房炎、膿瘡、及星菌病等ニ

罹レル乳牛ハ乳牛團ノ内ニ入ラシムヘカラス、又タ乳牛分娩前三十日以内、分娩後五日以内ノ乳ハ之ヲ

通常ノ乳ト混和スヘカラス

第二九條 健康ヲ害シタル徵候アリ、何等カノ疾患ニ罹リ若クハ食餌ヲ取ラサル乳牛ハ、之ヲ隔離所ニ移

シテ檢疫規則ニ從ハシメンコトヲ要ス、此檢疫規則ト云ヘルハ一千九百年十二月十二日ノ承認ニ係ル百

九十八號ノ條例是レナリ

第三十條 製乳所及牛乳貯藏所ニ於テ使用スル所ノ罐、德利其他ノ器物ハ使用後「アルカリ」液其他ノ洗濯用液ヲ混和シタル水ヲ以テ能ク洗ヒ淨メンコトヲ要ス

第三十一條 十「ガロン」以内ノ水ヲ有スル「タンク」若クハ桶ニテハ一時ニ二十罐以上若クハ五十以上ノ德利ヲ洗フコトヲ得ス、但シ本條例第三十條ノ規定ニ從ツテ新鮮ナル溶液ヲ加ヘタル場合ハ此限ニアラス

第三十二條 罐、德利其他ノ器具ハ本條例第三十條ノ規定ニ從ツテ洗ハレタル後、更ニ新鮮ナル水ヲ入レタル「タンク」若クハ桶ニテ洗ヒ淨メンコトヲ要ス、但スル「タンク」若クハ桶ニテ洗ヒ淨メ居ル間其水ハ常ニ絶ヘス新陳代謝セシメンコトヲ要ス、而シテ此等ノ器具ヲ斯ク洗ヒ淨メタランニハ、更ニ熱湯若クハ蒸氣ニテ之ヲ洗フヘク、既ニ斯ク洗ヒ去リタラン後ハ塵埃若クハ不潔物ノ飛散シタル箇所ヘ放置スヘカス、床ヨリ少ナクモ三呎高キ棚上ニ置カンコトヲ要ス、又斯ル用ニ供シタル「クック」若クハ桶等ハ他ノ目的ニ使用スヘカラス

第三十三條 製乳所及牛乳貯藏所ノ洗濯所ノ床ヲ水杯ノ滲透セサル材料ヲ以テ造ランコトヲ要ス、而シテ此床ヲ改造スル場合アリタランニハ、「セメント」、人造石、「アスハルト」若クハ「ビチュメン」ヲ以テ造ランコトヲ要ス、而シテ其床上ノ汚水等ハ下水管ト聯絡ヲ保ツヘク、若シ下水管ナクハ普通ノ下水ト聯絡セシムヘシ

第三十四條 器具、洗濯用ノ「タンク」及桶ニシテ木造ナランニハ、其内面ヲ覆フニ金屬ヲ以テセンコトヲ要ス、而シテ洗濯所ノ「タンク」、桶及床ハ日々清潔法ヲ行ハンコトヲ要ス

第三十五條 罐、德利其他ノ器具等ヲ清潔ニスヘキ「ブラツシ」其他ノモノハ日々消毒法ヲ行ヒ且ツ垢、塵埃ノ附着セサル様注意ヲ怠タルヘカラス

第三十六條 苟クモ製乳所ニ供給セラルヘキ水ハ純良ナラサルヘカラス、其水源地ハ野小屋、便所、下水等ニテ汚染セラル、ノ憂ナカラシコトヲ要ス、又タ乳牛ニ給與セラル、水ハ常ニ純良ニシテ、靜止セル池水杯ハ避ケシメサルヘカラス

第三十七條 牛乳配達夫カ得意先ヘ牛乳ヲ配達シ若クハ空罐ヲ取り集ムルノ際、街路ノ側ニ牛乳罐若クハ空罐ヲ一時タリトモ棄テ置クヘカラス

第三十八條 牛乳ヲ配達スルノ途中公街ニ於テ牛乳ヲ此罐ヨリ他ノ罐ヘ入レ替ヘルコトヲ許サス、但荷車ニ載セタル大罐ヨリ小罐ヘ移サンコトハ此限ニアラス

第三十九條 牛乳罐ヲ荷車ニ積ミ乗セタランニハ、其局部丈ケ上部ニ天幕様ノモノヲ張ランコトヲ要ス

第四十條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、本條例ニ規定サレタル條項ノ何レカニ違犯シ其證憑充分ナランニハ、五百弗以内ノ罰金ニ處セラル、カ、六ヶ月以内郡監獄ニ禁錮セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セ課セラル、コトアルヘシ

第四十一條 本條例ハ發布ヨリ三十日後實行セラル、モノトス

七二

條 例 二千九十八號

一千九百十二年十二月十一日ノ承認ニ係ル

牛乳ノ殺菌ニ關スル規定、殺菌ノ定義及殺菌實行ノ方法ニ關スル規定

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條

牛乳ノ殺菌トハ左記ノ如キ意義ナリト知ルヘシ、曰ク牛乳ノ各部分ヲ熱セシメテ華氏百四十度マテニ達セシムル事、此溫度ニテ少ナクモ二十分間据ヘ置ク事、斯クテ直チニ之ヲ冷却セシメテ少ナクモ華氏四十五度ニ至ラシムルコト是レナリ、右ノ用語ハ製出シタル牛乳ニ限ルヘキモノニシテ、之ヲ賣却セシニハ左記ノ條件ニ從ハサルヘカラス

イ、何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス桑港市及郡部内ニ於テ販賣センカ爲メニ殺菌牛乳ヲ製出セント欲スル者ハ、衛生局ヘ認可願書ヲ差シ出サンコトヲ要ス、但其願書ハ規定ノ用紙ニ認ムヘキモノトス

ロ、衛生局ハ右ノ願書ニ基キテ實地ニ就キ調査ヲ遂ケタル結果、妨ケナシト見定メタランニハ認可證ヲ交付センコトヲ要ス、衛生局カ斯ク妨ケナシト見定メンニハ左記ノ如キ事實ヲ確カメタル上ナランコトヲ要ス、曰ク出願者ノ殺菌裝置ヲ視ルニ牛乳中ニ含メル細菌全部ノ九九%及病原菌ハ悉ク皆

ナ華氏百四十度以下ナラサル熱度ニテ滅殺セラレ、其溫度ニテ二十分間据ヘ置カレタル事、其他殺菌裝置ニ用ヒ居レル寒暖計ハ公衆衛生局ノ保證ニ係ル確實ナルモノト確カメタル事等是レナリ

ハ、凡ソ牛乳ノ殺菌ニ係ル寒暖計ノ記録ハ公衆衛生局ノ司トル所ニシテ、從ツテ其記録ハ同局ノ役員ノ手ニテ集收センコトヲ要ス

ニ、殺菌法ヲ行ハント欲スル牛乳ハ其質左ノ如キモノナランコトヲ要ス

此種ノ牛乳ハ公衆衛生局ヨリ發シタル標準「カード」中通常六〇%ヲ產出スル製乳所ノ產出ナラサルヘカラス

ホ、斯クテ殺菌法ヲ行フタル牛乳ハ皆ナ是レ之ヲ容ル、各罐各德利ヘ明カニ『殺菌牛乳』ノ記號ヲ貼付シ且ツ順序ヲ逐フタル番號ヲ加ヘ置カンコトヲ要ス

ヘ、凡ソ殺菌牛乳ヲ製出シ之ヲ取扱フ上ニ於テ要スル所ノ器物ハ、適當ニ清潔法ヲ施コシ之ヲ用フル前必ラス消毒法ヲ行ハサルヘカラス、又タ此器物ノ構造ハ何レノ場所ニ据ヘ置クモ容易ニ倒レス其内面ハ滑カナランコトヲ要ス

ト、殺菌牛乳ハ殺菌作用ヲ行フテヨリ二十四時間ヲ過キテ消費者ノ許ヘ配達スヘカラス

チ、一タヒ殺菌サレタル牛乳ハ再ヒ殺菌スヘカラス

リ、殺菌牛乳製造法ニ關スル規定ニ違反シタルモノハ、桑港市及郡部内ニ於テ殺菌牛乳ヲ販賣シ得ヘ

七三

キ認可證ヲ取上ケラル、モノトス

條 例 二千九十九號

一千九百十二年十二月十一日ノ承認ニ係ル

「ク、オ、ト」若クハ「ヨ、リ、少、量、ノ、牛、乳、若、ク、ハ、ク、リ、ム」販賣ニ關スル規定

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、他ノ商品ヲ販賣スルト共ニ或ル牛乳若クハ「クリーム」ノ「ク、リ、ム」若クハ「ヨ、リ、少、量」ヲ販賣シ、販賣スヘク申シ出シ、販賣スルノ目的ヲ以テ店頭杯ニ置キ並ヘルコトヲ得ス、但斯ル牛乳若クハ「クリーム」ヲ罐詰トナシ若クハ其他ノ器物ニ容レテ緊カト口ヲナシ、且ツ此等ノ器物ノ表面ニ牛乳若クハ「クリーム」ヲ詰メ込ミタル人、會社若クハ團體ノ名ヲ最モ分リ善ク貼付シタルモノヲ其儘販賣センハ此限ニアラス、而シテ斯ク器物ニ貼付シタル姓名ヲ故ラニ變更スルモノハ違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス

第二條 何人ニ限ラス街路、往來若クハ桑港市及郡部ノ或ルヶ所ニ於テ牛乳ヲ一ノ罐若クハ德利等ヨリ他ノ容器ヘ移スコトヲ得ス、但牛乳若クハ「クリーム」販賣所ニシテ其衛生状態ヲ公衆衛生局ノ承認シタルモノハ此限ニアラス

第三條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、本條例ニ規定サレタル條項ノ何レニカ違犯シテ其證憑

ノ充分ナランニハ、五弗以上一百弗以内ノ罰金ニ處セラル、カ、二十四時間以上三十日以内ノ期間郡監

獄ニ禁錮セラレ若クハ罰金ト禁錮ト併セテ處罰セラル、コトアルヘシ

第四條 本條例ハ一千九百十三年一月一日ヨリ實行セラル、モノトス

條 例 一千二百六十五號

一千九百十年八月二日ノ承認ニ係ル

桑、港、市、及、郡、部、内、ニ、於、テ、販、賣、ス、ル、肉、類、及、肉、類、料、品、ノ、檢、查、規、定、衛、生、局、ハ、右、檢、查、規、定、ヲ、制、定、シ、及、本、條、例、違、犯、者、ヲ、處、罰、ス、ル、權、能、ヲ、有、ス、

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、桑港市及郡部内ニ於テ牛、犢、羊、仔羊、山羊若クハ豚等ノ肉ヲ販賣シ、販賣スヘク申シ出シ、若クハ所有シ居ル者ハ皆ナ是レ其肉ニ検査濟ノ烙印ナカルヘカラス、所謂ル烙印トハ桑港市及郡部衛生局、加里保留尼亞州衛生局、若クハ合衆國農務局ノ検査濟ヲ表明スルモノ是レナリ、斯ル検査濟ノ烙印之レナキ肉類ハ一切之ヲ販賣スルコトヲ得ス、然ルニ桑港市及郡部内ニ於テ右ニ掲ケタル動物ノ全體カ若クハ其一部カ販賣スヘク或ルヶ所ニ暴サレアリテ規定ノ検査濟ノ烙印之レナシトセンカ、衛生局ハ此等ノ肉ヲ沒收シテ全ク廢物タラシメンコトヲ要ス

第二條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、或ル牛、羊、仔羊、山羊若クハ豚ノ肉ニシテ桑港市及

郡部衛生局ノ承認シタル検査済ノ烙印之レナキモノヲ桑港市及郡部内へ船積トシテ送致シ若クハ其他ノ方法ニテ齎ラシ來リ若クハ然カセシムルコトヲ得ス

第三條 健康状態ニシテ生後四週間以上ノ犢牛ノ屍體ニシテ桑港市及郡部内ニ到着シタランニハ其都度検査シテ不都合ナシト認メタル場合、桑港衛生局検査済ノ刻印ヲ捺センコトヲ要ス

第四條 牛、羊、山羊若クハ豚ニシテ將ニ屠殺サレントスル時ハ、其屠畜場ニ入ラサルニ先ンシテ桑港市及郡部衛生局ノ指揮ニ從ツテ検査センコトヲ要ス、而シテ此検査ノ結果何等カノ疾病ノ徵候アルカ、若クハ疑ヒアランカ、斯ル場合ニ於テハ桑港市及郡部衛生局ノ規定ニ從ツテ、屠殺後其體軀ノ全部カ若クハ一部分ヲ食料ニ適セサルモノト定ムヘシ、因ツテ斯ル動物ニハ『桑港衛生局之嫌疑物』ト記シタル金屬製ノ札ヲ付センコトヲ要ス、而シテ斯ル動物ハ一種別物トシテ屠殺センコトヲ要ス

第五條 右ニ掲ケタル諸ロノ動物カ桑港市及郡部内ニ於テ屠殺サレタル場合ニハ、桑港市及郡部衛生局ノ指揮ニ從ツテ充分ニ之ヲ検査セサルヘカラス、而シテ充分ニ其検査ノ結了スルマテ斯ル動物ノ頭、舌、胸腺及内臓ノ全部ハ之ヲ他ヘ移サス暫ラク其儘ニ爲シ置カンコトヲ要ス、是レ検査中不審ノ廉アリテ斯ル局部ヲ參考ニ供スルコトアレハナリ、又斯ク屠殺シタル動物ノ局部々々ヲ置クヘキ棚若クハ吊シ置クヘキ金屬製ノ鈎ノ設ケナカルヘカラス

第六條 右ノ如ク屠殺シタル動物ノ一頭全部カ若クハ其爾カノ箇所ノ肉片カ、衛生上食料ト爲スニ不

適當ナランカ、斯ル場合ニ於テハ桑港市及郡部衛生局ハ『桑港衛生局檢定不良物』ト刻印シテ廢滅セシメンコトヲ要ス

第七條 桑港市郡部衛生局ハ或ル時又ハ何レノ時ト雖モ桑港市及郡部内ニ於テ販賣セントスル肉類若クハ食料ト爲スヘキ肉類ノ再検査ヲ爲シ、若シ不良ナリト認定シタランニハ規定ニ從ツテ夫々處分スルノ權能ヲ有ス

第八條 桑港市及郡部衛生局ハ左記ノ如キ權能ヲ有スルモノトス、曰ク屠畜場ノ衛生状態、及肉類ヲ調理シ若クハ調理シタル肉類ヲ販賣スル所ノ店舗ノ衛生状態ヲ取締ルヘキ規定ヲ設クルノ權能ヲ有スルコト、肉類ヲ検査シ不良ト認定シタル肉類ヲ處分スル最後ノ方法ヲ實行シ、其他本條例ノ規定ヲ實行スル權能ヲ有スルコト是レナリ、而シテ肉類検査法ノ標準ハ合衆國農務局ノ規定ニ從ハンコト是レナリ

第九條 何人、何タル會社、何タル團體、若クハ斯ル會社等ノ役員、管理人又ハ雇人タルヲ問ハス左記ノ如キ行爲アラシキ者ハ、本條例違犯者トシテ處罰セラレヘキモノトス、曰ク桑港市及郡部衛生局カ或ル牛、犢、羊、仔羊、山羊若クハ豚、其他本條例第一條、第二條及第三條ニ記載サレタル或ル動物ノ屍體若クハ其體軀ヲ分チタル部分ヘ附シタル刻印若クハ其記號ヲ故意若クハ惡意ヲ以テ變造シ、拭ヒ消シ、塗抹シ若クハ偽造スルカ如キ行爲アルコト是レナリ

第十條 何人、何タル會社、何タル團體若クハ其管理人タルヲ問ハス、本條例ニ規定サレタル條項ノ何レ

ニカ違犯スルカ、若クハ右衛生局ノ役員等カ本條例ノ規定ヲ遂行センカ爲メニ發シタル指揮命令ニ從ハサル證憑充分ナランニハ、五十弗以上五百弗以内ノ罰金ニ處セラル、カ、十日以上三ヶ月以内ノ期間郡監獄ニ禁錮セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處罰セラル、コトアルヘシ

第十一條 本條例ニ違犯シ、本條例ノ規定ニ從ツテ桑港市及郡部衛生局ヨリ發シタル指揮ニ從ハサル事日々繼續シタリトセンカ、是レ日々新ナル犯罪者ト見做シテ一々別々ニ處罰セラルヘキモノトス

第十二條 從來ノ條例若クハ其條例中ノ一部分ニテモ本條例ニ抵觸スルモノハ皆ナ是レ自然消滅ニ歸スヘキモノトス

第十三條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セラル、モノトス

條例 六百五十五號

一千九百九年一月十三日ノ承認ニ係ル

肉類若クハ肉類食品中ニ染料、藥品若クハ防腐劑ヲ混入スルコトヲ禁ス

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ規程ヲ制定セリ

第一條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、左記ノ如キ肉類若クハ肉類食品ヲ販賣シ、販賣スヘク用意ヲナシ、販賣スヘク申出シ若クハ販賣センカ爲メニ所有スル者ハ共ニ是レ違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス、曰クスル肉類ヘ其榮養分ヲ減少スヘキ物質、或ル藥品、化學用品、染料若クハ防腐劑ヲ混入シタルモノ是レナリ、但通常ノ鹽、砂糖、酢、純香料若クハ硝石ヲ混スルカ如キハ此限ニアラス

第二條 本條例第一條ノ規定ニ基キテ肉類若クハ肉類食品ニ關シテ裁判事件トナリ證據物件トシテ其肉類ノ見本ニ就キテ審問ヲ遂ケント欲スル場合ニハ、其見本ヲ二重ニナシテ其一ハ被告自身カ、管理人カ若クハ雇人ノ所有シ居ランコトヲ要ス

第三條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、本條例ノ規定ニ違犯シテ其證憑充分ナランニハ、二十五弗以上五百弗以内ノ罰金ニ處セラル、カ、六ヶ月以内ノ期間郡監獄ニ禁錮セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處罰セラル、コトアルヘシ

第四條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セラル、モノトス

條例 七百二十一號

一千九百九年四月七日ノ承認ニ係ル

蟹、川蝦若クハ其他貝類ノ運搬、調理及販賣ニ關スル規定

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 何人ニ限ラス生蟹、川蝦若クハ其他ノ貝類ニシテ人ノ衛生上ニ適セサルモノヲ桑港市及郡部内ニ送致シ、送致セシメ若クハ齎ラシ來ラシメタランニハ、違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス



第二條 或ル蟹、川蝦若クハ其他ノ貝類ヲ人ノ食料トシテ調理セントスルノ際、活キテ居ラサルカ若クハ食料ニ適セサルモノナランニハ、之ヲ調理シテ販賣シ、販賣スヘク店頭杯ニ曝ラシ若クハ所有シ居ランカ是レ皆ナ違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス

第三條 調理シタル蟹、川蝦若クハ其他ノ貝類ヲ桑港市及郡部内ニ送致シ、持チ來リ若クハ持チ來ラシメタランニ、元是レ其調理ノ際四十分間以下熱湯ニ浸シタルカ、之ヲ送致スルニ適當ニ氷詰ニナサ、リシトセンカ、是レ違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス

第四條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、本條例ノ規定ニ違反シタル證憑充分ナランニハ、五百弗以内ノ罰金ニ處セラル、カ、六ヶ月以内ノ禁錮ニ處セラレ、若クハ罰金ト禁錮ト併セテ處罰セラル、コトアルヘシ

第五條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セラル、モノトス

命令 四十六號

一千八百九十八年一月廿一日ノ承認ニ係ル

桑港市及郡部内ニ於ル紙卷煙草製造所設立及維持ニ關スル規定

紙卷煙草製造所カ何等ノ牽制ヲ加ヘラル、コトナク勝手自儘ニ設立セラレテ其業務ヲ營マンカ、是レ公衆衛生及一般ノ安寧ヲ害シ又社會ノ怡樂幸福ヲ減殺スヘキモノナリ、此ニ於テカ

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 本命令發布後左記ノ如キ行爲アラン者ハ違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス、曰ク法律上規定サレタル條件ニ依ラスシテ桑港市及郡部内ニ於テ紙卷煙草製造所ヲ設立シテ紙卷煙草若クハ其他ノ種類ノ煙草ヲ製造スルモノ是レナリ

紙卷煙草製造所ヲ設立シテ其業務ヲ營マント欲スル者ハ、衛生官ヨリ其構内ノ衛生状態ニ關シテ認可證ヲ受ケサルヘカラス

第二條 桑港市及郡部内ニ於テ紙卷煙草製造所ヲ設ケテ其業務ヲ營マント欲スルモノハ、先ツ同市及郡部ノ衛生官ヨリ認可證ヲ受ケサルヘカラス、而シテ此認可證ニハ左ノ如キ事項ノ記載セラレタルモノト知ルヘシ、曰ク此製造所構内ノ換氣法ハ適當ニシテ能ク設備セラレ、其營業上ニ關スル諸設備完全ニシテ其近隣ヘ損害ヲ蒙ラシムルコトナク、衛生局ノ命令規則ニ能ク適合スルヲ以テ前ニ此認可證ヲ下附スルモノナリ

衛生官ヨリ下附スヘキ認可證、——此認可證下付ニハ手数料ヲ要セス

第三條 何人ニ限ラス桑港市及郡部内ニ於テ卷煙草製造業ヲ營マンカ爲メニ認可證下付願書ヲ提出シタラシ場合ニハ、衛生官タル其職責トシテ實地ニ就テ調査ヲ遂ケタル結果妨ケナシト認定シタランニハ認可證ヲ下付センコトヲ要ス、即チ衛生官カ斯ル願書ニ接シタランニハ其實地ニ就キ構内ノ下水ノ設備及衛

生状態如何、其他諸事衛生局ノ命令ニ適合シ居ルヤ否ナヲ視察シ其結果差支ヘナシト認定シタランニハ  
第二條ノ規定ニ從ツテ認可證ヲ下付センコトヲ要ス

右ノ如キ調査ヲ爲スニ就テ若干ノ費用ヲ要シ又認可證下付シテ幾許ノ費用掛ルトモ、下附手数料ヲ收ム  
ルコトヲ得ス

何人ニ限ラス傳染病ニ罹レル者ハ卷煙草工場ニ入りテ就業シ、睡眠シ、寄宿シ若クハ滯留スル  
コトヲ得ス

第四條 桑港市及郡部内ニ於テ卷煙草製造業ニ従事スル者ハ、傳染病ニ罹レル者ヲシテ卷煙草製造ニ従事  
セシムル目的ヲ以テ、其構内ニ働カシメ、睡眠セシメ、寄宿セシメ若クハ滯留セシムルコトヲ得ス

卷煙草工場内ニテ阿片ヲ喫セシムルコトヲ禁ス

第五條 桑港市及郡部内ニ於テ卷煙草製造業ニ従事スル者ハ何人ヲ問ハス、其所内ニ於テ就業スル者ヲシ  
テ阿片ヲ齎ラシ若クハ喫セシムルコトヲ得ス

卷煙草製造ノ室内ニ於テ睡眠シ若クハ食物ノ調理ヲ爲スコトヲ禁ス

第六條 桑港市及郡部内ニ於テ卷煙草製造所ヲ所有シ若クハ其業ニ従事スル者ハ、卷煙草製造ノ室内ニ於  
テ睡眠シ若クハ食物ヲ調理スルコトヲ得ス、違犯スル者ハ處罰セラル、モノトス

卷煙草ノ端末ヲ嚙ミ若クハ濕ホスノ目的ヲ以テ之ヲ兩唇ノ間ニ置キ若クハ口中ニ入ル、コトヲ

禁ス

第七條 桑港市及郡部内ニ於テ卷煙草製造所ヲ所有シ若クハ其業ニ従事スル者ハ、卷煙草ノ端末若クハ其  
他ノ部分ヲ兩唇ノ間ニ置キ若クハ口中ニ入ル、コトヲ得ス、好シ其目的ハ之ヲ嚙ミ、濕ホシ若クハ其外  
形ヲ正サントスルニアルニモセヨ、違犯スル者ハ處罰セラル、モノトス

含水ヲ以テ煙草ニ霧ヲ吹キ掛ケ若クハ水ノ容器ニ人ノ息ヲ吹キ掛ケテ煙草ヲ濕ホスコトヲ禁ス

第八條 桑港市及郡部内ニ於テ卷煙草製造所ヲ所有シ若クハ其業ニ従事スル者ハ何人ヲ問ハス、含水ヲ霧  
ノ如クシテ煙草ヲ濕ホシ若クハ水ノ容器ニ人ノ息ヲ吹キ掛ケ煙草ヲ濕ホスコトヲ得ス、違犯スル者ハ處  
罰セラル、モノトス

卷煙草製造室ノ床上ニ略痰スルコトヲ禁ス

第九條 桑港市及郡部内ニ於テ卷煙草製造所ヲ所有シ若クハ其業ニ従事スル者ハ何人ヲ問ハス、卷煙草製  
造室ノ床上ニ略痰スルコトヲ得ス、違犯スル者ハ處罰セラル、モノトス

煙草ヲ床上ニ乾燥スルコトヲ禁シ且ツ柵ノ用意ヲ爲サンコトヲ要ス

第十條 桑港市及郡部内ニ於テ卷煙草製造所ヲ所有シ若クハ其業ニ従事スル者ハ何人ヲ問ハス、既ニ濕氣  
ヲ含メル煙草ヲ床上ニ於テ乾カスコトヲ得ス、但之ヲ乾カサンニハ木製ノ柵ヲ造リ之ニ清潔ナル布片ヲ  
張リテ用フルカ、既ニ衛生局ノ承認ヲ經タル其他ノ方法ニ依ランコトヲ要ス、違犯スルモノハ處罰セラ

ル、モノトス

罰則

第十一條 桑港市及郡部内ニ於テ卷煙草製造所ヲ設立シ、之ヲ維持シ、其業務ヲ取ル者ハ何人ヲ問ハス、本命令ノ規定スル所ニ從ハスシテ其違犯ノ證憑充分ナランニハ、一百弗以内ノ罰金ニ處セラル、カ、六ケ月以内ノ禁錮ニ處セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處罰セラル、コトアルヘシ  
衛生官ヨリ下附サレタル認可證ハ最モ人目ニ觸レ易キ箇所ヘ掲ケ置カンコトヲ要ス

第十二條 本命令第二條ノ規定ニ從ツテ衛生官ヨリ下附サレタル認可證ハ、製造所内最モ人目ニ觸レ易キ箇所ヘ掲ケ置カンコトヲ要ス、又桑港市及郡部ノ官吏ハ一見セント申出テタランニハ、躊躇スルコトナク直チニ示ササルヘカラス

本命令實行ノ任ニ當ル衛生官

第十三條 衛生官ハ嚴重ニ本命令ノ規定ヲ實行セシムヘキ任ニ當ルヘキモノトス  
條 例 一千二十七號

一千九百三年十月廿七日ノ承認ニ係ル  
生、石、腦、油、ヨリ、瓦斯ヲ製造スル作業ノ維持ニ關スル規定

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、生石腦油ヨリ瓦斯ヲ製造スヘキ工場ヲ設クルカ若クハ設ケシメ之ヲ維持シ其業ヲ營マント欲スル時ハ、必ラス先ツ衛生監督局ヨリ之カ認可證ヲ受ケサルヘカラス、否ラスンハ違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス

第二條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、本條例ニ規定サレタル條項ノ何レニカ違犯シ其證憑充分ナランニハ、一百弗以上五百弗以内ノ罰金ニ處セラルルカ、三十日以上一百日以内ノ期間郡監獄ニ禁錮セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處罰セラルルコトアルヘシ、且ツ本條例中ノ何レニカ違犯シ其違犯事件カ毎日同一ニシテ繼續シタリトセンカ、是レ毎日別々ノ違犯事件トシテ本條例ノ規定ニ從ツテ處罰セラルルモノトス

第三條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セラルルモノトス  
條 例 一千二十八號

一千九百三年十月廿七日ノ承認ニ係ル

瓦斯作業實行ニ關スル規定

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、「イルミネーション」瓦斯製造事業ニ從事シタルモノニシテ左記ノ如キ行爲アランニハ違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス、曰ク或ル瓦斯「ターナル」若クハ

廢殘物ヲ公共ノ水路、下水、公街若クハ公共ノ場所ヘ打チ棄ツルコト、又瓦斯工場若クハ瓦斯管ヨリ危險ナル、健康上有害ナル瓦斯ヲ漏洩セシムルコト、若クハ「イルミネーション」瓦斯製造中何レノ箇所ヨリカ其瓦斯漏洩シテ人ノ生命及健康ヲ害セシムル如キ行爲是レナリ

第二條 「イルミネーション」瓦斯製造業ニ従事スル者ハ何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、其惡臭ノ漏洩セサル方法ヲ取ラサルヘカラス、但其方法ハ其筋ノ承認ヲ經タルモノナランコトヲ要ス

第三條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ同ハス、本條例規定ノ何レニカ違犯シテ其證憑充分ナランニハ五百弗以内ノ罰金ニ處セラルルカ、六ヶ月以内ノ期間郡監獄ニ禁錮セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處罰セラルルコトアルヘシ

第四條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セラルルモノトス

條例 八百六十九號

一千九百三年六月廿六日ノ承認ニ係ル

「コールドタル」若クハ類似ノ廢殘物ヲ公共ノ下水若クハ港灣内ニ棄ツルコトヲ禁ス

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、瓦斯製造所ヲ所有シ若クハ其業ヲ營ム者ニシテ左記ノ如キ行爲アリタランニハ、違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス、曰ク石炭若クハ石腦油ヨリ瓦斯ヲ製

造スルニ當リテ生スル所ノ廢殘物ヲ公街ニ於ケル公共ノ下水若クハ近傍ノ脇下水ヘ投シ若クハ流シ込ムカ如キ行爲アルモノ是レナリ

第二條 右ノ如キ廢殘物ヲ當市及郡部内ナル海岸ヨリ二千「ヤード」以内ナル港灣内ヘ流シ込ミ若クハ投棄スル者モ亦右同様違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス

第三條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、本條例ノ規定ノ何レニカ違犯シテ其證憑ノ充分ナランニハ、五百弗以内ノ罰金ニ處セラル、カ、六ヶ月以内ノ期間郡監獄ニ禁錮セラレ若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處罰セラル、コトアルヘシ

第四條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セラル、モノトス

條例 七百三十一號

一千九百九年四月十七日ノ承認ニ係ル

家畜飼育ニ關スル規定

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、桑港市及郡部内ニ於テ家畜ヲ飼育シ若クハ飼育セシメント欲スル者ハ、成規ノ手續ヲ踐マサルヘカラス、否ラスンハ違法者トシテ處罰セラル、モノトス

第二條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、家畜小屋ノ設立及維持ニ關スル本條例ノ規定ニ從フタ

ランニハ、當市及郡部内ニ於テ或ル牝牛ヲ飼育スルコトヲ得ヘシ

何人、何タル會社、何タル團體ニテモ毎二頭ニ付「エーカー」(凡ソ我四反餘ニ當ル)ツ、ノ場所ヲ有シ、且ツ其牛ニ接近シ易キ設備ヲ爲シタランニハ二頭若クハヨリ以上ヲ飼育スルコトヲ得ヘシ

本條例ノ規定ハ屠殺センカ爲メ一時留メ置クヘキ牝牛、若クハ他ヘ送致スヘキ牝牛ニハ適用スヘキモノニアラス

第三條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、本條例ニ規定セラレタル條項ノ何レニカ違犯シテ其證憑充分ナランニハ、五百弗以内ノ罰金ニ處セラル、カ、六ヶ月以内ノ期間郡監獄ニ禁錮セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處罰セラル、コトアルヘシ

第四條 一千九百五年二月七日ノ承認ニ係ル『家畜飼育規定』ト名ケラレタル一千四百九號ノ條例、其他本條例ト抵觸スル命令及條例ハ皆ナ是レ自然消滅ニ歸スヘキモノトス

第五條 本條例ハ一千九百十年八月一日ヨリ實行セラル、モノトス、——本條例ハ一千九百十年五月十日ノ承認ニ係ル一千六百七十七號ノ條例ノ改正ニ係ルモノ是レナリ

號 例 一千四百十號

一千九百五年二月七日ノ承認ニ係ル

豚ノ飼育ニ關スル規定

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、本條例第二條ノ規定ニ從ハスシテ桑港市及郡部内ニ於テ我ル豚ヲ飼育シ若クハ飼育セシメタランモノハ、違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス

第二條 桑港市及郡部中左ニ記載セル箇所ニ於テ他ヘ積ミ送ラントシ、他ヨリ積ミ來リ及將ニ屠殺セントスル豚ニ對シテハ本條例ヲ適用セサルモノトス

イスレーズ街ノ南線ト南第一街ノ南西線トノ交叉點ヨリ起リ、南第一街ノ南西線ヨリ南第一街ノ北東線ニ至ルノ間ノ如キ是レナリ

第三條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、本條例ニ規定サレタル條項ノ何レニカ違犯シテ其證憑ノ充分ナランニハ、五百弗以内ノ罰金ニ處セラル、カ、六ヶ月以内ノ期間郡監獄ニ禁錮セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處罰セラル、コトアルヘシ

第四條 一千九百四年五月廿六日ノ承認ニ係ル『豚及家畜飼育規定』ト名ケラレタル一千九百九十九號ノ條例、其他本條例ト抵觸セル命令及條例ハ皆ナ是レ自然消滅ニ歸スヘキモノトス

第五條 本條例ハ一千九百五年七月一日ヨリ實行セラル、モノトス

條 例 八百廿一號

一千九百三年六月十一日ノ承認ニ係ル

家畜屠殺場ノ維持及同居屠殺ニ關スル規定

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、左ニ規定サレタル區域ノ外當市及郡部内ニ於テ或ル屠殺場ヲ維持シ、若クハ牛、豚、犢、羊若クハ其他ノ動物ヲ屠殺スル者ハ違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス、而シテ所謂規定ノ區域トハケンタツキー街ノ東線ト南第一街ノ南西線トノ交叉點ヨリ起リ、同南第一街ノ南西線ヨリ南第一街ノ北西線ニ至ルノ間是レナリ

第二條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、本條例ニ規定サレタル條項ノ何レニカ違犯シテ其證憑ノ充分ナランニハ、五百弗以内ノ罰金ニ處セラル、カ、六ヶ月以内ノ期間郡監獄ニ禁錮セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處罰セラル、コトアルヘシ

第三條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セラル、モノトス  
條 例 一千二百三十一號

一千九百四年六月十五日ノ承認ニ係ル

食用犢屠殺及販賣ニ關スル規定

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規定ヲ制定セリ

第一條 何人ニ限ラス犢ノ體質良好ナル健康狀ニシテ生後四週間ヲ經タルモノニアラスンハ、人ノ食料ト

シテ當市内ニ於テ屠殺シ若クハ販賣スルコトヲ得ス

第二條 本條例ノ規定ニ從ツテ販賣シ若クハ販賣スヘク曝サレタルモノナランニハ、或ル物品若クハ動物カ或ル市場若クハ其他ノ箇所ニ於テ販賣スヘク申出サレ若クハ曝サレタルモ妨ケナキモノトス

第三條 何人ニ限ラス本條例ニ規定サレタル條項ノ何レニカ違犯シテ其證憑充分ナランニハ、五百弗以内ノ罰金ニ處セラル、カ、六ヶ月以内ノ期間郡監獄ニ禁錮セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處罰セラ  
ル、コトアルヘシ

第四條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セラル、モノトス

條 例 八百二十二號

一千九百三年六月十一日ノ承認ニ係ル

動植物ノ脂肪ヲ取り若クハ變形セシムル作業所ニ關スル規定

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、桑港市及郡部内ニ於テ動物ノ脂肪ヲ溶解シ若クハ植物ノ形狀ヲ變化セシムヘキ場所ヲ設ケテ其業ヲ營マント欲スルモノハ、其筋ヨリ規定サレタル區域内ニ限ラサルヘカラス、否ラスンハ違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス、而シテ所謂規定ノ區域内トハケンタツキー街ノ東線ト南第一街ノ南西線トノ交叉點ヨリ起リ、同南第一街ノ南西線ヨリ同北西線ニ至

ルノ間はレナリ

第二條 動物ノ脂肪ヲ溶解シ植物ノ形狀ヲ變化セシムルニ就テハ之ヲ熱セシメ之ニ蒸氣ヲ使用スヘク、從ツテ惡臭ヲ放チ嫌惡スヘキ瓦斯ヲ發スヘキカ故ニ、斯ル惡瓦斯惡臭ノ外部ニ洩レサル様適當ノ設備ヲ爲ササルヘカラス

第三條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、本條例ニ規定サレタル條項ノ何レニカ違犯シテ其證憑充分ナランニハ、五百弗以内ノ罰金ニ處セラルルカ、六ヶ月以内ノ期間郡監獄ニ禁錮セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處罰セラル、コトアルヘシ

第四條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セラル、モノトス  
條 例 一千二十九號

一千九百三十年十月廿七日ノ承認ニ係ル

下肥運搬車使用ニ關スル規定

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、下肥若クハ厩舎ノ廢殘物ヲ車ニ積ミテ他ニ運搬セントスル時ハ必ス衛生局ヨリ認可證ヲ受ケサルヘカラス、蓋シ此認可證ナルモノハ車臺ノ構造ヨリ其車ノ使用方法等ヲ承認シタルモノナリ、然ルニ斯ル認可證ヲ受ケスシテ斯ル運搬業ニ從事シタランニハ違法者

トシテ處罰セラル、モノトス

第二條 何人ニ限ラス左記ノ如キ行爲アラン者ハ違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス、曰ク規定ノ區域外ニ於テ下肥若クハ厩舎ノ廢殘物ヲ車ニ積ミ込ム事、若クハ斯ル車ヲ曳キ行ク途中ノ公街ニ下肥等ヲ落シ或ハ當市及郡部内ニ於ルケ所ニ於テ斯ル下肥若クハ厩舎ノ廢殘物ヲ車ヨリ積ミ下スカ如キ行爲アルコト是レナリ、但シ衛生局ノ許可ヲ得タル場合ハ此限ニアラス

第三條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス本條例ニ規定サレタル條項ノ何レニカ違犯シテ其證憑ノ充分ナランニハ、五百弗以内ノ罰金ニ處セラル、カ、六ヶ月以内ノ期間郡監獄ニ禁錮セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處罰セラル、コトアルヘシ

第四條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セラル、モノトス  
條 例 六十五號

一千九百年五月九日ノ承認ニ係ル

塵芥、灰、或ル種類ノ廢殘物及廢水ノ運搬車構造ニ關スル規定

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 塵芥、灰、若クハ或ル種類ノ廢殘物ノ運搬用ニ供セラル、車ハ其内部ヲ亞鉛張、鐵板若クハ其他ノ金屬ヲ以テ蔽ヒ最モ緻密ニシテ污水杯ノ漏洩セサル様造ラサルヘカラス、又タ車ノ上覆モ厚キ布製ニ

シテ或ル油ヲ引キ水ノ滲透セサルモノナラサルヘカラス、而シテ此上覆ハ當市ノ街路其他何レノ部分ヲ通過スルニモ常ニ取り除ケルコトヲ得ス、又此上覆ハ車ノ前後左右及隅々マテ能ク行キ亘ル様ニ覆フヘク尙ホ前後左右及隅々ニテ駢カト車臺ニ結ヒ付ケ置キ、物品ヲ積ミアル時ト取り卸シタル時トヲ問ハス常ニ覆ヒ置カサルヘカラス

第二條 廢水運搬車ハ其構造最モ緻密ニシテ毫モ廢水ノ外部ニ漏洩セサル様爲サンコトヲ要ス、又タ其上覆ハ蝶番作用ニテ密ニ鎖シ得ヘキ様設ケサルヘカラス、凡ソ廢水若クハ塵芥ノ運搬車ハ許可證ヲ受ケサル前衛生局ノ検査ヲ受ケサルヘカラス、——本條例ハ一千九百八年三月三日ノ承認ニ係ル三百七十號ノ條例ニ依リテ改正セラレタルモノ是レナリ

第三條 何人ニ限ラス本條例ニ規定サレタル條項ノ何レカニ違犯シテ其證憑充分ナランニハ、五百弗以内ノ罰金ニ處セラル、カ、六ヶ月以内ノ禁錮ニ處セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處罰セラル、コトアルヘシ

第四條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セラル、モノトス

條 例 一千八百五十八號

一千九百十二年四月三日ノ承認ニ係ル

塵芥、灰、若クハ或ル種類ノ廢殘物ノ運搬車構造ニ關スル規定

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條、塵芥、灰、若クハ或ル種類ノ廢殘物運搬ノ車ハ皆ナ是レ其内部ハ亞鉛、鐵板、若クハ其他ノ金屬ヲ以テ之ヲ被ヒ、汚水杯ノ外部ニ漏洩セサル様最モ緻密ナランコトヲ要ス、又タ斯ル車ニハ水ノ漏洩セサル厚布製ノ上覆ヲ用ヒンコトヲ要ス、而シテ此上覆ハ車ノ當市ノ街路ヲ過キ行ク時ト立チ留マル時トヲ問ハス、常ニ車ヲ覆ヒ居ラサルヘカラス、(但左ノ如キ場合ハ此限ニアラス、車ノ持主若クハ此車ニ就テ責任ヲ有スル者カ塵芥等ヲ此車ニ積ミ込マントスル場合ノ如キ是レナリ、尤モ此上覆ヲ爲サ、ル時間一回ニ付十分間以上ニ亘ルヲ許サス)又此上覆ハ車ノ前後左右及隅々マテ能ク行キ亘ル様ニ覆フヘク尙ホ左右前後及隅々ニテ駢カト車臺ニ結ヒ付ケンコトヲ要ス、既ニシテ此車カ塵芥燒却所ニ達ンテ塵芥等ヲ全ク取り下シタランニハ、車ノ兩脇及下底等水ヲ以テ能ク洗ヒ淨メテ毫モ惡臭ノ留マラサル様清潔法ヲ行ハサルヘカラス、斯ク爲シタランニハ塵芥燒却所ヨリ持主ノ許マテ引キ返ランニハ上覆ナクトモ妨ケナキモノトス、然レトモ右ノ如キ清潔法ヲ行ハサル場合ニハ好シ塵芥等ヲ取り卸スモ上覆ヲ爲サ、ルヘカラス

條 例 三百五十七號

一千九百八年二月五日ノ承認ニ係ル

塵芥蒐集、金屬製ノ塵芥箱ニ蓋ヲ要シ、塵芥ヲ速カニ他ニ送致スルコトニ關スル規定、及掃除



八、用荷車ノ認可證取消ニ關スル規定

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 塵芥ノ生スヘキ屋敷ヲ有スル人、會社、若クハ團體ハ、本條例發布以來總テノ塵芥（後段ニ説明スヘシ）ヲ水ノ漏洩セサル金屬製ノ箱ニ入レンコトヲ要ス、而シテ此塵芥箱ニハ密閉シ得ヘキ金屬製ノ蓋ヲ常ニ爲シ置カンコトヲ要ス、又タ此塵芥箱ニ溜リタル塵芥ハ少ナクモ一週間ニ一回掃除人ニ取リ拂ハシメサルヘカラス、蓋シ此掃除人ト云ヘルハ『掃除人ハ掃除用ノ荷車ニ關スル認可證ヲ有セサルヘカラス』ト名ケタル七百七十五號ノ條例ノ規定ニ從ツテ衛生局ヨリ成規ノ認可證ヲ有シ居ランコトヲ要ス

第一條(イ) 或ル家屋建築若クハ修繕ヲ爲サントスル契約者若クハ建築師タラン者ハ、其新築若クハ修繕ノ家屋内或ハ其家屋ノ側ニ塵芥箱ヲ設ケ置カサルヘカラス、此塵芥箱ハ金屬製ニシテ水ノ外部ニ漏洩セサル様造ルヘク而シテ其家ノ召使僕婢等ノ食餘ノ廢殘物其他ノ汚物等ヲ一時入レ置クヘキ所トス、又タ此塵芥箱ニハ常ニ密閉セラルヘキ蓋ヲ爲シ置カンコトヲ要ス、但塵芥ノ出シ入レヲ爲ス場合ハ此限ニアラス

第一條(ロ) 水ノ外部ニ漏洩セサル金屬製ノ塵芥箱ト云ヘルハ其材料ノ鐵ニ「ガルヅハニ」鍍金ヲ爲シタルモノカ、若クハ衛生局ノ承認シタル材料ヲ以テ造ランコトヲ要ス、斯クテ衛生局ヨリ掛員カ出張シテ檢

分ノ上検査濟ノ焼印ヲ捺スカ其他承認ノ徽號ヲ付スヘキモノトス、何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス右ノ如キ焼印若クハ徽號ナキモノヲ塵芥箱トシテ販賣シ若クハ販賣スヘク申シ出スコトヲ得ス、——本條ハ一千九百十三年五月廿一日ノ承認ニ係ル二千二百八十一號ノ條例ニ依リテ追加セラレタルモノ是ナリ

第二條 第一條ノ規定ニ從ツテ塵芥蒐集ノ業ニ從事スルモノハ、塵芥箱ニ溜リタル塵芥ヲ取リテ塵芥蒐集用ノ荷車ニ移シテ塵芥ヲ處分スヘキケ所ヘ運ヒ行カンコトヲ要ス、若シ塵芥蒐集業者ニシテ斯ル規定ニ違反シタランニハ、衛生局ハ七百七十五號ノ條例ノ規定スル所ニ從ツテ其營業認可證ヲ取リ上ケンコトヲ要ス

第三條 本條例ノ所謂『塵芥』トハ概ネ左ノ如キモノ、意義ナリト知ルヘシ、曰ク人ノ居所、料理店、旅館、其他人ノ食料品ヲ調理スル箇所ノ庖厨ヨリ生スル所ノ廢殘物。魚類、肉類及野菜類ノ市場ヨリ生スル廢殘物。其他直チニ腐敗スヘキ食料品ニシテ到底人ノ食料ニ適セサル物等之ヲ總稱スルノ謂是レナリ

第四條 第二條ノ規定ニ從ツテ塵芥蒐集業者ハ管ニ認可證ヲ取リ上ケラル、ノミナラス、衛生局ハ之ニ加ヘテ尙ホ左記ノ如キ權能ヲ有スルモノトス、曰ク塵芥蒐集業者ヲ相手取リテ其不都合ナル所業ノ訴訟ニ接シタル時、衛生局ハ審理ノ末彌ヨ其不都合ナル所業アリシ事實ヲ見出シタランニハ其認可證ヲ取

ヲ上ケヘク、又衛生局ヨリ發シタル或ル衛生規則ニ違犯シタランニハ同シク其認可證ヲ取リ上ケルカ如キ權能ヲ有スルコト是レナリ

第五條 警察署々員及衛生局々員ハ特ニ本條例ノ規定實行ノ任ニ當ルヘク、或ル家屋及總テノケ所ニ入り込ミテ其衛生狀態如何ヲ視察スヘキ權能ヲ有スルモノトス、若シ斯ク視察セントスル場合ニ之ヲ拒絕スルカ妨碍シタランニハ成規ノ處罰ヲ受クヘキモノトス

第六條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、本條例ニ規定セラレタル條項ノ何レニカ違犯シテ其證憑充分ナランニハ、五百弗以内ノ罰金ニ處セラル、カ、六ヶ月以内ノ期間郡監獄ニ禁錮セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處罰セラル、コトアルヘシ

第七條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セラル、モノトス  
條例 五十號

一千九百年四月十日ノ承認ニ係ル

魚市場ノ塵芥及廢殘物除却時間ニ關スル規定

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 卸賣魚市場ヨリ生スル塵芥及廢殘物若クハ他ノ市場ニ魚類ヲ配賦スヘキ箇所ノ廢殘物等ハ、其日ノ午後五時ヨリ翌日ノ午前八時マテノ間ニ除却センコトヲ要ス

第二條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、本條例ニ規定サレタル條項ノ何レニカ違犯シテ其證憑充分ナランニハ、二十五弗以内ノ罰金ニ處セラル、カ、廿五日以内ノ期間禁錮セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處罰セラル、コトアルヘシ

第三條 本條例ニ抵觸スヘキ從來ノ諸命令若クハ其命令ノ或ル部分ハ自然消滅ニ歸スヘキモノトス  
第四條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セラル、モノトス

命令 十二號

一千八百九十七年十一月四日ノ承認ニ係ル

塵芥、屠畜者ノ廢殘物若クハ腐敗シタル物ヲ桑港市及郡部内ノ或ル地上、若クハ同市及郡部内ノ或ル水上、波戶場等ヘ投棄スルコトヲ禁シ、且ツ此等ノ塵芥廢殘物等ヲ燒却シ及滅却スルコトニ關スル規定及關係役員ノ職責

塵芥、廢殘物、家庭ヨリ生スル廢物、動植物ノ腐敗シテ惡臭ヲ放テルモノ、灰、鐵滓、軟泥等ヲ或ル地上及人ノ所有地等ニ堆積セシメ、殊ニ投棄スルノ習慣アリ、是レ公衆衛生上ニ甚タシキ害アルモノナリトテ、最近二十年間此惡弊ヲ除却センカ爲メ種々ノ方法手段ヲ回ラシタリ  
斯クテ此等ノ惡弊ヲ除却スルノ一方法トシテ砂ヲ以テ此等ノ塵芥廢殘物ヲ蔽ヒ隠スコト、シタリ、然レトモ是レ畢竟スルニ姑息策タルニ過キス、其塵芥不潔物ハ好シ砂ヲ以テ蔽ハレタリト雖モ是レヨリ

有害ナル瓦斯ノ發生スルハ數ノ免カレサル所ナリ、是レ公衆衛生ヲ害スルニ甚ハタシキモノニシテ、傳染病流行ニ際シテハ其病原地タラスンハアラス、我々良民ノ衛生上ノ大害ト云ハサルヘカラス、斯クテ衛生局ハ塵芥廢殘物ノ堆積スル地方ニ關シテハ隨時之カ取締法ヲ嚴重ニシテ、此等ノ塵芥廢殘物ニ燒却法ヲ鼓吹シテ公衆衛生上ノ保護ニ勉メタルコト一再ニ止マラサリシナリ

塵芥廢殘物處分法ノ適當ナルモノヲ得テ公衆衛生上ノ害毒ヲ除却セントテ種々思慮ヲ回ラシタル末、衛生局ハ一千八百九十六年二月十七日ノ議決ニ係ル二千九百六十五號ノ命令ヲ以テ左ノ如キ方法ヲ設ケタリ、曰ク桑港市及郡部ヲシテ塵芥燒却及滅盡法ヲ行ヒ得ヘキ特許權ヲ賣ラシムルコト、定メタルコト是レナリ

既ニシテ右ノ如キ特許權ヲ得タル者カ其規定ニ從ツテ、彼ノ塵芥廢殘物等ヲ受ケ取りテ之ヲ燒却シ滅盡シタル事實ヲ衛生局ニ報告シタリシナリ、故ニ

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、一千八百九十七年十一月八日以後ハ左記ノ如キ行爲アルヲ許サス、曰ク濫リニ塵芥廢殘物ヲ桑港市及郡部内ニ於ル或ル街路、或ル地區或ル地上ニ積ミ置キ若クハ投棄シ或ハ積ミ置カシメ投棄セシムル事、或ハ斯ル塵芥廢殘物ヲ或ル水面又ハ港灣内ヘ投棄スル事尙ホ之ヲ詳言センニ或ル家庭ヨリ生スル廢殘物、屠畜者ノ廢殘物、塵芥、灰、燃殻、泥滓、硝子ノ碎片、

毀レタル土器、動物ノ死體、腐敗シテ惡臭ヲ放テル動植物、其他衛生局ヨリ人ノ食料ニ適セスト言ヒ渡シ魚類等ヲ積ミ置キ若クハ投棄スル等ノ行爲是レナリ

右ニ掲ケタル塵芥廢殘物ハ塵芥燒却所ニ送致シテ適當ニ處分セシメンコトヲ要ス、但シ其送致費用ハ廢殘物ヲ生シタル人、會社、若クハ團體ノ自辨タルヘキモノトス

罰則、——警察長官ノ職責

第二條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、本命令ノ條項ニ違犯シテ其證憑充分ナランニハ、二百五十弗以内ノ罰金ニ處セラル、カ、一百日以内ノ期間禁錮セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處罰セラルコトアルヘシ、而シテ警察長官タルモノハ其職責トシテ其部下ノ者ニ命令ヲ下シテ、本命令ノ條項ニ違犯シタル者ヲ捕縛シ以テ處罰センコトヲ要ス

衛生局ハ命令ノ實行ニ就テ幫助センコトヲ要ス

第三條 衛生局ハ其職責トシテ本命令ノ條項ヲ實行セシメンカ爲メニ種々ノ手段方法ヲ回ラセンコトヲ要ス

第四條 本命令ノ條項ニ抵觸スヘキ第二千三百號ノ命令及其他ノ命令ハ皆ナ共ニ自然消滅ニ歸スヘキモノトス

條例 一千八百七十四號

一千九百十二年四月十六日ノ承認ニ係ル

碎片及廢殘物ヲ除却シ以テ空地ヲ清潔ニセンコトヲ要ス

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 凡ソ桑港市及郡部内ニ於テ空地ヲ有スル者ハ、其空地ニアル所ノ種々ノ碎片及廢殘物ヲ除却センコトヲ要ス、乃チ其筋ヨリ除却スヘキ通告ヲ受ケテヨリ三十日以内ニ除却セサルヘカラス、且ツ此除却通告書ハ警察署ヨリ其空地ノ所有者若クハ管理人ニ交付センコトヲ要ス、若シ斯ル所有者若クハ管理人ノ不分明ナル場合アラシニハ、此空地ニ於テ最モ人目ニ觸レ易キ箇所ヲ擇ンテ右ノ次第ヲ揭示センコトヲ要ス

第二條 右ノ如キ塵芥廢殘物ヲ堆積シ置クコトハ衛生上ニ害アルコト揭示センコトヲ要ス

第三條 警察署ハ自カラ責任ヲ以テ本條例實行ノ衝ニ當ランコトヲ要ス

第四條 其筋ヨリ塵芥廢殘物除却ノ通告ヲ受ケテヨリ、三十日以内ニ怠リ若クハ嫌疑シテ實行セサル者アリテ其證憑充分ナランニハ、一百弗以内ノ罰金ニ處セラルカ、一ヶ月以内ノ期間郡監獄ニ禁錮セラレ若クハ罰金ト禁錮ト併セテ處罰セラル、コトアルヘシ

第五條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セラル、モノトス

條例 三千三百號

一千九百十五年六月廿五日ノ承認ニ係ル

桑港市及郡部内ニ公立洗濯所ヲ建設シ及維持スルニ就テノ規定、而シテ本條例ニ牴觸スル從來ノ條例ハ皆ナ是レ自然消滅ニ歸スヘキモノトス

賃錢ヲ得テ衣服其他ノ物ヲ洗濯スヘキ公立洗濯所カ、何等ノ取締法ナク濫リニ設立セラル、トセンカ、是レ公衆衛生上ニ害アリ、且ツ社會一般ノ怡樂安寧ニ惡影響ヲ及ホスモノト謂フヘキナリ、此ニ於テカ

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、桑港市及郡部内ニ於テ或ル屋舎若クハ屋敷内ニ公然タル洗濯所ヲ設ケテ、相當ノ賃錢ヲ得テ人ノ衣服其他ノ物ヲ洗濯セントスル時ハ、先ツ第一ニ衛生監督局ノ認可證ヲ受ケサルヘカラス、否ラスンハ違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス

第二條 洗濯所開設ニ就テノ認可證ハ當市及郡部ノ衛生官ヨリ適當ナル報告ニ接スルカ、若クハ之ヲ認可スルモ決シテ妨ケナキ確實ナル設備行キ届キ居ルニアラスンハ下付セサランコトヲ要ス、今マ洗濯所ニ必要ナル設備ノ概略ヲ舉レハ左ノ如シ、曰ク下水疏通上ニ毫モ妨ケナキ事、其業務取扱上ニ於テ近隣ノ衛生状態ニ惡影響ヲ及ホサル事、洗濯業ニ關係セル命令及條例ニ違反スルコト之レナキ事、其外當市及郡部ノ消防署々長ノ報告ニ依ルモ此洗濯所ノ「ストーブ」、煙突、洗濯ニ要スヘキ總テ器械等能ク整頓

シ居リテ近隣ニ害ヲ及ボサ、ル事能ク判明シ、又タ本條例ノ規定ニ違フコト更ニ之レナキ等ノ如キ是レナリ、右ノ如キ状態ニアラスンハ認可證ヲ下付スヘカラサルモノトス

第三條 洗濯所ヲ設立シ之ヲ維持シ其業務ヲ營メント欲シテ之カ認可證下付願ヲ差シ出シタルモノアラシ場合ニハ、衛生監督局若クハ同局ノ或ル委員會ハ衛生官及消防署長官ニ依頼シテ出願人ノ諸設備如何ヲ調査セシメントコトヲ要ス、而シテ斯ク依頼ヲ受ケタル衛生官及消防署長官其職責トシテ實地ニ就キテ、出願人ノ諸設備カ條例ノ規定セラル、通りニ相違ナキヤ否ナヲ調査シテ衛生監督局等へ復命センコトヲ要ス

右ノ如ク衛生官等カ實地ニ就テ調査ヲ爲シ又タ之ヲ報告スルニ就テハ報酬ヲ爲スヘキモノニアラス、スル調査事件モ概ネ無報酬ナリト知ルヘシ

第四條 衛生監督局カ右ノ認可證ヲ交付シ、之ヲ拒絶シ若クハ既ニ與ヘタルモノヲ取り上クルニ就テハ、決シテ輕卒ニ之ヲ取り扱フヘキモノニアラス、充分ニ事實ノ審問ヲ遂ケタル上、確乎トシテ動カスヘカラサル理由ノ下ニ處分セサルヘカラス

第五條 公立洗濯所ヲ設立シ之ヲ維持シ之ヲ經營シ得ヘキ認可證ヲ得タルモノハ、決シテ之ヲ他ニ譲リ渡スコトヲ得ス

第六條 右ノ如キ手續ヲ經テ一旦交付サレタル認可證ト雖モ左ノ如キ場合ニ於テハ取り上ケラルヘキモノトス、曰ク斯ル洗濯所ノ行動ニ關スル或ル條例ノ規定ニ違犯スルカ、桑港市及郡部ノ普通命令ニ違犯スルカ如キコト是レナリ

第七條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、桑港市及郡部内ニ於テ公然洗濯業ヲ營メル者ハ左ノ如キ行爲アルヲ許サス、曰ク苟クモ傳染病ニ罹リ居ル者ヲシテ其洗濯所内若クハ其構内へ下宿セシメ、睡眠セシメ、滞在セシムルカ如キコト是レナリ

第八條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、桑港市及郡部内ニ於テ公然洗濯所ヲ設立シ之ヲ維持シ其業ヲ營ム者ニシテ左記ノ如キ行爲アルモノハ、違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス、曰ク其洗濯所ノ一部分若クハ附屬家ヲシテ公開所トナシ、直接ト間接トヲ問ハス特種ノ傳染病ニ罹レル者、若クハ嫌悪スヘキ疾病ニ罹レル者ニ時々貸シ與フルカ、又タ直接ト間接トヲ問ハス不品行ノ所業アル者若クハ法律違犯ノ所爲アル者ノ巢窟ト爲スカ如キ行爲アルコト是レナリ

第九條 本條例第一條ニ規定セラレタル公立洗濯所ノ所有者若クハ其業ニ従事スル者ハ午後六時ヨリ翌日ノ午前七時ニ至ルマテノ期間ハ如何ナル洗濯業ニモ就クコトヲ得ス

第十條 公立洗濯所ノ窓ハ其構造公街ノ方面ニ向ツテ開クヘシ、而シテ街路ノ方ヨリ内部ノ有様充分ニ見通シノ出來得ヘキ様爲シ置カサルヘカラス、是レ他ナシ本條例第九條ニ規定サレタル禁止時間内ニ就業スルモノアルヤナキヤヲ見易カラシメンカ爲メナリ、故ニ如何ナル窓掛窓覆モ之ヲ爲スコトヲ許サス

第十一條 衛生監督局ハ本條例中如何ナル點ニテモ隻言一句タリトモ、事實ニ徴シテ不都合ナリト思惟シ  
タランニハ適當ニ改正センコトヲ要ス

第十二條 桑港市及郡部内ニ於ル或ル家屋若クハ屋敷地ヲ所有スル者、之ヲ賃借スル者、之ニ現住スル者  
之ヲ管理スル者、或ハ或ル會社若クハ團體ノ長、監督若クハ支配人タル者ハ、皆ナ是レ本條例ノ規定ス  
ル所ニ違犯シ若クハ此等ノ規定ニ頓着スルコトナク、其家屋内若クハ屋敷地内ニ公立洗濯所ヲ設立シ、  
之ヲ維持シ、其業ヲ營マシムルコトヲ許サス、犯ス者ハ違法者トシテ處罰セラル、モノトス

第十三條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、本條例ニ規定サレタル條項ノ何レニカ違犯シテ其證  
憑ノ充分ナランニハ、五百弗以内ノ罰金ニ處セラル、カ、六ヶ月以内ノ期間郡監獄ニ禁錮セラレ、若ク  
ハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處罰セラル、コトアルヘシ

第十四條 百四十四號、三百十四號、二千二百九十八號、二千六百六十八號ノ諸條例、一千八號ノ條例ノ  
一部分ハ皆ナ是レ本條例ト抵觸スルカ故ニ自然消滅ニ歸スヘク、其他本條例ト抵觸スル從來ノ條例モ均  
シク自然消滅ニ歸スヘキモノトス

第十五條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セラル、モノトス

條例 百三十八號

一千九百年九月八日ノ承認ニ係ル

『地下室』ノ定義、或ル建物ノ下層部、或ル室ノ床ニ濕氣アルカ、健康上有害ナル瓦斯、惡臭等  
ノ發スルアルカ、地下室、浴室、便所ヲ有スル室、換氣法不完全ナルカ、下水疏通不十分ナル  
カ、其他人ノ生命健康上ニ有害ナル箇所等皆ナ是レ人ノ居所トシテ賃貸スルコトヲ禁ス

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 『地下室』ノ定義ヲ示サハ概ネ左ノ如シ、曰ク或ル建物ノ下層室、下層部ニシテ其床ヨリ天井マテ  
ノ高サノ半ハ若クハヨリ以上ノ箇所カ其隣接セル街路ノ平準面ト同一ナルモノ、之ヲ總稱シテ『地下室』  
ト云フ

第二條 或ル建物若クハ建物中ノ幾部分ノ所有者、賃借人、現住者若クハ其管理人タル者カ居所若クハ  
下宿所トシテ他ニ賃貸シタランカ、是レ違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス、但シ斯ル建物若クハ其  
幾部分ノ光線射入、換氣法及清潔法等本州ノ法律若クハ衛生局ヨリ發シタル條例ノ規定スル所ニ全ク適  
合シタル場合ハ此限ニアラス、尙ホ右ノ如キ所有者若クハ賃借人等ニシテ其一部分ヲ他ニ賃貸スヘキ權  
能ヲ有スルモ、居所若クハ睡眠所トシテ他ニ賃貸スルコトヲ得ス、但シ其天井マテノ高サノ内少ナク  
モ二呎カ隣接セル街路ノ平準面ト併行シ居タラン場合ハ此限ニアラス、又タ建物ノ下層ノ部分ノ床カ地  
上ノ水氣ノ爲メニ濕潤セルカ、若クハ健康上有害ナル瓦斯惡臭等ノ發スル箇所ハ之ヲ他ニ賃貸スルコト  
ヲ得ス

第三條 或ル建物若クハ其幾部分ノ所有者、賃借者、現住者若クハ其管理人タル者ハ或ル人ヲシテ其地下室ニ眠リ若クハ留マラシムルコトヲ得ス、又浴室其他便所ヲ有スル或ル室、換氣法及下水疏通法等不充分ニシテ人ノ生命健康上ニ害アル箇所モ亦タ然リ

第四條 本條例ニ規定サレタル條項ノ何レニカ違犯シテ其證憑ノ充分ナランニハ、五百弗以内ノ罰金ニ處セラル、カ六ヶ月以内ノ期間郡監獄ニ禁錮セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處罰セラル、コトアルヘシ

第五條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セラル、モノトス  
條 例 百六十二號

一千九百年十月十六日ノ承認ニ係ル  
下水ノ出口若クハ下水溜ヨリ一千呎以内ニ生シタル又ハ生シ得ヘキ野菜類、或ハ靜止シテ流動セサル水其他汚水ノ滯リ居ル所若クハ衛生上有害ナル物質ノ堆積シタルケ所ヨリ同シク一千呎以内ニ生シタル植物ヲ食料トシテ販賣スヘク申出シ、販賣センカ爲メニ蓄ヘ置キ、之ヲ他ニ交付シ分配スルコトヲ禁ス

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 何人モ左ノ如キ行爲アルヲ許サス、曰ク下水ノ出口若クハ下水溜ヨリ一千呎以内ニ生シタル又ハ

生シ得ヘキ野菜類、或ハ靜止シテ流動セサル水其他汚水ノ滯リ居ル所若クハ衛生上有害ナル物質ノ堆積シタル所ヨリ同シク一千呎以内ニ生シタル植物ヲ蒐集シ、販賣シ、販賣スヘク申出シ、販賣センカ爲メニ蓄ヘ置キ、若クハ之ヲ他ニ交付シ分配スルカ行爲アルヲ許サ、ルコト是レナリ

第二條 本條例ニ規定サレタル條項ノ何レニカ違犯シテ其證憑充分ナランニハ、五百弗以内ノ罰金ニ處セラル、カ六ヶ月以内ノ期間禁錮ニ處セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處罰セラル、コトアルヘシ

第三條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セラル、モノトス  
條 例 三百五十四號

一千九百一一年九月十三日ノ承認ニ係ル  
當市及郡部内ノ或ル區域ニ於テハ敷物製造所、製革所若クハ廢毛利用製造所ヲ設立スルコトヲ得ス、而シテ斯ル製造所ヲ設立シ得ヘキノ指定

敷物製造所、製革所及廢毛利用製造所ノ設立ヲ當市中住宅ノ多キケ所ニ爲サンハ、公衆衛生上ニ害アリ、延イテ社會ノ幸福安寧ヲ減損シ、其近傍ノ地價ニモ影響ヲ及ホスヘキモノト謂ツヘシ、此ニ於テカ

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規定ヲ制定セリ

第一條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、當市及郡部内ニテ左ニ記載スル區域内ニ於テハ敷物製

造所、製革所及廢毛利用製造所ヲ設立スルコトヲ得ス、違犯スルモノハ處罰セラルヘキモノトス、

(譯者曰ク此設立禁止區域内ト云ヘルハ何々街ヨリ何々街ニ至ルノ間、若クハ何々町ヨリ何々町ニ至ルノ間ト定メラレタルモノニシテ今マ一々之ヲ掲ケス、市郡中住宅多キ重モナルケ所ト見レハ過チナカルヘシ)

第二條 本條例ハ當市及郡部ニ於テ既ニ從來設立セラレテ營業シ居ルモノニ對シテ適用スヘキモノニアラス

第三條 本條例ニ規定セラレタル條項ノ何レニカ違犯シテ其證憑充分ナランニハ、五百弗以内ノ罰金ニ處セラル、カ六ヶ月以内ノ期間禁錮ニ處セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處罰セラル、コトアルヘシ

第四條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セラル、モノトス

條例 五百七十四號

一千九百二年十月十一日ノ承認ニ係ル

製造ノ原料タル廢毛ノ消毒ニ關スル規定

製造ノ原料タル廢毛ノ消毒ヲ爲スニアラスンハ公衆衛生上ニ害アルヘキナリ、此ニ於テカ

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、廢毛ヲ以テ一種ノ織物ヲ製造セント欲スル場合ニハ、

必ラス先ツ其材料ヲ消毒セサルヘカラス、其消毒法トシテハ空氣ノ毫モ漏洩セサル室内ニ於テ「ホルマリン」瓦斯ヲ少ナクモ五十封度ノ壓力ニテ用フルカ、若クハ少ナクモ華氏三百二十度ノ溫度ヲ有スル蒸氣力ヲ用ヒンコトヲ要ス、若シ斯ル消毒法ヲ行ハスシテ此種ノ製造業ニ從事シタランニハ、違法者トシテ處罰セラル、モノトス

第二條 廢毛利用製造所ニ於テ使用スル所ノ器械類、此等ノ製造所、其製品ヲ貯ヘ置クヘキケ所、之ヲ販賣スヘキケ所、或ハ其原料ヲ貯ヘ置ク所、之ヲ販賣スヘキケ所ハ、何時衛生局若クハ局員カ臨檢スルヤモ計ラレズ、其際毫モ臨檢ニ差支ナカランコトヲ要ス

第三條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス廢毛利用製造業、廢毛販賣、若クハ廢毛貯藏ヲ爲シ居ル者ハ、本條例發布ヨリ三十日以内ニ衛生局ヘ其姓名若クハ會社名及所在地等ヲ届ケ出テ之カ認可證ヲ受ケサルヘカラス、否ラスンハ斯ル業務ニ從事スルコトヲ得ス

第四條 廢毛纖維カ桑港市及郡部以外ニテ製出セラレ而シテ同市及郡部内ニ齎ラシ來リタル場合アリトセシカ、斯ル場合ニ於テハ之ヲ販賣シ、販賣スヘク何レノケ所ニカ之ヲ曝ラシ、或ル工場、倉庫若クハ其他ノケ所ヘ貯藏セサルニ先ンシテ消毒センコトヲ要ス、而シテ其消毒法ハ五十封度ノ壓力ニテ「ホルマリン」瓦斯消毒ニ附スルカ、少ナクモ華氏ノ溫度三百二十度ノ蒸氣消毒ニ依ランコトヲ要ス、但斯ル消毒法ハ何レモ毫モ空氣ノ外部ニ漏洩セサル室内ニ於テ實行スヘキモノトス



第五條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、本條例ニ規定サレタル條項ノ何レニカ違犯シ、之ヲ實行スルコトヲ怠リ若クハ之ヲ拒否シテ其證憑充分ナランニハ、二十五弗以上五百弗以内ノ罰金ニ處セラレ、カ五日以上六ヶ月以内ノ期間郡監獄ニ禁錮セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處罰セラル、コトアルヘシ

第六條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セラルルモノトス  
條 例 三百八十四號

一千九百八年三月十八日ノ承認ニ係ル

野兔、家兔、豚、鶏、七面鳥、鴛鳥、家鴨、鳩、其他禽類飼養ニ關スル規定

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、桑港市及郡部内ニ於テ自カラ管理スヘキ屋敷内ニ野兔、家兔、豚、雞、七面鳥、鴛鳥、家鴨、鳩、其他禽類ヲ飼養セントスル時ハ必ラス左ノ規定ニ從ハサルヘカラス、否ラスンハ違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス

(一) 斯ル動物ヲ收容スヘキ時若クハ園地ノ床ハ厚サ二吋ヲ下ラサル「コンクリート」製ニシテ其上部ハ厚サ一時半ヲ下ラサル「セメント」若クハ厚サ一時ヲ下ラサル「アスハルト」ヲ以テ覆ハンコトヲ要ス

(二) 右ノ時若クハ園地ノ周邊ハ煉化石若クハ「コンクリート」ノ外圍ヲ爲サンコトヲ要ス、但其厚サハ少ナクモ五吋ニシテ高サ一呎ナルヘキモノトス

(三) 右ノ時若クハ園地ノ周邊ハ尙ホ其外「カルパニ」鍍金鐵製ノ金網ヲ張ルヘク、而シテ其高サハ地上ヨリ六呎ナルヘク又其網ノ目ノ大サハ徑半吋以下タランコトヲ要ス

時若クハ園地ニ就テハ右ノ如キ制限アリト雖モ、日出ヨリ日没マテハ時若クハ園地ヨリ出テ來リテ飼養者ノ屋敷内ヲ自由ニ遊ハシムルハ妨ケナキモノトス、但其期間ハ時若クハ園地ノ出入口ヲ鎖シ置カサルヘカラス

(譯者曰當市及郡部内ニ於テ斯ル時若クハ園地ヲ設立スルニモ夫々區域ヲ制限セラレタルカ、此制限區域ハ略スルコト、セリ)

第二條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、野兔、家兔、雞、七面鳥、鴛鳥、家鴨、鳩、其他禽類ノ爲メニ何レノヶ所ヘモ持チ運ヒノ出來得ヘキ時ヲ造リテ之ヲ飼養スルコトヲ得ス、違犯スル者ハ違法者トシテ處罰セラル、モノトス、但其時ノ構造ニシテ下底及周邊共ニ金屬製ニシテ其高サ少ナクモ一呎アリテ、尙ホ其上部ヲ金網製ノ籠(網ノ目ノ徑半吋ナリトス)ヲ以テ蔽フタルモノハ此限ニアラス

第三條 本條例ニ規定サレタル條項ノ何レニカ違犯シテ其證憑ノ充分ナランニハ、五百弗以内ノ罰金ニ處セラル、カ六ヶ月以内ノ期間郡監獄ニ禁錮セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處罰セラル、コトアル

ヘシ

第四條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セラル、モノトス

條 例 八百五十七號

桑、港、市、及、郡、部、内、ニ、於、テ、ハ、土、棲、栗、鼠、ヲ、輸、入、シ、販、賣、シ、若、ク、ハ、所、有、ス、ル、コ、ト、ヲ、禁、ス

桑港市及郡部ニ於テ「ベスト」撲滅方法ヲ實行スヘキ任ニ當レル合衆國衛生官ハ、セレトラ、コスタ  
アラメダ、ロス、アンゼラス等ノ郡部ニ於テ土棲栗鼠ノ「ベスト」ニ感染シタル事實アルヲ知リタル  
ヨリ、桑港市及郡部ニ於テハ土棲栗鼠ノ輸入及販賣ヲ禁止スヘキ事ヲ忠告シタリ、桑港市及郡部ノ衛  
生局ハ此忠告ヲ容レテ

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規定ヲ制定セリ

第一條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、桑港市及郡部内ニ他ヨリ或ル土棲栗鼠若クハ其他ノ栗  
鼠ヲ輸入スルコトヲ得ス、又同市及郡部内ニ於テ此等ノ栗鼠ヲ販賣シ、販賣スヘク或ルケ所ニ曝シ、取  
引シ、他ニ交付シ若クハ所有スルコトヲ得ス

第二條 何人ニ限ラス本條例ニ規定サレタル條項ノ何レニカ違犯シテ其證憑充分ナランニハ、二十五弗以  
上五百弗以内ノ罰金ニ處セラル、カ十日以上一百日以内ノ期間郡監獄ニ禁錮セラレ、若クハ罰金ト禁錮  
トヲ併セテ處罰セラル、コトアルヘシ

第三條 一千九百八年十月十五日ノ承認ニ係ル『桑港市及郡部内ニ於テ他ヨリ栗鼠ヲ輸入シ、之ヲ販賣シ  
若クハ他ニ交付スルコトヲ禁ス』ト命名サレタル五百七十四號ノ條例ハ、本條例發布ト共ニ自然消滅ニ  
歸スヘキモノトス

第四條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セラルルモノトス

條 例 五百七十八號

一千九百二十年十月十四日ノ承認ニ係ル

桑、港、市、及、郡、部、内、ニ、於、テ、衛、生、上、有、害、ナ、ル、物、ヲ、混、和、シ、タ、ル、食、品、ヲ、製、造、シ、販、賣、シ、販、賣、ス、ヘ、ク、或、ル  
ケ、所、ニ、曝、シ、讓、與、シ、若、ク、ハ、分、配、ス、ル、コ、ト、ヲ、禁、ス

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、人ノ消費用トシテ左記ノ如キ食品若クハ飲料ヲ製造シ、  
販賣シ、販賣スヘク或ルケ所ニ曝シ、讓與シ、分配シ若クハ此等ノ目的ヲ以テ所有スルコトヲ得ス、曰  
ク食品若クハ飲料ヲ貯藏スルニ耐ヘシメンカ爲メニ、衛生上有害ナル物ヲ混和シタルモノ是レナリ

第二條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、本條例ニ規定サレタル條項ノ何レニカ違犯シテ其證憑  
充分ナランニハ、二十五弗以上一百弗以内ノ罰金ニ處セラル、カ、三十日以上一百日以内ノ期間郡監獄  
ニ禁錮セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處罰セラル、コトアルヘシ

第三條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セラル、モノトス

條 例 五百七十九號

一千九百二十年十月十四日ノ承認ニ係ル

人ノ消費ニ供スヘキ食品若クハ飲料ヲシテ貯藏ニ耐ヘシメンカ爲メニ用フヘキ混和物、合劑若クハ其他ノ物ノ見本ハ、衛生局ヨリ要求アリタランニハ直チニ差出シテ検査ヲ受ケンコトヲ要ス

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 人ノ消費ニ供スヘキ食品若クハ飲料ヲシテ貯藏ニ耐ヘシメンカ爲メニ用フヘキ混和物、合劑若クハ其他ノ物ヲ製造シ、販賣シ、販賣スヘク或ルケ所ニ曝シ、他ニ讓與シ、分配シ若クハ斯ル目的ヲ以テ所有スル者ハ、何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、衛生局ヨリ要求アリタル場合ニハ直チニ之ニ應シテ其見本ヲ差シ出シテ検査ヲ受ケサルヘカラス

第二條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、本條例ニ規定サレタル條項ノ何レニカ違犯シテ其證憑ノ充分ナランニハ、二十五弗以上一百弗以内ノ罰金ニ處セラルルカ三十日以上一百日以内ノ期間郡監獄ニ禁錮セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處罰セラル、コトアルヘシ

第三條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セラル、モノトス

條 例 一千四百二十六號

一千九百十年十二月二十日ノ承認ニ係ル

食品若クハ飲料ヲ製造シ、合成シ、荷造ヲ爲シ、販賣シ、若クハ販賣ノ目的ヲ以テ之ヲ所有スルニ關スル規定、及此等ノ容器ノ表面ニ賈標記ヲ爲シ若クハ賈標印ヲ爲スコトヲ禁ス

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 桑港市及郡部内ニ於テ或ル食品若クハ飲料ヲ製造シ、合成シ、荷造ヲ爲シ、販賣シ、販賣スヘク申シ出シ、若クハ或ル郡、州、古倫比亞地方或ハ外國ヨリ當市ニ輸入シタル食品若クハ飲料ニシテ其ニ是レ有害ナルモノ混和シ居レルカ或ハ其容器ノ標記燒印等本條例ノ所謂ル不正ナルモノナランニ、之ヲ販賣シ、販賣スヘク申シ出シ取引スルモノハ皆是レ違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス、然レトモ左ノ如キ場合ハ此限ニアラス、曰ク斯ル食品若クハ飲料ヲ合衆國ノ裁判區域以外ニ輸出シ外國ノ買主ノ指揮ニ從ツテ荷造ヲ爲シ且ツ其荷造等其送致先ナル外國ノ法律ニ抵觸セサル場合ノ如キ是レナリ、然レトモ家庭消費トシテ販賣シ販賣スヘク申シ出ス場合ノ如キハ矢張り本條例ノ規定ニ從ハサルヘカラス

第二條 本條例ノ所謂ル食品ノ定義ハ其材料ノ單一ナルト複合セルトニ論ナク、人類若クハ其他ノ動物ニ給與セラルル食物、飲料、酒類若クハ藥味等ヲ包括シタルモノト知ルヘシ

第三條 食品及飲料ノ良否ノ標準點ガ桑港市及郡部ノ條例ヲ以テ定メラレサリシ場合ニハ、合衆國農務大

臣ノ定ムル所ニ從ハンコトヲ要ス

第四條 今マ左ニ記載スル所ノ條項ノ何レニカ該當スルモノハ、本條例ノ所謂ル不良食品ト認定セラルヘキモノトス

第一 食品中ニ或ル物質ヲ混和シ若クハ荷造ノ仕様ニテ、其食品ノ資質眞價ヲ一層減少シ劣等ナラシメタル場合

第二 食品ノ全部若クハ一部分ヲ取り去リテ他物ヲシテ之ニ代ラシメタル場合

第三 食品中ノ或ル重要ナル成分ヲ抜キ去リタル場合

第四 其荷造ノ模様若クハ標記ノ有様カ内容ノ損傷若クハ劣等ナルヲ蔽ヒ隠シタル場合

第五 食品中ニ有毒ナル物若クハ劣等ナル成分ヲ加ヘタル場合

第六 食品ノ全部若クハ其幾分カ不潔ナルカ腐敗シタル動物若クハ野菜ヨリ成レルモノ。動物ノ一部分カ製造サレタルモノト否ラサルト問ハス食料トナスニ不適當ナルモノ。屠殺ニアラス病死シタル動物ノ肉類ヨリ成レル食品ノ如キ何レモ皆ナ是レ不良食品タラスンハアラス、然レトモ好シ飲料ニ或ル物ヲ混和スルモ、其資質眞價ニ對シテ毫モ影響ヲ及ホサス、即チ毫モ其資質等ヲ劣ラシメサル場合アランカ、斯ル場合ニ於テハ不良食品、贋造標記若クハ贋造焼印ト認定セラルヘキモノニアラス

第七 菓子屋ニ就テ之ヲ云ハンニ或ル菓子ニ一種ノ色ヲ付シ或ハ一種ノ香氣ヲ持タシメンカ爲メニ鑊物的物質其他有毒ナル物ヲ加ヘタル場合

第八 醋ニ就テ之ヲ云ハンニ人爲ニテ一種ノ色ヲ付シタル場合

第九 食品良否ノ標準點カ桑港市及郡部ノ條例ヲ以テ定メラレサルノ際、合衆國農務大臣ノ定メタル標準點ニ從ハサル場合

第五條 本條例中ニ『贋焼印』ナル用語アリ、此用語ハ總テノ食品ニ適用セラル、モノニシテ其意義甚ハタ廣シ、今マ其概略ヲ舉レハ左ノ如シ、曰ク此等ノ食品ノ成分ヨリ其荷造標記等ニ至ルマテ皆之ヲ包括セサルナク、此焼印ヲ見レハ其内容如何ヲ知悉スルニ足ルヘキモノナリ、然ルニ此等ノ食品製造元ナル郡、市、都府、州、古倫比亞地方若クハ外國等ノ焼印アルモ、其實詐稱タルニ過キサルモノノ謂ナリ

第六條 今マ左ニ記載スル所ノ條項ノ何レニカ該當スル食品及飲料ハ、本條例ノ所謂ル『贋標記』若クハ『贋焼印』ト認定セラルヘキモノトス

第一 標記等全ク模倣ニ出テタルカ若クハ内容ト明カニ異ナリタル場合

第二 標記若クハ焼印カ買主ヲ欺キ得ヘキ様造ラレタル場合、或ル方法ニテ詐僞ノ標記ヲ爲シタル場合、外國産ニアラサルモノヲ外國産ト粧フタル場合、荷造ノ内容ヲ他ノ物ト取り替ヘテ矢張り元ノ如ク荷造ヲ爲シタル場合

第三 荷造ノ内容及内容ノ重量及嵩カ記サレアルモ明カニ正確ナラサル場合

第四 荷造若クハ標記ニハ爾カノノ食品ト記サレアルモ或ル格段ナル事ニ就テ人ヲ欺カントスル場合

第五 荷造ノ表面ニハ製造者、仲買人若クハ賣主ノ名カ記サレアルカ、食品ノ等級カ記サレアラン、實際ノ製造者、仲買人若クハ賣主タラサルヘカラス、食品ノ等級モ實際タラサルヘカラス、且ツ此等ノ名ハ最モ讀ミ易キ字體ニシテ英語タランコトヲ要ス、但其食品ノ性質外形等能ク衆人ノ知リタル所ニシテ、公衆ノ觀察ニ觸レテ人ヲ欺キ得ヘカラサルモノハ此限ニアラス

第六 食品ニシテ標記之レナク模倣品若クハ悪シキモノ、混和物ヨリ成リタルモノニシテ、人ヲ欺クヘク詐偽ノ名ヲ付シテ販賣シ若クハ販賣スヘク申シ出シタル場合

第七條 本條例ノ所謂ル『荷造』ト云ヘル用語ハ最モ廣キ意義ヲ有スルモノト知ルヘシ、曰ク製造者、仲買人及商人等カ食品ヲ容ル、爲メニ用フルモノニシテ、例之ヘハ硝子壺、徳利、瓶、小頭ノ大壺、袋、籠、罐、袋若クハ桶類ノ如キ是レナリ

第八條 食品ノ製造者、仲買人、荷造人、商人、委託販賣人若クハ斯ル數者ノ番頭、傭人若クハ召使ニシテ、食品若クハ飲料ニ他物ヲ混和シテ惡化シタルモノ、賈標記若クハ賈焼印ノアル食品飲料ヲ所有シ居タランニハ、取リモ直サス本條例違犯タルヘキモノトス

第九條 衛生局、同局ノ官吏、及雇員等ハ或ル場合ニ於テ左ノ如キ權能ヲ有スルモノトス、曰ク桑港市及

郡部内ニ於テ販賣シ、販賣センカ爲メニ或ル所ニ曝シ若クハ取引スル所ノ食品ノ見本ヲ相當代價ヲ以テ買ヒ求メ、賣主ノ眼前ニテ之ヲ兩分シテ其一半ヲ或ル容器ニ嚴重ニ封シ込メテ自カラ之ヲ取リ、同シク残り一半ヲ嚴重ニ封シ込メテ之ヲ賣主ニ渡シ置キ、而シテ自カラ取リシ一半ヲ直チニ衛生局ヘ差シ出サシコトヲ要ス

第十條 商人ノ有スル食品ニシテ確實ナル保證アル以上ハ本條例ノ規定スル所ニ從ツテ處分セララルヘキモノニアラス、所謂確實ナル保證トハ左ノ如キモノヲ云フ、曰ク斯ル食品ヲ商人ニ賣リ渡シタル間屋、仲買人、製造者若クハ其他ノ商業組合カ合衆國內ニ居住スルモノニシテ、之ヲ賣リ渡スノ際此食品ハ惡シキ混和物之レナク其他標記焼印等決シテ賈造ニアラサルコトヲ證明ストテ自カラ其證明書ニ調印シ且ツ其住所氏名等ヲ附記シタルモノ是レナリ

第十一條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、本條例ニ規定サレタル條項ノ何レニカ違犯シテ其證憑充分ナランニハ二十五弗以上五百弗以内ノ罰金ニ處セララルカ、六ヶ月以内ノ期間郡監獄ニ禁錮セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處罰セララルコトアルヘシ、而シテ本條例ノ所謂不良物ヲ混和シタル、賈標記、賈焼印ト認定サレタル食品ハ之ヲ沒收シテ滅盡センコトヲ要ス

第十二條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セララルモノトス

條 例 六百三十七號

一千九百三年一月廿八日ノ承認ニ係ル

外用ト内用トヲ問ハス、藥品、防腐劑、消毒劑若クハ化粧品ヲ配達シテ他人ノ入口若クハ屋敷内ニ置クコトヲ禁ス

一一二

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 何人、何タル會社、何タル團體若クハ其召使、番頭ヲ問ハス左ノ如キ行爲アルヲ許サス、曰ク丸藥、錠劑、粉藥、化粧品、防腐劑、消毒劑、若クハ衛生上有害ナル成分ヲ含メル藥品等ヲ見本トシ或ハ廣告ノ目的ヲ以テ他人ノ入口、屋敷内ニ棄テ置キ、投ケ込ミ、差シ置キ若クハ十四歳未滿ノ幼童ニ交付スル等ノ行爲アルヲ許ササルコト是レナリ

第二條 本條例ノ所謂ル藥品、丸藥、錠劑、粉藥、化粧品、防腐劑、消毒劑ナルモノハ、内用ト外用トヲ問ハス總テノ治療藥ヲ含ミ、且ツ其品ノ單一ナルト複合セルトヲ論セス、皆此内ニ包括セラレタルモノト知ルヘシ

第三條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、本條例ニ規定サレタル條項ノ何レニカ違犯シテ其證憑充分ナランニハ、二十五弗以上一百弗以内ノ罰金ニ處セラルルカ、三十日以上一百日以内ノ期間郡監獄ニ禁錮セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處罰セラルルコトアルヘシ

第四條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セラルルモノトス

條例 六百四十二號

一千九百三年二月三日ノ承認ニ係ル

旅館、下宿屋、間貸ヲ爲セル家屋若クハ一個人ノ居所ニ瓦斯ヲ供給スルコトニ關スル規定且ツ一千八百九十八年二月廿五日ノ承認ニ係ル五十七號ノ命令ハ自然消滅ニ歸スヘキモノトス

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 或ル旅館、下宿屋、間貸ヲ爲セル家屋ノ持主若クハ賃借人ニシテ左記ノ如キ行爲アリタランニハ違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス、曰ク平生斯ル箇所ニ引キ來リアル瓦斯ヲ「メートル」ノ所ニテカ若クハ瓦斯管ノ何レノ所ニテカ、「ネヂ」ヲ捻リテ遮斷スルカ如キ行爲アル是レナリ、但何レカ瓦斯裝置ニ故障アリテ之ヲ修繕スル爲メカ若クハ明家トナリタル場合之ヲ遮絶スルハ此限ニアラス

第二條 或ル旅館、下宿屋、間貸ヲ爲セル家屋ノ持主若クハ賃借人等ニシテ其瓦斯ノ通路ヲ遮斷スルモ、斯ク遮斷サレタル瓦斯ヲ何レノ方面ニカ導クヘキ方法之ナシトセンカ、是レ亦違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス

第三條 本條例ニ規定サレタル條項ノ何レニカ違犯シテ其證憑充分ナランニハ、五十弗以上五百弗以内ノ罰金ニ處セラルルカ、五十日以上六ヶ月以内ノ期間郡監獄ニ禁錮セラレ若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處

一一三

罰せらるルコトアルヘシ

一二四

第四條 一千八百九十八年二月廿五日ノ承認ニ係ル『旅館、寄宿所及下宿所ニ於テ瓦斯使用ニ關スル規定ヲ設ケンコトヲ要ス』ト命名サレタル五十七號ノ命令ハ自然消滅ニ歸スヘキモノトス

第五條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セララルモノトス

條 例 七百九十七號

一千九百三年六月十一日ノ承認ニ係ル

食料ニ供セララルヘキ屠殺動物ノ遺體ヲ被フコトナクシテ明ラサマニ公街ヲ運搬スルコトヲ禁ス

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 何人ニ限ラス食料トナスヘキ牛肉、羊肉、犢肉、豚肉若クハ動物ノ遺體ヲ運搬シテ公街ヲ通行スル時ハ、必ス何等カノ物ヲ以テ之ヲ蔽フカ、若クハ車ニ積ミ込ミテ毫モ塵埃ノ掛ラヌ様明ラサマニ人目ニ觸レサル様ナササルヘカラス、否ラスンハ違法者トシテ處罰セララルヘキモノトス

第二條 何人ニ限ラス本條例ニ規定サレタル條例ノ何レカニ違犯シテ其證憑充分ナランニハ、五百弗以内ノ罰金ニ處セララルカ六ヶ月以内ノ期間郡監獄ニ禁錮セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處罰セララルコトアルヘシ

第三條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セララルモノトス

條 例 一千二十號

一千九百三年十月廿七日ノ承認ニ係ル

米ヲ市場ニ持チ出スヘキ準備ノ爲メ油『バラヒン』若クハ此等ト類似物ヲ用フルコトヲ禁ス

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、米ヲ精白ニシ若クハ市場ヘ持チ出ス準備ノ爲メ油、「バラヒン」其他類似ノ物ヲ用ヒ若クハ用ヒシムルコトヲ得ス、若シ然カナシタランニハ違法者トシテ處罰セララルヘキモノトス

第二條 本條例ニ規定サレタル條項ノ何レニカ違犯シテ其證憑充分ナランニハ、五百弗以内ノ罰金ニ處セララルカ六ヶ月以内ノ期間郡監獄ニ禁錮セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處罰セララルコトアルヘシ

第三條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セララルモノトス

條 例 一千三十一號

一千九百三年十月廿七日ノ承認ニ係ル

飲料ノ受容器使用ニ關スル規定

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

一二五

第一條 人ノ消費用トシテ或ル飲料ノ販賣ヲ營業トスルモノハ、何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、眞鍮、鉛、銅若クハ其他ノ金屬製ノモノヲ飲料ノ受容器ト爲スコトヲ許サス、即チ斯ル金屬ヲ以テ製シタル「タンク」溜、容器、呑口、導管ノ類ヲ用フルコトヲ許サス、是レ他ナシスル金屬製ノ受容器ヲ用ヒタランニハ、其飲料ニ化學作用ヲ起シテ人ノ健康上有害ナル虞アレハナリ

第二條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、本條例ニ規定サレタル條項ノ何レニカ違犯シテ其證憑充分ナランニハ、五百弗以内ノ罰金ニ處セラルルカ六ヶ月以内ノ期間郡監獄ニ禁錮セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處罰セラルルコトアルヘシ

第三條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セラルルモノトス  
條 例 一千二十二號

一千九百三年十月廿七日ノ承認ニ係ル  
公衆用ノ給水ヲ汚染セシムルコトヲ禁ス

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 何人ニ限ラス左ノ如キ行爲アランモノハ違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス、曰ク凡ソ公衆用トシテ供給セラルル水ノ貯水所、其流域中、岸頭、水管、溝渠等へ動植物若クハ礦物等投棄スルカ如キ行爲、或ハ人ノ消費用タル水質ヲ汚染セシムルカ如キ行爲是レナリ

第二條 本條例ニ規定サレタル條項ノ何レニカ違犯シテ其證憑充分ナランニハ、五百弗以内ノ罰金ニ處セラルルカ六ヶ月以内ノ期間郡監獄ニ禁錮セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處罰セラルルコトアルヘシ

第三條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セラルルモノトス  
條 例 一千三十六號

一千九百三年十月廿七日ノ承認ニ係ル  
井水使用ニ關スル規定

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、井水ノ飲料トシテ用ヒント欲スル場合ニハ必ラス先ツ衛生局ヨリ之カ認可證ヲ受ケサルヘカラス、又タ衛生局ヨリ井戸ヲ閉鎖スヘシトノ通告ヲ受ケタランニハ直チニ之ニ從ハサルヘカラス、否ラスンハ二者共ニ違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス

第二條 衛生局ノ意見ニテ或ル家族用ノ井水カ何等カノ爲メニ汚染セラレ飲料ニ不適當トナリ、人ノ生命及健康上ニ有害ナリト見据付キタランニハ、其持主、賃借人、若クハ其井戸ニ就テ責任ヲ有スルモノニ對シテ爾カノノ時間内ニ斯ル井戸ヲ閉鎖スヘキ注意書ヲ與ヘンコトヲ要ス、尙ホ之ニ服從セサル時ハ持主ノ自費ヲ以テ速カニ閉鎖スヘキ事ヲ嚴命セサルヘカラス



第三條 本條例ニ規定サレタル條項ノ何レニカ違犯シテ其證憑充分ナランニハ、五百弗以内ノ罰金ニ處セラルルカ六ヶ月以内ノ期間郡監獄ニ禁錮セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處罰セラルルコトアルヘシ

第四條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セラルルモノトス

條 例 一千三百七十八號

一千九百四年十二月廿九日ノ承認ニ係ル

市街鐵道客車ノ清潔法及消毒法ニ關スル規定

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 桑港市及郡部内ニ於テ市街鐵道客車ヲ有シテ乘客ノ便ヲ計ルモノハ、何人、何タル會社、何タル團體ヲ向ハス、少ナクモ一週間ニ一回各列車ヲ洗ヒ、又タ列車内ハ毎日注意シテ掃除ヲ爲シ清潔ナラシメンコトヲ要ス

第二條 又タ右ノ如ク市街鐵道客車業ヲ營ム者ハ衛生局ヨリ注意書ヲ送付セラレタランニハ、客車内ニ消毒液ヲ散布シテ消毒法ヲ行ハンコトヲ要ス、

第三條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、本條例ニ規定サレタル條項ノ何レニカ違犯シテ其證憑充分ナランニハ、五百弗以内ノ罰金ニ處セラルルカ六ヶ月以内ノ期間郡監獄ニ禁錮セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處罰セラルコトアルヘシ

第四條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セラルルモノトス

命 令 三千六十五號

一千八百九十七年三月十五日ノ承認ニ係ル

洗濯營業者ハ含水ニテ洗濯セル衣服ニ霧ヲ吹キ掛ケルコトヲ禁ス

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 桑港市及郡部内ニ於テ洗濯業ヲ營ム者若クハ其雇員等ハ皆是レ含水ニテ洗濯セル衣服ニ霧ヲ吹キ掛ケルコトヲ得ス、之ヲ犯スモノハ違法者トシテ處罰セラルルモノトス

第二條 本條例ニ規定セラレタル條項ノ何レニカ違犯シテ其證憑充分ナランニハ、五十弗以内ノ罰金ニ處セララルルカ一ヶ月以内ノ期間郡監獄ニ禁錮セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處罰セラルルコトアルヘシ

條 例 一千三十一號

一千九百十年一月五日ノ承認ニ係ル

汚染セル水若クハ下水ヲ人ノ食料トスヘキ野菜ニ澆キ掛ケルコトヲ禁ス、又人ノ食料トスヘキ野菜ヲ產出シ若クハ販賣セントスル者ハ、衛生局ヨリ認可證ヲ受ケサルヘカラス

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、左記ノ如キ行爲アル者ハ違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス、曰ク人ノ排泄物、人ノ排泄物ノ混和セル水、下水ノ混和セル井水若クハ池水等ヲ人ノ食料トナルヘキ野菜ヘ概キ掛ケルカ如キ行爲是レナリ

第二條 人ノ食料トナルヘキ野菜ヲ桑港市及郡部ニ持チ來リ、若クハ桑港市及郡部ニ於テ斯ル野菜ヲ產出シ、販賣シ若クハ販賣スル目的ヲ以テ所有セント欲スル者ハ、何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、必ラス先ツ衛生局ヨリ認可證ヲ受ケサルヘカラス、否ラスンハ違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス且ツ衛生局ヨリ下ケ渡サル認可證ナルモノハ彼ノ販賣スヘキ野菜ハ本條例第一條ノ規定ニ違反シタルモノニアラサルコトヲ證明スルモノ是レナリ、尙ホ其他衛生局ハ右認可證ヲ交付セサル前野菜ヲ積ミ乘セテ運搬スヘキ荷車等ヲ『加里保留尼亞桑港公衆衛生局檢査濟』ノ焼印ヲ押サンコトヲ要ス

第三條 本條例ニ規定サレタル條項ノ何レニカ違反シテ其證憑充分ナランニハ、二十五弗以上五百弗以内ノ罰金ニ處セララルルカ六ヶ月以内ノ期間郡監獄ニ禁錮セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處罰セラルルコトアルヘシ

第四條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セラルルモノトス

命令 三千六十三號

一千八百九十七年三月十五日ノ承認ニ係ル

桑、港、市、及、郡、部、ニ、於、ル、公、會、堂、ノ、床、上、若、ク、ハ、或、ル、道、路、ニ、略、痰、ス、ル、コ、ト、ヲ、禁、ス、及、違、犯、者、ノ、處、罰

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 何人ヲ問ハス桑港市及郡部ニ於ル公會堂ノ床上若クハ或ル道路ニ略痰スルコトヲ得ス

第二條 苟クモ公會堂ノ管理者タランモノハ其職責トシテ不足セサル様充分ノ唾壺ヲ備ヘ置カンコトヲ要ス、即チ會堂内必要ニシテ便宜ノケ所々々ヘ洩レサル様唾壺ヲ配付シ置カサルヘカラス

第三條 何人ニ限ラス本命令ニ規定サレタル條項ノ何レニカ違反シテ其證憑充分ナランニハ、二十五弗以内ノ罰金ニ處セララルルカ十日以内ノ禁錮ニ處セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處分セララルルコトアルヘシ

第四條 公會堂ノ管理人タル者ハ此會堂ノ床上ニ略痰スルコトヲ禁スト云ヘル揭示ヲ會堂内到人目ニ觸レ易キ様ナシ置カンコトヲ要ス、而シテ斯ル會堂ノ番人及役人ハ本命令ノ規定ニ違反シタル者ヲ捕ヘテ處分センコトヲ要ス

第五條 警察署長タランモノハ其職責トシテ本命令實行ノ任ニ當ルヘキモノトス

命令 三千六十四號

一千八百九十七年三月十五日ノ承認ニ係ル

桑、港、市、及、郡、部、ニ、於、ル、市、街、鐵、道、車、内、ニ、略、痰、ス、ル、コ、ト、ヲ、禁、ス

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 何人ニ限ラス桑港市及郡部ニ於ル鐵道車内ノ床上ニ略痰スルヲ得ス

第二條 凡ソ市街鐵道會社タランモノハ車内到ル所最モ人目ニ觸レ易キケ所々々へ本命令ノ規定スル所ニ注意アラシムコトヲ望ム旨張り出シ置カシムコトヲ要ス

第三條 何人ニ限ラス本命令ニ規定サレタル條項ノ何レニ違犯シテ其證憑充分ナランニハ、二十五弗以内ノ罰金ニ處セラルルカ十日以内ノ禁錮ニ處セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處罰セラルルコトアルヘシ  
條 例 一千三百七十七號

一千九百四年十二月廿九日ノ承認ニ係ル

公、街、路、ヲ、通、過、シ、テ、麵、麩、若、ク、ハ、菓、子、類、ヲ、運、搬、セ、ン、ニ、之、ヲ、被、フ、モ、ノ、ナ、ク、露、出、シ、タ、ル、儘、運、搬、ス、ル、コ、ト、ヲ、禁、ス

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、麵麩、菓子類ヲ荷車等ニ積ミ載セ公街路ヲ通過シテ運

搬センニ、此等ノ食品ヲ入レタル籠若クハ其他ノ容器ニ何等ノ被フモノナク此等ノ食品ノ露出シタル儘運搬スルコトヲ許サス、犯スモノハ違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス

第二條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、本條例ニ規定サレタル條項ノ何レニカ違犯シテ其證憑

充分ナランニハ、五百弗以内ノ罰金ニ處セラルルカ六ヶ月以内ノ期間郡監獄ニ禁錮セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處罰セラルルコトアルヘシ

第三條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セラル、モノトス

條 例 十三號

一千九百六年六月七日ノ承認ニ係ル

桑、港、市、及、郡、部、内、ニ、於、テ、料、理、店、料、理、場、肉、類、市、場、果、物、商、青、物、商、鳥、屋、珍、味、商、麵、麩、屋、露、店、等、經、營、ニ、關、ス、ル、規、定

桑港市及郡部カ輓近一タヒ災害ニ罹リシ以來、料理店、料理場、肉類市場、果物商、青物商、麵麩屋、露店等ノ經營行動、公衆衛生上ニ害アリ從ツテ社會全般ノ安寧幸福ニ惡影響ヲ及ホスコト少ナカラズ此ニ於テカ

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規定ヲ制定セリ

第一條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、料理店、料理場、肉類市場、果物商、青物商、鳥屋、珍味商、麵麩屋、露店若クハ人ノ消費トシテ飲食物ノ營業ヲ爲サント欲スル者ハ皆是レ本條例ノ規定スル所ニ從ハサルヘカラス、否ラスンハ違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス

第二條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、人ノ消費トシテ食物ヲ調理スルケ所ノ戸口、窓其他

ノ孔隙ハ皆是レ張金製ノ網ヲ張ラサルヘカラス、否ラスンハ違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス

第三條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、肉類市場、果物商、青物屋、鳥屋、珍味商、若クハ麵麩屋ヲ營業トナシ午前九時ヨリ午後六時マテノ間、人ノ消費用トシテ食物ヲ調理シテ販賣セントスル場合ニハ、此等ノ戸口、窓其他孔隙等皆是レ最モ緻密ナル金網ニテ塞カサルヘカラス、又此等ノ食品取扱ハ總テ戸内ニ於テ爲サ、ルヘカラス、否ラスンハ違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス

但シ本條例ハ果物等荷造ノ儘ナルカ若クハ蔽ヒ包ミテ販賣スルモノニハ適用スヘキモノニアラス

第四條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、市街ノ露店ニ於テ或ル食物、菓子其他ノ食品ヲ人ノ消費用トシテ販賣セント欲スル場合ニハ、其露店ノ其ケ所ニ据ヘ付ケラレテ動カサルモノト他ニ移轉シ得ヘキモノトヲ問ハス、道路ノ塵埃、蠅其他ノ蟲類ノ侵シ來ラサル様緻密ナル硝子製ノ蓋被ナカルヘカラス、否ラスンハ違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス

但シ右四條ノ規定ハ市街ノ露店（据付ト動カシ得ヘキモノトヲ問ハス）ニ於テ販賣セル果物若クハ野菜類ニハ適用セサルモノトス、——本條ハ一千九百八年四月廿八日ノ承認ニ係ル四百十六號ノ條例ニ依リテ改正セラレタルモノ是レナリ

第四條（イ） 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、市街ノ露店（据付ト他ニ移轉シ得ヘキモノトヲ問ハス）ニ於テ或ル果物若クハ野菜ヲ販賣セント欲スル者ハ、買手が其場ニテ消費スルト否ラサルトヲ論

セス、最モ緻密ナル織物様ノモノニテ之ヲ蔽ヒ以テ塵埃若クハ蠅ノ入り込マサル様爲サ、ルヘカラス、否ラスンハ違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス

第四條（ロ） 本條例ノ規定ハ左記ノ者ニハ適用セサルモノト知ルヘシ曰ク「バナナ」、「パイナップル」、「橙子」、「レモン」其他ノ果物若クハ野菜類ニシテ、買手ノ口ニ入ラントスル前其表皮ヲ剝イテ交付スル者、或ハ戸内ニテ斯ル果物ヲ蔽フタル儘ニテ買手ニ交付スル場合ノ如キ是ナリ、——第四條（イ）、第四條（ロ）ハ一千九百八年四月廿八日ノ承認ニ係ル四百十六號ノ條例ニ依リテ追加セラレタルモノ是レナリ

第五條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、本條例ニ規定サレタル條項ノ何レニカ違犯シテ其證據充分ナランニハ、五百弗以内ノ罰金ニ處セラル、カ六ヶ月以内ノ期間郡監獄ニ禁錮セラレ若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處罰セラル、コトアルヘシ

第六條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セラル、モノトス

條 例 一千五百五十號

一千九百十一年五月十一日ノ承認ニ係ル

麵麩製造所、同販賣店、同販賣露店カ其麵麩若クハ類似ノ食品ヲ他ニ渡シ或ハ他ヨリ受ケントスル場合ニハ、麵麩若クハ類似ノ食品ノ受容器ヲ成規ニ從ツテ調製シ之ニ容レテ以テ受ケ渡シヲ爲サ、ルヘカラス、否ラスンハ受ケ渡シヲ爲スコトヲ得ス、違犯スル者ハ處罰セラル、モノ

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、麵麩製造所、同販賣店若クハ販賣露店ヲ有シテ營業セ  
ル者カ、麵麩若クハ類似ノ食品ヲ他ニ渡サントスル場合ニハ、此等ノ食品ヲ入ル、ニ適當ナル受容器ナ  
カルヘカラス、否ラスンハ違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス

第二條 麵麩製造所、同販賣店若クハ同販賣露店ヲ問ハス、麵麩若クハ類似ノ食品ヲ授受スルノ際、成規  
ニ從ツテ調製サレタル木製ノ受容器ナカルヘカラス、即チ麵麩若クハ類似ノ食品ノ本性ヲ害セサル木製  
ノ受容器ニ入レンコトヲ要ス

第三條(イ) 右ニ述ヘタル受容器ハ奇麗ナル板ニテ之ヲ造リ其内面ヲ能ク削リ外面ハ「ペンキ」ニテ少ナク  
モ二回塗ランコトヲ要ス、而シテ此受容器ニハ四個ノ曲タル足ヲ付スヘク、其足ハ各々鐵製ニシテ之ヲ  
楔止ニナシ其高サ二吋ナランコトヲ要ス、又タ此受容器ノ内面四隅ハ角立ヌ様塞キ置クヘシ、是レ麵麩  
屑杯ノ殘留スルヲ避ケシメンカ爲メナリ

(ロ) 此受容器ハ何レノケ所ニモ孔隙ノナキ様ニ作ルヘク、其上部ハ蝶番ニテ蓋ノ出來ル様ニナスヘク  
其蓋ハ受容器ノ周邊ヨリ一呎ハカリ大ナランコトヲ要ス、既ニ蓋ヲナシタランニハ錠前ヲ卸スヘキ様ナ  
シ置カンコトヲ要ス

(ハ) 今マ此受容器ノ大サ如何ト云フニ最小限ニシテ長サ二十吋、幅十五吋、高サ十八吋ナルヘシ、但  
足ノ高サハ此限ニアラス、而シテ如何ナル大サニスルモ此最小限ノ比例ナランコトヲ要ス

第四條 斯クテ右ノ如キ受容器ハ麵麩製造所、同販賣店同露店等ノ外側ニテ麵麩若クハ類似品ノ授受取引  
上便利ナルケ所ニ備ヘ置カンコトヲ要ス、而シテ今日ノ午後六時ヨリ翌日ノ午前八時マテ此等ノ製造所、  
販賣店ヲ閉チ居ル間ハ受容器ヲ内部ニ取リ入レ置カンコトヲ要ス

第五條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、本條例ニ規定サレタル條項ノ何レニカ違反シテ其證憑  
充分ナランニハ、五百弗以内ノ罰金ニ處セラル、カ六ヶ月以内ノ期間郡監獄ニ禁錮セラレ、若クハ罰金  
ト禁錮トヲ併セテ處罰セラルコトアルヘシ

第六條 本條例ハ發布ノ日ヨリ三十日ヲ經テ實行セラル、モノトス  
條 例 二十一號

一千九百六年六月十一日ノ承認ニ係ル

衛生上障害物ノ定義及桑港市及郡部衛生局ハ斯ル障害物ヲ除去シ及滅盡スヘキ權能ヲ有ス

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、其所有ニ係リ若クハ其管理内ニアル所ノ或ル食品若ク  
ハ飲料カ腐敗シテ其本性ヲ失ヒ以テ人ノ飲食スルニ不適當ナルモノナリトセンカ、斯ル場合ニ於テハ其

筋ヨリ公衆ニ障害アルモノト宣告センコトヲ要ス

一三八

第二條 當市及郡部衛生局ハ右ノ如ク腐敗シタル食品若クハ飲料ヲ除却スヘク命シ或ハ沒收シ有害ナルモノトシテ滅盡スヘキ權能ヲ有スルモノトス

第三條 本條例ノ『食品』ト云ヘル用語中ニハ單一ナルモノト複合シタルモノトヲ問ハス、人ノ飲食スル所ノモノヲ包括シタルモノト知ルヘシ

第四條 從來ノ命令及條例若クハ其一部分ニシテ本條ノ規定ト牴觸スルモノハ皆是レ自然消滅ニ歸スヘキモノトス

第五條 本條例ハ發布ノ當日ヨリ實行セラル、モノトス

條 例 七十六號

一千九百六年十月十日ノ承認ニ係ル

他物ヲ混和シタル藥品ノ販賣ヲ禁ス、『惡混』『藥品』ノ定義、『メチール、アルコール』ヲ混和シタル藥品ノ販賣ヲ禁ス、條例實行ノ規定及違法者ノ處罰、此ニ於テ、

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、他物ヲ混和シテ惡化シタル藥品ヲ製造シ、販賣シ、販賣スヘク申シ出シ、他ニ交付シ若クハ交付セシメタラン者ハ違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス

第二條 藥品ノ定義、本條例中『藥品』ノ用語ハ左ノ如キ意義ヲ包括スルモノト知ルヘシ、曰ク合衆國ノ藥局方ニ内用トシテ承認サレタル藥品及藥劑其他疾病ノ治療、緩和若クハ豫防トシテ内用セラル、藥物ヲモ包括スルモノ是レナリ

第三條 惡混ノ定義、本條例中ノ惡混サレタル藥品ト云ヘルハ概ネ左記ノ如キモノ是レナリ、曰ク第一、合衆國ノ藥局方ニ特記サレタル藥名ニテ販賣セラレタルモノニシテ、其實際ニ於テ合衆國藥局方ニ定メラレタル試験法ニ從ツテ定メタル其性質良否等ノ標準點ニ相違スル場合ノ如キ是レナリ、第二、販賣シタル藥品ノ性質良否等ノ所定ノ標準點以下ニアル場合ノ如キ是レナリ、第三、藥品ノ名ヲ異ニシテ販賣セントシタル場合はレナリ、第四、藥品ノ表面ニハ何々製品、爾カノ成分ヨリ成レリト表記セラレ、モ其内容ニ至リテハ之ト異ナリ居レルカ、若クハ罈、德利其他容器ノ内容ヲ全部若クハ一部分入レ替ヘタル如キモノ是レナリ

第四條 「メチール、アルコール」ヲ用フルコトヲ禁ス、標記ニハ内用若クハ外用ノ藥品トアレトモ其實「メチール、アルコール」ヲ混和シタルモノヲ販賣シ、販賣スヘク申シ出シ、交付シ若クハ交付セシメタルモノハ違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス

第五條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、左記ノ如キ行爲アリタランニハ違法者トシテ處罰セラレヘキモノトス、曰ク合衆國藥局方中ニ承認セラレサル藥品、藥劑ヲ製造シ、販賣シ、販賣スヘク申シ

一三九

出シ、交付シ若クハ交付セシムルカ如キ行爲是レナリ

第六條 桑港市及郡部衛生局ハ左ノ如キ權能ヲ有スルモノトス、曰ク或ル藥品藥劑ニシテ本條例ノ規定スル所ニ違犯シ居ルヤ否ヤノ疑ヒアル場合ニ於テ其藥品藥劑ヲ取り上ケテ化學士ヲシテ之ヲ分拆セシムルノ權能ヲ有スルコト是レナリ

第七條 違法者ノ處罰、本條例ニ規定サレタル條項ノ何レニカ違犯シテ其證憑ノ充分ナランニハ、二十五弗以上二百五十弗以内ノ罰金ニ處セラル、カ十日以上二百五十日以内ノ期間郡監獄ニ禁錮セラレ若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處罰セラル、コトアルヘシ

第八條 一千九百六年六月二十日ノ承認ニ係ル第二十五號ノ條例及一千九百六年七月二十七日ノ承認ニ係ル三十八號ノ條例ハ共ニ自然消滅ニ歸スヘキモノトス

第九條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セラルルモノトス  
條 例 二千六百三十九號

一千九百十四年二月二十六日ノ承認ニ係ル

桑港市及郡部内ニ於テ、既、舍、建、設、及、維、持、ニ、就、テ、既、ニ、下、付、シ、タ、ル、認、可、證、ノ、取、消、命、令、ヲ、發、ス、ル、ニ、就、テ、  
ノ規定、

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 一頭若クハヨリ以上ノ馬、驢馬、騾馬、牝牛、山羊其他ノ家畜ヲ飼育セン爲メ新タニ厩舎ヲ建テ若クハ在來ノ厩舎ヲ修繕セント欲スル場合ニハ、必ラス先ツ衛生監督局ノ認可ヲ受ケサルヘカラス、否ラスンハ違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス

第二條 本條例ニ定メラレタル種類ノ厩舎ヲ現ニ所有シ居ル者ハ何人ヲ問ハス、本條例發布ヨリ六ヶ月以内ニ認可證ヲ受ケサルヘカラス

第三條 新タニ厩舎ヲ建設シテ之ヲ維持セント欲スル者若クハ在來ノ建物ノ模様替ヲナシテ厩舎ニ充テントスル者ハ、共ニ是レ左ノ手續ヲ踐マサルヘカラス、曰ク衛生局ノ斯ル厩舎ヲ建設スヘキ所ヲ検査シテ衛生上ノ見地ヨリスルモ、其近傍ノ住民ヨリモ差支ヘル所ナク又苦情モ起ラサル場合ニ限リテ認可證ヲ下ケ渡サルヘキモノトス、否ラスンハ認可證ヲ交付セラレサルモノト知ルヘシ

第四條 衛生監督局ハ在來ノ建物中ニ厩舎トシテ用ヒ來リタルモノニ對シテモ、其設備ノ適當ナルモノナランニハ認可證ヲ交付スヘキモノトス、但其在來ノ厩舎カ衛生上不安全ナル所アリ、其他不都合ナル所アリ若干ノ期間内ニ改良スヘシト命シタルニ之ニ應セサルモノハ此限ニアラス

第五條 衛生監督局ハ場合ニ依リテハ一旦交付シタル認可證ヲモ取消スコトアルヘシ

第六條 衛生監督局カ既ニ交付シタル認可證ヲ取消サンニハ、詳細ニ事實ヲ取糺シタル上到底其儘ニ棄テ置クヘカラサルモノト充分ニ見据ノ付キタル場合ニ限ルヘキモノトス

第七條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、本條例ニ規定サレタル條項ノ何レニカ違犯シテ其證憑ノ充分ナランニハ、五百弗以内ノ罰金ニ處セラルルカ六ヶ月以内ノ期間郡監獄ニ禁錮セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處罰セラルルコトアルヘシ

第八條 本條例ノ規定ニ抵觸スヘキ從來ノ條例及其條例ノ一部分ハ皆是レ自然消滅ニ歸スヘキモノトス

第九條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セラルルモノトス

條例 三百三十四號

一千九百八年一月九日ノ承認ニ係ル

桑、港、市、及、郡、部、内、ニ、於、ル、或、ル、住、家、學、校、若、ク、ハ、教、會、堂、ヨ、リ、五、十、呎、以、内、ニ、四、頭、以、上、ノ、馬、匹、ヲ、容、ル、ヘ、キ、厩、舍、ヲ、建、設、シ、及、維、持、ス、ル、事、ヲ、禁、ス

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、左記ノ如キ行爲アランモノハ違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス、曰ク桑港市及郡内ニ於テ或ル住家、學校若クハ教會堂ヨリ五十呎以内ニ四頭以上ノ馬匹ヲ容ルヘキ厩舍ヲ建設スル事、若クハ本條例發布ノ際厩舍トシテ用ヒ居ラサリシ或ル在來ノ建物ヲ四頭以上ノ馬匹ヲ容ルヘキ厩舍トシテ或ル住家、學校若クハ教會堂ヨリ五十呎以内ニ維持セントスルコト是レナリ

第二條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、本條例ニ規定サレタル條項ノ何レニカ違犯シテ其證憑充分ナランニハ、五十弗以上五百弗以内ノ罰金ニ處セラルルカ、六ヶ月以内ノ期間郡監獄ニ禁錮セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處罰セラルルコトアルヘシ

第三條 本條例ノ規定ニ抵觸スル百八十九號ノ條例及其他ノ條例ハ皆是レ自然消滅ニ歸スヘキモノトス

第四條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セラルルモノトス

條例 二千九百十七號

一千九百十四年九月二十二日ノ承認ニ係ル

桑、港、市、及、郡、部、内、ニ、於、ル、食、料、品、ノ、製、造、取、扱、及、販、賣、ニ、關、ス、ル、規、定

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 本條例發布後人ノ消費トシテ食料品ヲ製造シ、取扱ヒ若クハ販賣セント欲スル者ハ何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、後段ニ特記セル規定ニ從フヘク、又從來スル業務ヲ營ミタル者カ尙ホ引キ續キテ營業セント欲スル時ハ、本條例發布ヨリ六ヶ月ノ後後段ニ特記セル規定ニ從ハサルヘカラス、否ラスンハ共ニ是レ違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス

第二條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ向ハス、或ル建物、室、住所、下層室若クハ地下室ニ麵麩屋、菓子屋、荷造業、菓子製造所、「アイスクリーム」製造所、料理店、珈琲店、旅館、雜貨店、腸詰肉商等



ノ業ヲ營ミテ、桑港市及郡部内ニ於ル人ノ消費用トシテ飲食物（單一ナルモノト複合セルモノトヲ併セ云フ）ヲ供給セント欲スル場合ニハ必ラス左記ノ如キ手續ヲ踐マサルヘカラス、否ラスンハ違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス、曰ク先ツ第一ニ衛生局ヨリ認可證ヲ受ケサルヘカラス、此認可證ト云ヘルハ衛生官ノ調印シタルモノニシテ、當營業所ハ毫モ衛生状態ニ不都合ナル點ナク、營業上ニ關スル諸設備ニ缺點ナク公衆衛生上ニモ害ヲ及ボササルコトヲ證明スルモノナリ、第二本條例ニ基キテ編成セラレタル諸規則ニ從ヘルコトヲ證スルニ足ルヘキモノトス、而シテ既ニ交付サレタル此認可證ナルモノハ最モ人目ニ觸レ易キ所ニ掲ケ置クヘク、又衛生局ノ許可アルニアラスンハ之ヲ他ニ讓與スルコトヲ得ス

第三條 本條例中『食品』ノ用語ニハ左ノ如キ意義ヲ包括シタルモノト知ルヘシ、曰ク單一ナルモノト複合セルモノトヲ問ハス、飲食物ノ原料及調理上ニ用フル諸成分等ヲモ總稱シタルモノ是レナリ

第四條 或ル人、會社若クハ團體ヨリ右ニ掲ケタル業務中何レカノ業ヲ營マンカ爲メ認可證ヲ下付願フ衛生局ヘ差シ出シタラン場合ニハ、衛生局ハ其職責トシテ認可證ヲ下付セサルニ先ンシテ實地ニ就キテ左ノ如キ調査ヲ爲サ、ルヘカラス、曰ク營業スヘキケ所カ衛生状態ニ於テ毫モ不都合ナル點之レナキカ、防鼠的設備完キカ、本條例ニ基キテ編成サレタル諸規則ニ違反スル所更ニ之レナキヤ等ヲ調査スルコト是レナリ

第五條 本條例第二條ノ規定ニ從ツテ下付セラレタル認可證ノ效力ハ一ケ年限リニシテ、一ケ年ヲ經過シタランニハ新タニ認可證ヲ下付願フ差シ出サンコトヲ要ス、但其手續ハ最初ノ時ト異ナル所ナシ、衛生局ハ適當ノ理由アリト認メタランニハ事實ヲ取糺シタル上認可證ヲ取消スコトヲ得ヘシ

本條例ノ規定スル所ニ從ツテ實地ニ就キテ調査シ、若クハ認可證下付ニ對シテ如何ナル手数料ヲモ如何ナル費用ヲモ徴收セサルモノトス

第六條 食料ノ製造、販賣若クハ取扱ヲ爲セル者ハ何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、苟クモ或ル傳染病ニ罹リ居ル者ヲシテ、其構内ニ働キ、宿泊シ、睡眠シ若クハ留マラシムルコトヲ得ス、

何人ニ限ラス本條例ニ規定サレタル營業所構内ヘ一頭若クハヨリ多クノ犬ヲ入ラシムルコトヲ得ス、又斯ル營業者ハ何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、其構内ヘ一頭若クハヨリ多クノ犬ヲ入ラシムルコトヲ得ス、犯スモノハ皆是レ違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス、但革紐ヲ頸邊ニ付シテ人ノ引キ居ル犬ハ此限ニアラス

何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス食料品ヲ街頭若クハ外氣ニ曝ラシテ販賣セント欲スル場合ニハ塵埃、蠅、其他蟲類ノ侵入ラサル様相當ノ設備ヲ爲サ、ルヘカラス、否ラスンハ違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス

第七條 凡ソ食品ヲ製造シ、上装ヲ爲シ、之ヲ貯藏シ、之ヲ販賣シ若クハ之ヲ分配セントスル所ノ場所ノ床、天井、受容器其他之ニ要スル器械類ハ、常ニ皆是レ清潔ニシテ人ノ健康上及衛生上ニ害ナキ様注意

セサルヘカラス、蓋シ食品ヲ製造シ、調理シ、貯藏シ、販賣シ若クハ分配セントスル場合ニ於テ、塵埃、蠅、鼠其他ノ蟲類ヲ豫防スルノ方法ヲ取ラサランカ、本條例ノ所謂衛生上有害ナルコトヲ免カレサレハナリ、乃チ食品ヲ製造シ、調理シ、上装シ、貯藏シ、販賣シ若クハ分配セントスルニ際シテハ、腐敗シ醗酵シテ廢物トナルモノ少ナカラス、斯ル廢物ハ一日ニ一回取り棄テサルヘカラス、其他食品ノ製造調理用ニ使用スル所ノ淺盤、桶、箱、受容器、棚、「ナイフ」、鋸等ノ諸器械ハ、少ナクモ一日一回必ラス能ク清潔ナラシメンコトヲ要ス、又此等ノ食品製造所ノ役員、書記、雇人等ハ其衣服身ノ廻リ等ヲ常ニ清潔ニナサ、ルヘカラス

第八條 食品ノ調理、製造、上装、罐詰、販賣、分配等ノ用ニ充テラレタル、各建物、室、地下室若クハ穴藏等ニハ、全ク別室ニナリタル充分ナル便所ノ設ケアランコトヲ要ス、而シテ此便所ノ床ハ「セメント」、敷石若クハ濕氣ノ滲透セサル材料ヲ以テ之ヲ設クヘク、而シテ日々之ヲ洗ハサルヘカラス又此便所室ニ隣接シテ手洗室アランコトヲ要ス、此手洗室ニハ石鹼ノ用意及流ル、水等アリテ人ノ手ヲ洗フニ便ナルヘク而シテ諸事清潔ナルヘキモノトス、斯クテ此等ノ製造所ニ於ル事務員、書記其他雇人等ニシテ素品ト調理シタルモノトア問ハス食品ヲ取扱フモノハ、其仕事ニ取掛ラントスル前及便所ヨリ出テ來ル後直チニ此手洗室ニ於テ清潔ナル水ニテ手ヲ洗ヒ、而シテ人ノ未タ用ヒサル手拭ニテ濕氣ノ殘ラサル様充分ニ拭ヒ去ランコトヲ要ス、但此手洗室ニ於ル石鹼及手拭ハ皆是レ一個人ツ、ニ限リタルモノニシテ他

ト共用スルコトヲ許サス

第九條 右ノ如キ製造所ニ於ル事務員、書記、雇員其他ノ者ノ爲メニ唾壺ヲ備ヘ置クベク、而シテ日々此唾壺ノ汚物ヲ明ケテ衛生局ノ承認シタル消毒液ヲ以テ洗ハンコトヲ要ス、且ツ此消毒液ノ五「オンス」餘ヲ唾壺ノ下底ニ留メ置カンコトヲ要ス、又此等ノ事務員、書記、雇員等ハ食品ノ製造、上装、貯藏、調理若クハ販賣ヲ爲ス所ノ建物、室、地下室若クハ穴藏等ノ床坏ヘ唾液、鼻汁其他ノ排泄物ヲ散布スルヲ許サス

第十條 調理サレタルモノト否ラサルモノトア問ハス、食料ノ製造、貯藏若クハ販賣用ニ充テタル場所若クハ室内ニ於テ塵埃、煙若クハ惡臭ノ生スヘキ作業ヲ爲スコトヲ得ス  
 蠶及他ノ家禽ノ毛ヲムシリ取り又或ル動物ノ皮ヲ剥キ去ルコトハ特ニ之カ爲メニ設ケラレタル室内ニ於テ之ヲ爲スヘク、又之レヨリ生スル塵埃、煙若クハ惡臭等ヲ驅除センカ爲メニ空氣抜、壓搾空氣作用若クハ衛生局ノ承認シタル方法ヲ用ヒンコトヲ要ス

第十一條 麵麩屋、公開晚餐室、旅館、菓子屋等ニテ食品若クハ食料ヲ製造シ、調理シ若クハ販賣スル室内ニハ自カラ居住シ若クハ睡眠スルコトヲ得ス、又何人モ然カスルコトヲ得ス

第十二條 麵麩屋、菓子製造所、料理店若クハ其他ノ箇所ニテ、食料ヲ製造シ、調理シ若クハ貯藏スル場所内ニハ、其調理シタル食品ニ對シテ塵埃、蠅、其他ノ蟲類ノ侵シ來ラサル様相當ノ設備ヲ爲サ、ルヘ

カラス、即チ適當ナル硝子ノ容器、目ノ微細ナル金網若クハ衛生局ノ承認シタル方法ヲ用フルカ如キコト是レナリ、而シテ蠅其他ノ蟲類ハ見當リ次第之ヲ撲滅センコトヲ要ス

第十三條 衛生局ハ本條例ノ規定ヲ實行セシメンカ爲メニ、自カラ適當必要ト思惟シタル規定規則ヲ隨時編成センコトヲ要ス

第十四條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、本條例ニ規定サレタル條項ノ何レニカ違犯シテ其證憑充分ナランニハ、初犯ヲ十弗ヲ下ラサル罰金ニ處シ、再犯ヲ二十五弗ヲ下ラサル罰金ニ處シ、其レヨリ以上ノ違犯者ヲ一百弗以内ノ罰金ニ處シ、一百日ノ期間郡監獄ニ禁錮シ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處罰セラル、コトアルヘシ

第十五條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セラル、モノトス

條 例 一千六百八十一號

一千九百十一年九月廿八日ノ承認ニ係ル

汚レタル、不用ナル、打チ棄テタル下着、上着、寢具、衣服及襪、襪、ヨリ製シタル雜巾、洗濯、消毒、販賣及使用ニ關スル規定

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、汚レタル衣服、襪、不用ノ若クハ打チ棄テラレタル

下着、上着若クハ寢具等ヲ雜巾用トシテ販賣シ若クハ販賣セント云ヒ出テントスル時ハ、先ツ斯ル物ヲ少ナクモ苛性曹達五%ヲ有スル溶液中ニ四十分間浸シテ沸騰セシメ、以テ之ニ清潔ニシ消毒セサルヘカラス、否ラスンハ違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス

第二條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、汚レタル衣服、襪、不用ナル若クハ打チ棄テラレタル下着、上着若クハ寢具等ヲ右ノ如キ清潔法消毒法ヲ行ハスシテ、雜巾用トシテ其儘職工、労働者若クハ雇人ニ供給シタラン場合ニハ、違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス

第三條 本條例中ノ所謂ル『雜巾』ナル用語ノ定義ヲ舉レハ概ネ左ノ如シ、曰ク諸ロノ器械、道具、機關、自動車、馬車、鐵道列車、蒸氣機關、汽船、汽車ノ諸器械、窓硝子、製造所ノ諸器具、器械工、職工杯ノ汚レタル手杯ヲ清潔ニスヘキ布片及襪等ノ謂是レナリ

第四條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、桑港市及郡部内ニ於テ、汚レタル衣服、襪、不用ナル若クハ打チ棄テラレタル下着、上着若クハ寢具等ヲ清潔ニシ消毒スヘキ箇所ヲ設立シ之ヲ維持セント欲スル場合ニハ必ラス左記ノ手續ヲ踐マサルヘカラス、否ラスンハ違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス、曰ク公開洗濯所營業ニ關スル當市及郡部ノ條例ヲ遵守シ、本條例第十二條ノ規定ニ從ツテ認可證ヲ受クヘキコト是レナリ

第五條 本條例ノ規定スル所ニ從ツテ其筋ニ於テ種々ノ手數ヲ煩ハシ若クハ認可證等下渡ニ就テハ毫モ手

敷料等ヲ徴收セサルモノトス

一五〇

第六條 汚レタル衣服、襪、不用ナル若クハ打テ棄テラレタル下着、上着及寢具等ハ之ヲ雜巾トシテ販賣シ若クハ使用スルニ先ンシテ、桑港市及郡部衛生局ノ承認シタル消毒法ニ付セサルヘカラス、尙ホ此消毒法中ニハ第一條ニ記載セラレタル如ク苛性曹達溶液ノ沸騰セル中ニ四十分間浸シ置クコトモ含マレ居ルモノト知ルヘシ又此等ノ雜巾ノ材料ハ袖、洗濯セサル前身頃及裾等悉ク解キホトキテハラ／＼トナシ、平ラナル小片トナサンコトヲ要ス

第七條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、汚レタル衣服、下着若クハ寢具等雜巾ノ材料タルヘキモノヲ洗濯シ、消毒シ若クハ之ヲ乾燥センニ、家庭用ノ衣服ニ關スル普通ノ洗濯所若クハ普通ノ器械洗濯器械ヲ用フルコトヲ禁ス、犯ス者ハ違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス

第八條 雜巾用襪襦ヲ荷造リシテ一團塊トナシタランニハ之ヲ販賣セサルニ先ンシテ、其表面ニ最モ分リ易キ様「消毒濟雜巾用襪襦」ト銘記センコトヲ要ス、且ツ洗濯所認可證ノ番號及下附年月日ヲ銘記スヘシ尙ホ之ヲ詳言センニ此認可證ナルモノハ桑港市及郡部衛生官ノ下附シタルモノニシテ、荷造團塊中ノ襪襦ヲ洗濯シ消毒シタルケ所ニ關スル認可證ト知ルヘシ、又タスル洗濯所ノ名及所在地ヲモ銘記センコトヲ要ス

第九條 雜巾用ノ襪襦カ他ノ市、郡若クハ州ヨリ當市及郡部内ニ輸入サレタル場合ニハ、左記ノ如キ手續

ヲ爲スニアラスンハ之ヲ用ヒ若クハ販賣スルコトヲ許サス、曰クスル襪襦ハ本條例ノ規定ニ從ツテ清潔ニシ消毒シタル事、若クハ衛生官カ検査ノ上斯ル襪襦ハ本條例ノ規定ニ從ツテ清潔ニシ消毒シタルトノ證明書ヲ與フルコト是レナリ

第十條 衛生官カ雜巾用ノ襪襦ヲ検査シタル上ニテ下渡ス所ノ證明書ニハ左ノ如キ事實ヲ證明スルモノナリ、曰ク検査シタル襪襦ハ本條例ノ規定ニ從ツテ清潔法及消毒法ヲ行フタルモノニ相違ナキナリ、且ツ検査シタル年月日、検査シタル襪襦團塊ノ分量及員數、其所有者ノ氏名及雜巾用ノ襪襦ヲ清潔ニシ消毒シタルケ所ヲモ記載スルモノトス

第十一條 販賣センカ爲メ若クハ自分用ノ爲メ雜巾用ノ襪襦ヲ所有シ居ル者ハ何人ニ限ラス、皆是レ公衆衛生局ノ或ル官吏若クハ或ル警察官吏ヨリ其所有ノ襪襦ヲ檢分セント申込ミタル場合ニハ猶豫ナク之ニ應シテ檢分セシムヘク、又タスル襪襦ハ何所ヨリ得タルカ何人ヨリ得タルカヲ説明センコトヲ要ス

第十二條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、雜巾用ノ襪襦ヲ洗濯シ、清潔ニシ若クハ消毒スル事ヲ營業トシ、若クハスル襪襦ヲ販賣セント欲スル場合ニハ、必ラス衛生局ヨリ之カ認可證ヲ受ケサルヘカラス、否ラスンハスル業務ヲ營ムコトヲ得ス、勿論認可證下渡願ヲ差出サハ下ケ渡サルヘシト雖モ、本條例ノ規定ニ違犯スルコトアランニハ取り消サルヘキモノトス、而シテ一旦取り消サレタル者ヨリ再ヒ下渡ヲ願ヒ出ル時ハ、衛生局ノ見込ヲ以テ或ハ之ヲ許可シ或ハ拒絕スルコトアルヘキナリ、又衛生局

一五一

ニハ登記簿ヲ備ヘ置キテ雜巾用襪履ノ洗濯、清潔、消毒若クハ販賣ヲ營業トセル者ノ氏名其營業所、認可證下渡ノ時日若クハ取消ノ月日等ヲ記入センコトヲ要ス

第十三條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、本條例ニ規定サレタル條項ノ何レニカ違犯シテ其證憑充分ナランニハ、五百弗以内ノ罰金ニ處セラルルカ六ヶ月以内ノ期間郡監獄ニ禁錮セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處罰セラルルコトアルヘシ

第十四條 警察官ハ本條例實行ノ任ニ當ランコトヲ要ス

第十五條 本條例ハ發布ノ十日後ヨリ實行セラルルモノトス  
條 例 二千八百三號

一千九百十三年十一月十三日ノ承認ニ係ル

閉鎖的地下室内幕息致死豫防法ノ維持及行使ニ關スル規定及條例違犯ニ對スル罰則

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、或ル下水、水抜、地下ニ於ル人ノ出入スル穴、地下ノ溝若クハ閉鎖サレテ有毒瓦斯ノ溜ルヘキ地下室ヲ所有シ、現住シ、之カ管理權ヲ有シ、若クハ此等ノ箇所ノ建設、模様替、修繕若クハ清潔法ヲ行フヘキ場合アランカ、斯ル場合ニ於テハ有毒瓦斯ノ爲メ窒息致死ヲ豫防スヘキ適當ナル方法ヲ設ケテ衛生局ノ承認ヲ受ケンコトヲ要ス

第二條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、本條例ニ規定サレタル條項ノ何レニカ違犯シテ其證憑充分ナランニハ、五百弗以内ノ罰金ニ處セラルルカ六ヶ月以内ノ期間禁錮セラレ若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處罰セラルルコトアルヘシ

第三條 本條例ノ規定ニ抵觸スル所ノ從來條例若クハ其一部分ハ皆是レ自然消滅ニ歸スヘキモノトス

第四條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セラルルモノトス  
條 例 二千二百四十八號

一千九百十五年五月四日ノ承認ニ係ル

青物卸賣市場ヨリ生スル塵芥、廢物等ヲ取リ除クヘキ時間制限ノ規定、青物賣買取引及道側、停止セル車臺ニ青物ヲ積ミ置ク事ニ關スル規定、

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 總テ青物卸賣市場ヨリ及斯ル市場ノ前面ナル道側及街路ヨリ生スル所ノ塵芥廢物等ハ、毎日午後五時ヨリ翌日午前九時マテノ間ニ取リ除カサルヘカラス

第二條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、左記ノ如キ行爲アル者ハ、皆是レ違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス、曰ク桑港市及郡部ニ於ル街路ノ側ヲ利用シテ青物ヲ賣買取引スル所トナシ之ヲ積ミ置ク所トナス事、街路ノ側ニ停止セル車臺ニ青物ヲ積ミ置キ若クハ積ミ置カシメテ之ヲ賣買取引スル

事、右ノ街路中ニ停在セル車臺ヨリ青物ヲ賣買取引スル事是レナリ

然レトモ左ノ如キ場合ハ此限ニアラスト知ルヘシ、曰ク青物ヲ賣買取引スルノ目的ヲ以テ或ル店舗若クハ屋臺店ヲ所有スルカ或ハ賃借セル場合ニ於テ、其店舗、屋臺店ノ前面ナル道側ヲ利用シテ其青物ヲ店舖屋臺店ヨリ或ル車臺ヘ移サントスル場合、若クハ或ル車臺ヨリ青物ヲ店舗屋臺店ヘ移サントスル場合ノ如キ是レナリ

第三條 何人、何タル會社、何タル團體ヲ問ハス、本條例ニ規定サレタル條項ノ何レニカ違犯シテ其證憑充分ナランニハ、五百弗以内ノ罰金ニ處セラル、カ六ヶ月以内ノ期間郡監獄ニ禁錮セラレ、若クハ罰金ト禁錮トヲ併セテ處罰セラル、コトアルヘシ

第四條 本條例ノ規定ニ抵觸スル所ノ從來ノ命令及條例ハ皆是レ自然消滅ニ歸スヘキモノトス

第五條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セラルルモノトス  
條 例 三千四百七十二號

一千九百十五年十月十四日ノ承認ニ係ル

公衆衛生局ハ出生及死亡ニ關スル證明書ノ謄本ヲ交付センコトヲ要ス

桑港市及郡部ノ人民ハ左ノ如キ規程ヲ制定セリ

第一條 公衆衛生局ハ要求ニ應ジテ出生及死亡ニ關スル證明書ノ謄本ヲ交付センコトヲ要ス、但手數料ト

シテ二者共ニ七十五仙ヲ納メシムヘキモノトス、然レトモ死者ニシテ合衆國ノ陸軍若クハ海軍ニ屬シ營ヲ戰役ニ從ヒシ者ニテ、其遺族ノ受クヘキ年金ニ關スル死亡證明書ヲ必要トスル場合ハ手數料ヲ要セス

第二條 本條例ノ規定ニ抵觸スル所ノ從來ノ條例ハ皆是レ自然消滅ニ歸スヘキモノトス

第三條 本條例ハ發布ノ即日ヨリ實行セラルルモノトス

## ○合衆國海港檢疫法

或ル州ヨリ他ノ州へ傳染病ノ傳播スルヲ豫防シ及或ル犯罪ヲ處罰スル條例

(合衆國ノ法律書第二十六卷第五十一編三十一「ページ」、一千八百九十年三月廿七日ノ承認ニ係ル)

亞米利加合衆國々會上院及下院ハ左記ノ如キ條例ヲ議決シタリ、曰ク大統領ニ於テ或ル州、地方、若クハコロンビア地方ニ虎列拉、黃熱、痘瘡若クハ『ベスト』ガ發生シ、他ノ州若クハ地方ニ蔓延スルノ虞アリト認メタル場合アリトセンカ、斯ル場合ニ於テハ毎ニ大藏大臣ヲシテ適當ノ處置ヲ取ラシメンコトヲ要ス即チ大藏大臣ノ意見ニテ斯ル傳染病ヲシテ或ル州若クハ或ル地方ヨリ他ノ州若クハ地方へ蔓延セシメサル方法手段トシテ必要ナリト思惟スル規則條例ヲ制定シ、且ツ斯ル規則條例ヲ實行セシムルニ必要ナル視察官及其他ノ人ヲ任命スルカ如キ事ヲ爲サシムルコト是レナリ、蓋シ此等ノ規則條例ナルモノハ海軍病院課ノ軍醫總監カ大藏大臣ノ命ヲ受ケテ編成スルモノト知ルヘシ、既ニシテ斯ル規則條例ノ發布セラレタル後故意ニ或ル條項ニ違犯シタルモノアラシカ、是レ犯罪行爲ニシテ其證據分明ナランニハ、五百弗以内ノ罰金ニ處セラル、カ、二ケ年以内ノ禁錮ニ處セラル、カ、若クハ裁判所ノ意見ニテ二者ヲ併セ課セラル、コトアルヘシ

第二條 或ル海港檢疫所ニ於テ合衆國ノ或ル役員、役員ト同一ノ行動ヲ取ルモノ、若クハ傳染蔓延ヲ豫防スル爲メ助手トシテ雇ハレタルモノニシテ、故意ニ合衆國海港檢疫法ノ或ル條項ニ違犯スルカ、若クハ本條例第一節ノ規定スル所ニ從ツテ大藏大臣ノ編成發布シタル規則條例ニ違犯スルカ、若クハ上長官ノ法律上ノ命令ニ違犯スルコトアラシカ、是レ犯罪行爲ニシテ其證據分明ナランニハ三百弗以内ノ罰金ニ處スルカ、一ケ年以内ノ禁錮ニ處スルカ、若クハ裁判所ノ意見ニテ二者ヲ併セ課セラルコトアルヘシ

第三條 或ル普通ノ運送業者、其番頭若クハ雇人ニシテ故意ニ合衆國ノ海港檢疫法若クハ本條例第一節ノ規定スル所ニ從ツテ編成發布セラレタル規則條例ニ違犯シタランニハ、是レ犯罪行爲ニシテ其證據分明ナランニハ五百弗以内ノ罰金ニ處スルカ、二ケ年以内ノ禁錮ニ處スルカ、若クハ裁判所ノ意見ニテ二者ヲ併セ課セラル、コトアルヘシ

海軍病院課ニ追加權能ヲ與ヘ及追加職責ヲ負ハシムヘキ條例

(合衆國ノ法律書第二十七卷第百十四編第四百四十九「ページ」一千八百九十三年二月十五日ノ承認ニ係ル)

亞米利加合衆國々會上院及下院ハ左ノ如キ條例ヲ議決シタリ、曰ク或ル外國ノ海港若クハ其他ノ場所ヨリ來レル商船若クハ其他ノ船舶ニシテ、合衆國ノ或ル海港ニ入ラントスル場合ニハ、必ラズ本條例ノ規定ニ從フカ、或ハ本條例ニ基キテ編成セラレタル州及市衛生局ノ規則條例ニ從ハサルヘカラス、否ラスンハ決

シテ入り込ムコトヲ得ス、若シ之ヲ犯シタランニハ其船舶ヲ沒收スル代リニ五千弗ヲ超ヘサル罰金ニ處セラルヘキモノトス、但シ斯ル處分ヲ受ケタルモノカ之ヲ不當ナリト思惟シタランニハ、合衆國ノ適當ナル地方裁判所ヘ控訴スルコトヲ得ヘキナリ、而シテ斯ル控訴事件ノ起リタル場合ニハ斯ル地方ノ辯護士タラシモノハ合衆國ノ爲メニ飽クマテ辯護セサルヘカラス、且ツ斯ル事件ノ起リタル場合ニハ毎ニ左ノ如ク處分センコトヲ要ス、曰ク或ル船舶ニシテ合衆國ノ歲入法ニ違犯シタラン場合ニハ該船舶ヲ沒收スヘキ法律アリ、此法律ニ照シテ處分スルコト是レナリ

第二條 茲ニ或ル船舶アリ或ル外國ノ海港ヲ出帆シテ合衆國ノ或ル海港若クハ或ル場所ニ向ハントスル場合アリトセンカ、斯ル場合ニ於テハ出帆港ニ於ル合衆國ノ領事、副領事、若クハ該領事館ノ其他ノ役員若クハ醫官（合衆國大統領ヨリ此目的ノ爲メニ任命セラレタルモノアリタランニハ）ヨリ二通ノ健康診斷證ヲ受ケンコトヲ要ス、蓋シ此健康診斷證ナルモノノ様式ハ大藏大臣ノ定メタル所ニ從ハサルヘカラス、而シテ此診斷證ニ記載スヘキ事項如何ト云フニ、該船舶ノ從來ヨリノ健康状態ハ無論其積荷、乘客、水夫等ノ健康状態ヲ記載スルカ如キ是レナリ、然レトモ領事若クハ醫官等カ斯ル診斷證ヲ與ヘント欲スル場合ニハ、其之ヲ與ヘサルニ先シテ船員等ノ陳述スル所カ果シテ事實ニ相違ナキヤ否ヤヲ充分ニ確カメサルヘカラス、又斯ル診斷證ヲ交付スルニ就テハ規則ニ照シテ相當ノ手数料ヲ徵收シテ然ルヘキナリ

大統領ハ自カラ然ルヘシト思惟シタランニハ一ノ醫官ヲ外國ヘ派遣スルコトヲ得ヘキナリ、而シテ此醫官ノ任務如何ト云フニ或ル外國ノ港ニ於ル合衆國ノ領事館勤務ニシテ、船舶ニ對シテ前述セル健康診斷證ヲ交付スルノ責任ヲ帶ヘルモノ是レナリ、若シ或ル船舶ニシテ或ル外國港ヲ出帆スルニ際シテ斯ル健康診斷證ヲ受クルコトナクシテ合衆國ノ或ル港ニ入り込ミタリトセンカ、斯ル船舶ニ對シテハ五千弗ヲ超ヘサル罰金ヲ課センコトヲ要ス、但其金額如何ハ裁判所ノ判決ニ從フヘク、而シテ此裁判ヲ不當ナリト思惟シタランニハ合衆國ノ適當ナル地方裁判所ヘ控訴スルコトヲ得ヘキモノトス、且ツ斯ル控訴事件ノ生シタル場合ニハ其地方ノ地方辯護士タランモノハ合衆國ノ爲メニ飽クマテ辯護センコトヲ要ス、又此等ノ處分法ハ前ニモ述ヘタルカ如ク合衆國ノ歲入法ニ違犯シタル船舶ヲ沒收スヘキ法律ニ照シテ處分センコトヲ要ス

第三條 海軍病院課ノ軍醫總監タランモノハ本條例實行後直チニ左記ノ如キ行動ヲ取ランコトヲ要ス、曰ク各州各市ノ衛生局ノ海港檢疫法ヲ調査シ、大藏大臣ノ指揮ヲ受ケテ斯ル衛生局ノ規則條例ノ實行ニ就テ之ガ幫助ヲ與ヘ、且ツ大藏大臣ノ編成ニ係ル規則條例實行ニ勤メサルヘカラス、所謂大藏大臣ノ編成ニ係ル規則條例トハ外國ヨリ合衆國ヘ、及合衆國中ノ或ル州或ル地方若クハコロンビア地方ヨリ其他ノ州若クハ地方等ヘ虎列拉ノ蔓延シ來レルモノヲ豫防スルモノ是レナリ、而シテ此等ノ規則條例ハ到ル所皆平等ニ實行セラルヘキモノニシテ、或ル海港或ル場所ト云ヘル區別ヲ立テ、實行セラルヘキモノ



ノニアラス、然レトモ合衆國中ノ或ル海港若クハ或ル場所ニ海港檢疫法ナルモノ曾テ之ナキモ大藏大臣ノ意見ヲ以テスレハ、外國ヨリ合衆國へ及合衆國中ノ或ル州或ル地方若クハコロンビア地方ヨリ同シク或ル州或ル地方等へ虎列拉ノ蔓延センコトヲ豫防センカ爲メニ、海港檢疫法ヲ設クルノ必要アリト認メタル場合、若クハ合衆國內ノ或ル海港若クハ或ル場所ニ於テ好シ海港檢疫法ノ設ケ之レアリトスルモ、大藏大臣ノ意見ニテ尙ホ不完全ナル所アリト思惟スル場合、即チ他ヨリ合衆國へ傳染病ノ蔓延シ來ルヲ豫防スルニ足ラス、又合衆國內ノ或ル州或ル地方若クハコロンビア地方ヨリ他ノ州他ノ地方等へ傳染病ノ蔓延シ來ルヲ豫防スルニ足ラサル場合アリトセンカ、斯ル場合ニ於テハ大藏大臣タランモノ自カラ然カスルヲ適當ナリ必要ナリト思惟シタランニハ、斯ル傳染病ノ蔓延シ來ルヲ豫防スルニ足ルヘキ海港檢疫法ヲ設ケサルヘカラス、既ニシテ斯ル海港檢疫法カ制定セラレタランニハ、大藏大臣ノ名ヲ以テ之ヲ公布シ州及市ノ衛生機關ヲシテ實行セシメンコトヲ要ス、然レトモ州若クハ市ノ行政機關ニシテ斯ル規則ヲ實行セシメサル場合アリトセンカ、斯ル場合ニ於テハ大統領ハ之ヲ實行セシメンカ爲メニ、適當ニシテ必要ナル處置ヲ取ランコトヲ要ス、即チ之ヲ實行セシメンカ爲メニ特ニ役員ヲ任命スルカ如キコト是レナリ

又大藏大臣ハ左記ノ如キ規則條例ヲ設ケンコトヲ要ス、即チ外國ノ或ル外國ノ海港其他ノヶ所ヨリ合衆國ノ或ル海港若クハ其他ノヶ所へ向ケテ出帆セントスル船舶取締ニ關スル規則條例ナルモノ是レナリ

リ、尙ホ之ヲ言ヒ換フレハ斯ル船舶ノ衛生状態ヨリ其積荷、乗客及水夫等ノ衛生状態如何ヲ確カメテ適當ノ處分ヲ爲スヘキ規則條例ナルモノ是レナリ、而シテ此等ノ規則條例ノ發布ト共ニ之ヲ外國ニ於ル合衆國ノ領事ニ通告センコトヲ要ス、蓋シ此等ノ規則條例實行ハ領事等ノ責任ナリト知ルヘシ、斯クテ合衆國ノ在外領事及領事館員ハ合衆國へ向ケテ出帆セントスル船舶アラン場合ニハ此等ノ規則條例ニ照シテ夫々調査シタル上ニテ相當ノ證書ヲ交付スヘク、此證書ハ訴訟事件ノ起レル場合ニ於テ合衆國裁判所ノ證據書類トナルヘキモノトス、且ツ此ノ海港檢疫法カ合衆國ノ在外領事館ニ到達シタル當日ヨリ起算シテ十日以内ニ、合衆國へ向ケテ出帆シタル船舶ニ對シテハ該條例ニ從ツテ處罰スヘキモノニアラス

第四條 海軍病院課ノ軍醫總監タルモノハ大藏大臣ノ指揮ノ下ニアリテ左記ノ如キ職責ヲ盡サンコトヲ要ス、曰ク抑モ此軍醫總監タルモノハ本條例ニ基キテ編成セラレタル海港檢疫法ノ規定スル所ニ從ツテ總テノ職責ヲ盡サンコトヲ要ス、今其職責中ノ重モナルモノヲ擧ケンニ、合衆國へ傳染病ヲ輸入シ來ルヘキ外國海港及其他ノ場所ノ衛生状態ヲ收拾センカ爲メニ、斯ル海港及其他ノ場所ニ於ル大藏大臣ヨリ任命サレタル合衆國領事ヲシテ、斯ル海港及其他ノ場所ニ於ル衛生状態ヲ每週報告セシメンコトヲ要ス但シ其報告書ノ様式ハ豫ネテ大藏大臣ノ定メタル所ニ從フヘキモノトス、此外大藏大臣ハ合衆國內各州各市ノ衛生局ヨリ每週其管轄内ニ於ル海港及其他ノ場所ノ衛生状態ヲ每週報告セシメンコトヲ要ス、斯クノ如クシテ得ラレタル報告ヲ一括シテ其概要ヲ取リテ更ニ之ヲ編成シテ週報トナシ、以テ之ヲ海關稅吏、

州及市ノ衛生吏員等へ夫々配布センコトヲ要ス、尙ホ此外大藏大臣ハ公私ノ衛生的團體ヨリ各地ノ氣候及ヒ公衆衛生ニ關スル報告ヲ得テ、改良法及發展策等ニ關スル意見ヲ加ヘテ編成シテ年報トナシ國會へ提出センコトヲ要ス

第五條 大藏大臣ハ在外領事及醫官ニ對シテ隨時左記ノ如キ規則條例ヲ發布センコトヲ要ス、即チ該規則條例ナルモノハ外國ノ海港ニ於ル船舶ニ適用スヘキモノ是レナリ、尙ホ之ヲ細言センニ外國ノ海港ヨリ合衆國ニ向ツテ尙ホ未タ出帆セサルニ先ンシテ、該船舶ノ衛生狀態ヨリ其積荷、及水夫等ノ衛生狀態ニ至ルマテ一々之ヲ検査シタル上、愈ヨ其不都合ノ點ナキコトヲ見定メタル後初メテ健康證書ヲ交付スル等ノ規定是レナリ、又到着シタル合衆國ノ海港ニテモ均シク此等ノ船舶ヨリ積荷乘客等ニ至ルマテ衛生狀態如何ヲ検査シ、虎列拉、黃熱若クハ其他ノ傳染病ヲ輸入シ來ルノ虞ナキヤ等ヲモ充分ニ確カメサルヘカラス、又消毒法及隔離等ノ事ニモ注意ヲ拂ハサルヘカラス、此外或ル船舶ヨリ積荷若クハ乘客等ヲ上陸セシメンハ、必ラス海港検査所ノ衛生官吏ヨリ交付サレタル健康證書ヲ示ササルヘカラス、蓋シ此健康證書ナルモノニハ毫モ検査規則ニ違反スル所之レナキコトヲ證明シタルモノナリ、斯ル健康證書之レナクシテ積荷及乘客ヲ上陸セシメタランカ、是レ犯則者トシテ處罰セラルヘキモノトス、而シテ各船長タランモノハ出帆港ニ於テ交付サレタル健康證及來着港ニ於テ下付セラレタル健康證トヲ船内ニ於ル他ノ書類ト共ニ皆税關吏ノ許ヘ差シ出サンコトヲ要ス、且ツ斯ル健康證ナルモノハ船内書類ノ一部分ト

見做サルヘキモノニシテ、合衆國ノ適當ナル領事館員若クハ其他ノ役員ヨリ官印ヲ押捺シテ下付セラレタルモノナランニハ、訴訟事件ニ際シテ合衆國裁判所ニ於テ正確ナル證據書類タルヘキモノトス

第六條 茲ニ傳染病ニ感染セラレタル一ノ船舶アリ、斯ル船舶ヲ取り扱フヘキ設備更ニ之レナキ海港ニ來着シタル場合之レアリトセンカ、斯ル場合ニ於テハ大藏大臣ハ斯ル船舶、乘客及積荷等ヲ消毒スヘキ設備整ヒ居レル最近ノ國立若クハ其他ノ海港検査所ヘ回漕センコトヲ命センコトヲ要ス、但シ此回漕ニ要スル所ノ費用ハ該船舶ノ自辨タルヘキモノトス、斯クテ國立海港検査所ニ於テ適當ノ消毒法等ヲ行ヒタランニハ、該検査所ノ役員ヨリ検査済ノ證書ヲ交付センコトヲ要ス、蓋シ此證書ハ該船舶、積荷及乘客ハ各々傳染病ノ患ヒナク、即チ他ニ病毒ヲ傳播スルノ虞ナキコトヲ證明スルモノ是レナリ、既ニ斯ル證書ヲ得タランニハ其證書面ニ記載サレタルケ所ヘ入り込ムコトヲ得ヘキナリ、然レトモ斯ル船舶ノ來着スル海港ニ於テ既ニ検査ノ諸設備整ヒ居ラン場合ニハ、大藏大臣ハ該検査所ニ於テ検査ヲ受クヘキコトヲ命センコトヲ要ス

第七條 或ル外國ニ於テ虎列拉若クハ其他ノ傳染病發生シ其病勢甚ハタ熾ンニシテ、合衆國へ輸入セントスルノ虞アリ、縱合ヘ検査所ノ設ケアリト雖モ到底防禦シ得ヘカラサル有様ニテ、大統領モ然カク信シタル場合アリトセンカ、斯ル場合ニ於テ大統領ハ公衆衛生上ヲ重ンスル點ヨリ斯ル外國ヨリ人民ノ來着物品ノ輸入ヲ禁止スルノ策ヲ取ルヘキナリ、但其禁止期間ノ如キハ大統領自カラ然ルヘシト思惟スル所

ニ任スヘキモノトス

第八條 或ル州ノ適當ナル官憲カ其州立ニ係ル海港檢疫所ノ建物及消毒所等ヲ合衆國政府ヘ譲リ渡サントスル場合アリ、斯ル場合ニ於テ大藏大臣カ合衆國政府ニ取リテ必要ナリト思惟シタランニハ、之ヲ受ケテ相當ノ代價ヲ支拂ハンコトヲ要ス

第九條 『傳染病ヲ合衆國ヘ輸入スルコトヲ防止シ且ツ國立衛生局ヲ設クヘキ條例』ハ一千八百七十九年三月三日裁可セラレタルモノナリシカ、今回之ヲ廢止セラレタリ、斯クテ大藏大臣モ合衆國政府ニ屬スヘキ或ル財産、什具、書類若クハ記録等ヲ收取スヘキ命令ヲ下シタリ、但此等ノ財産其他ノ物ハ會計局員ノ有トスヘキモノニアラス、從來國立衛生局若クハ其役人若クハ雇人ノ有トシタルモノナリシ、本條例第二節ノ改正案ハ一千八百九十三年二月十五日ニ裁可セラレ名ケテ『海軍病院ニ對シテ海港檢疫ニ關スル追加權能ヲ與ヘ、且ツ追加職責ヲ帶ハシムヘキ條例』ト云フ

(合衆國法律第二十八卷第三百七十二「ヘイジ」、第一千八百九十四年八月十八日裁可セラレタルモノ)

亞米利加合衆國々會上院及下院ニ於テ左ノ如キ法律カ議定セラレタリ、曰ク一千八百九十三年二月十五日ヲ以テ裁可セラレタル法律中第二節、即チ所謂『海軍病院課ニ對シテ海港檢疫ニ關スル追加權能ヲ與ヘ、且ツ追加職責ヲ帶ハシムヘキ條例』ハ茲ニ之ヲ改正ス、乃チ其改正ノ要點モ第二節ノ末尾ニ左記ノ如キ字

句ヲ追加スルコト是レナリ

本節ニ規定スル所ノ條項ハ合衆國ノ境界若クハ境界近傍ニ於ル外國港ト之ト近接セル海港トノ間ヲ航行スル所ノ船舶ニハ適用セサルモノトス、然レトモ大藏大臣カ自カラ公衆衛生ヲ保全スル上ニ於テ必要ナリト思惟シタランニハ、斯ル船舶ノ取締ニ關スル規則ヲ設クルコトヲ得ヘシ

斯クテ『海軍病院課ニ對シテ海港檢疫ニ關スル追加權能ヲ與ヘ、且ツ追加職責ヲ帶ハシムヘキ條例』ノ改正法案一千八百九十三年二月十五日ヲ以テ裁可セラレタリ

(合衆國ノ法律第三十一卷第八百二十編、一千八百八十六「ページ」一千九百一年三月三日裁可セラレタルモノ)

亞米利加合衆國々會上院及下院ハ左ノ如キ法案ヲ議定シタリ、曰ク一千八百九十三年二月十五日ヲ以テ裁可セラレタル『海軍病院課ニ對シテ海港檢疫ニ關スル追加權能ヲ與ヘ、及追加職責ヲ帶ハシムヘキ條例』ハ茲ニ之ヲ改正ス、乃チ其改正ノ要點ハ左記ノ數節ヲ追加スルコト是レナリ

第十條 軍醫總監ハ大藏大臣ノ協贊ヲ經テ海港檢疫所ノ區域及船舶檢疫碇泊所ヲ標示スヘキ權能ヲ有スルモノトス、蓋シ此等ノ區域及碇泊所ハ合衆國中各檢疫所ニ適用セラルヘキモノトス、而シテ或ル船舶、或ル船舶ノ役員、若クハ其他ノ人(州若クハ市ノ衛生掛及檢疫官等ハ之ヲ除ク)ニシテ海港檢疫規則ヲ無視スルカ、若クハ斯ル檢疫所ノ掛員ノ許可ナクシテ濫リニ右ノ碇泊所ニ入り込ミタリトセンカ、是レ

犯罪行為ニシテ直チニ之ヲ捕縛シ其證憑充分ナランニハ、三百圓以内ノ罰金ニ處シ一ケ年以内ノ禁錮ニ處シ、若クハ裁判所ノ意見ニテ罰金ト禁錮トヲ併セ課スルコトアルヘシ、又船舶ノ長若クハ持主ニシテ本條例ノ規定スル所ニ違犯スルカ、若クハ本條例ニ基キテ編成セラレタル規則ニシテ船舶ノ検査及傳染病ノ輸入豫防ニ關スルモノニ違背スルカ、或ハ船長、船主若クハ船舶ノ管理者タランモノカ其船舶、積荷、乗客等ノ健康状態ニ就テ詐僞ノ陳述ヲ爲シタル場合アランカ、皆是レ犯罪行為ニシテ直チニ之ヲ捕縛シ、其證憑充分ナランニハ五百弗未滿ノ罰金ニ處シ、或ハ一年未滿ノ禁錮ニ處シ、若クハ裁判所ノ意見ニテ二者ヲ併セ課スルコトアルヘシ

第十一條 本條例第二節ニ規定セラレタル健康證書ヲ有セサル或ル船舶ニシテ、或ル外國港ヨリ出帆シテ、合衆國ノ或ル警戒区域内ニ來着シ、合衆國ノ或ル海港ニ入り込マントスルノ意ナルカ將タ然ラサルカ判明セサルモノアランカ、斯ル船舶ハ大藏大臣ノ編成シタル規則ニ照シテ檢疫處分ヲ爲ササルヘカラス、而シテ之ニ要スル所ノ費用ハ皆是レ該船舶ノ負擔タルヘキモノトス、若シ此等ノ船舶ニシテ斯ル處分ヲ不當ナリト思惟シタランニハ、合衆國ノ適當ナル地方裁判所ヘ控訴スルコトヲ得ヘシ、此外彼ノ健康證書ヲ有セサル船舶ニシテ外國港ヨリ出帆シテ合衆國ノ或ル海港ニ來着シタル場合モ亦右ノ處分ト同一ノ處分ヲ爲サンコトヲ要ス

第十二條 合衆國ノ醫官ニシテ合衆國ノ或ル海港若クハ或ル場所ニ於テ、檢疫官トシテノ行動ヲ取ルヘキ

權能ヲ附與セラレタリトセンカ、斯ル醫官ハ其職責ヲ遂行スルニ際シテ、合衆國ノ檢疫法實行ノ爲メ一ノ布告ヲ發シ且ツ誓詞ヲ取ルコトヲ得ヘキモノトス